

# 2018年気候変動質問書

## 回答マニュアル

2018.5 CDP日本事務局

# 留意点

---

▼本pptは、内部用に作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、ご注意ください。

# 用語

列

行



報告年: 回答のデータなど、いつの年のことを書いているか、という1年間のこと。

# 全体を通して

---

## ▼コメント(Comment)と説明してください(Please explain)

Commentは空欄でも大丈夫な場合が多いです。

Please explainは必ず記入してください。

## ▼空欄と0の記入

CDPでは、空欄は「不明」を意味します。

値が0とわかっている場合は、必ず0を記入してください。

# C0 基礎情報/Introduction

※C0の情報は、一般セクターについては、スコアはつきません。ただし、その後の回答のスコアリングの際に参照されるものもあるので、できるだけお答えください。

C0.1

御社の概要を記述してください。

C0.2

データを報告する年の開始日と最終日を教えてください。

C0.3

データを提供する対象国を選択してください。

C0.4

回答を通じて経済データに使っている通貨を選択してください。

C0.5

御社の事業の気候関連影響の報告の際に設定しているバウンダリ(範囲)について最も当てはまるものを回答ください。  
なお、この回答は、スコープ1, 2のGHG排出インベントリのバウンダリ設定方法と一致する必要があります。

モジュール終了

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。

[www.cdp.net](http://www.cdp.net) | @CDP



# C0のセクター別質問

▼C-AC/FB/PF0.6 農林業、生産プロセス/製造・分配活動、または御社の製品利用からの排出について、直接操業またはバリューチェーンの一環にかかわらず、CDP気候変動開示の対象に含まれますか？

▼C-AC/FB/PF0.6a 農林業からの排出について、なぜCDP気候変動開示の対象に含まれないのですか？

▼C-AC/FB/PF0.6b なぜ、御社の保有する土地における農林業活動からの排出は、本CDP気候変動開示の対象に含まれないのですか？(～gまで、他の項目について同様の設問)

▼C-AC/FB/PF0.7 御社が製造したり調達したりする農産品のうち、御社の事業収入に最も直結するものを5つまで選んでください。

▼C-CE/CH/CO/EU/MM/OG/ST0.7 御社はコンクリート製造/化学/石炭/電気事業/金属鉱業/石油・ガス/鉄鋼のバリューチェーンのどの箇所で事業を行っていますか？

▼C-TO/TS0.7 どの輸送モードについて、データを提供しますか？

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。

C0.1

御社の概要を記述してください。

任意

C0.2

データを報告する年の開始日と最終日を教えてください。

必須

Start date	End date	Indicate if you are providing emissions data for past reporting years
From: [DD/MM/YYYY]	To: [DD/MM/YYYY]	Select from: • Yes • No

2017年4月1日～2018年3月31日までの場合

例)01/04/17

例)31/03/18

例)No(過去のデータは提供しない)

C0.3

データを提供する対象国を選択してください。

必須

排出量データの対象国を選んでください。複数となるのが普通です。

C0.4

回答を通じて経済データに使っている通貨を選択してください。

任意



例) 日本円 米ドル 等

C0.5

御社の事業の気候関連影響の報告の際に設定しているバウンダリ(範囲)について最も当てはまるものを回答ください。  
なお、この回答は、スコープ1, 2のGHG排出インベントリのバウンダリ設定方法と一致する必要があります。

選択肢:

- Financial control財務管理
- Operational control業務管理
- Equity share株式所有
- Other, please specifyその他

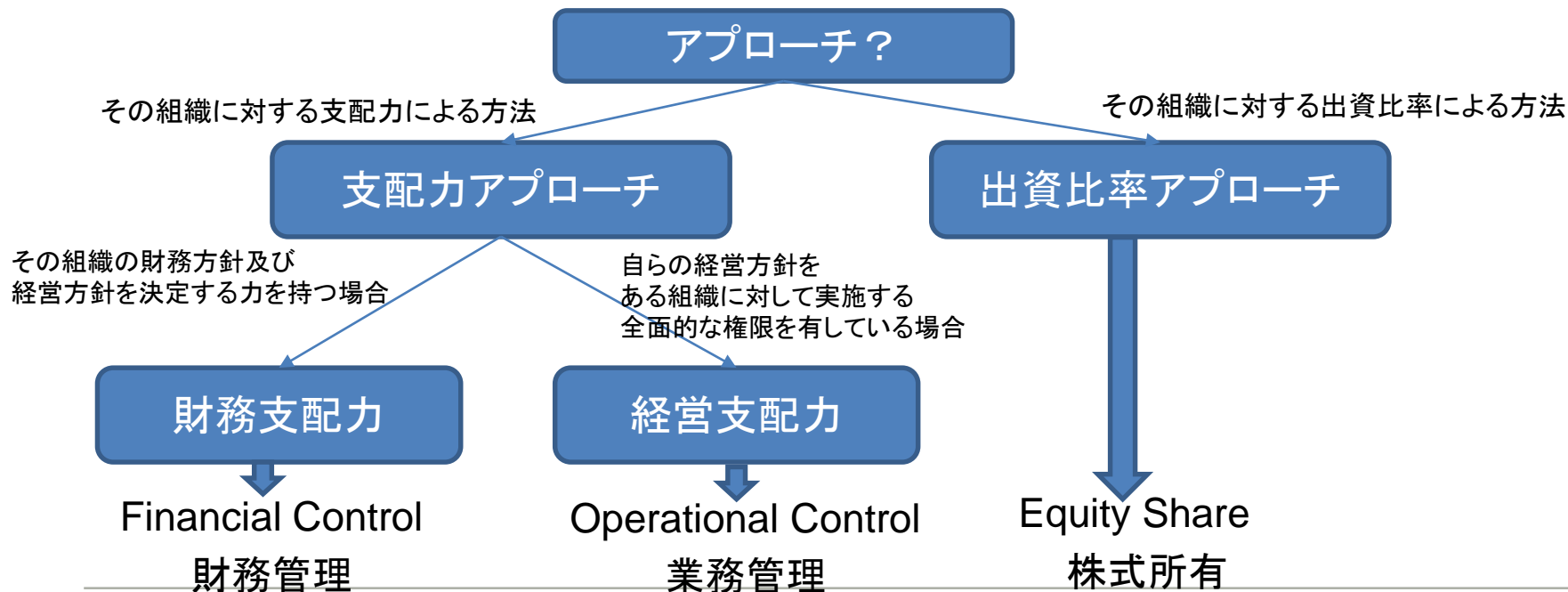


いずれか選んでください



# 参考：企業バウンダリについて

CDPとしては、法務または財務のアドバイザーと協議することを推奨しています。



参照：GHGプロトコル企業基準の第3章(<https://ghgprotocol.org/corporate-standard>)

# C0 の配点

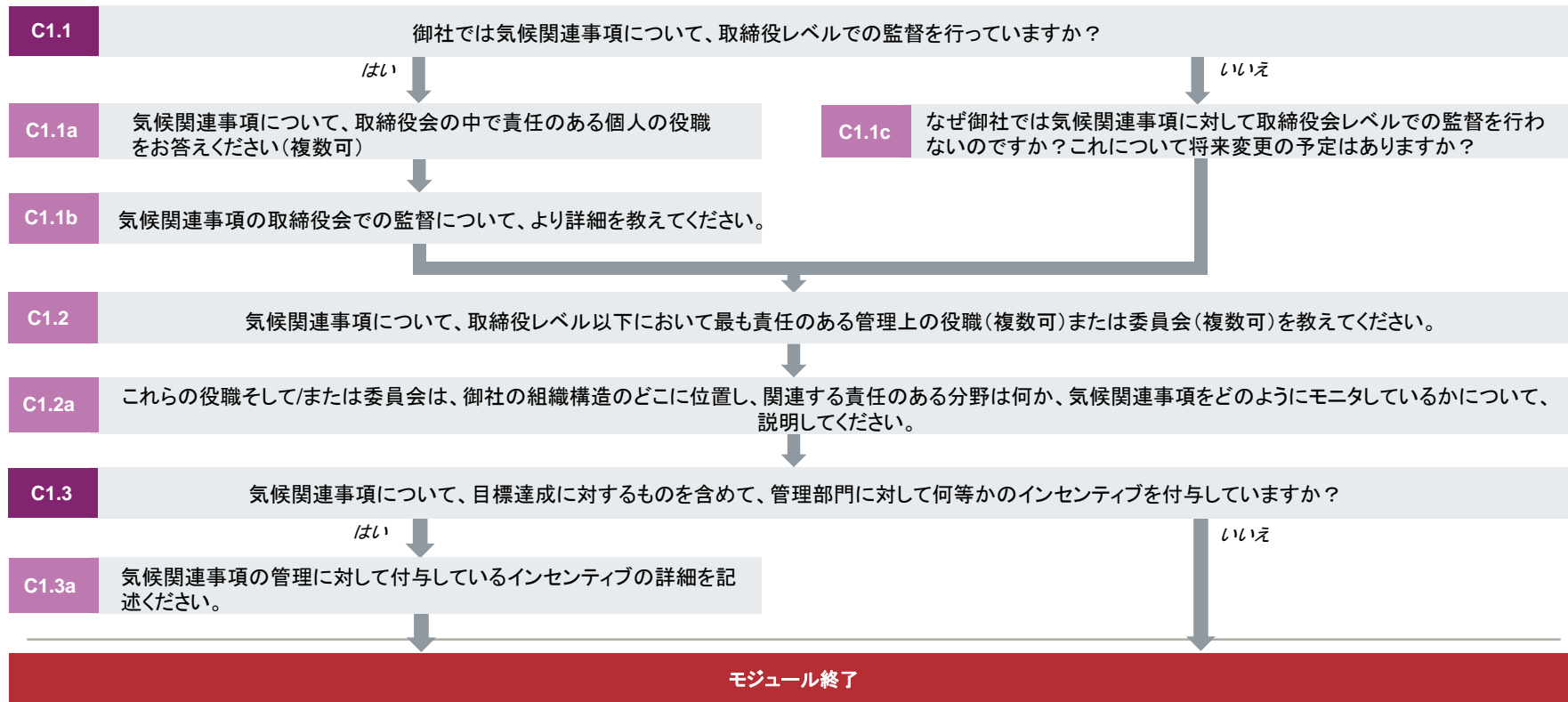
	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C0.1*	0	0	0	0	0	0	1	1
C0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
C0.3	0	0	0	0	0	0	0	0
C0.4	0	0	0	0	0	0	0	0
C0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
C-AC/FB/PF0.6	6	6	0	0	0	0	0	0
C-AC/FB/PF0.6a-g	3	3	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF0.7	6	6	4	4	0	0	0	0

\*開示レベルが満点の場合、リーダーシップポイントが付与。

# C0 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C- CE/CH/CO/EU/MM/O G/ST0.7	0	0	0	0	0	0	0	0
C-TO/TS0.7	0	0	0	0	0	0	0	0

# C1 ガバナンス/Governance



## C1.1

御社では気候関連事項について、取締役レベルでの監督を行っていますか？

→ YesまたはNoを回答。行っていない場合でも回答いただくことで開示スコアが付きます。

はい ↓

## C1.1a

気候関連事項について、取締役会の中で責任のある個人の役職をお答えください(複数可)

**重要！両欄を必ず埋めてください。**

※**最初の行のみがスコアリング対象**となります。最初の行に一番いい回答をお書きください。**回答は1行で十分**です。

Position of individual(s)	Please explain
Select from: <input type="checkbox"/> Board Chair <input type="checkbox"/> Board/Executive board <input type="checkbox"/> Director on board <input type="checkbox"/> Chief Executive Officer (CEO) <input type="checkbox"/> Chief Financial Officer (CFO) <input type="checkbox"/> Chief Operating Officer (COO) <input type="checkbox"/> Chief Procurement Officer (CPO) <input type="checkbox"/> Chief Risk Officer (CRO) <input type="checkbox"/> Chief Sustainability Officer (CSO) <input type="checkbox"/> Other C-Suite Officer <input type="checkbox"/> Executive	*ここに、 (1,000 characters) -役職/委員会が企業の組織構造の中でどのような位置づけか、そして気候関連課題に対してどの程度の責任を持っているか、 -なぜ、その役職/委員会が気候関連課題の責任を持っているか を説明してください。
<input type="checkbox"/> Other, please specify	

×できるだけこれは選ばず、当てはまりそうなそれ以外の選択肢を選んでください。(L)

C1.1b 気候関連事項の取締役会での監督について、より詳細を教えてください。

※**最初の行のみがスコアリング対象**となります。最初の行に一番いい回答をお書きください。**回答は1行で十分**です。

気候関連課題を扱う頻度	気候関連課題が統合されているガバナンスの仕組み	説明してください
<p>Frequency with which climate-related issues are a scheduled agenda item.</p> <p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> Scheduled - all meetings</li><li><input checked="" type="radio"/> Scheduled - some meetings</li><li><input type="radio"/> Sporadic - as important matters arise</li><li><input type="radio"/> Other, please specify</li></ul>	<p>Governance mechanisms into which climate-related issues are integrated</p> <p>Select all that apply:</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> Reviewing and guiding strategy</li><li><input type="checkbox"/> Reviewing and guiding major plans of action</li><li><input type="checkbox"/> Reviewing and guiding risk management policies</li><li><input type="checkbox"/> Reviewing and guiding annual budgets</li><li><input type="checkbox"/> Reviewing and guiding business plans</li><li><input type="checkbox"/> Setting performance objectives</li><li><input type="checkbox"/> Monitoring implementation and performance of objectives</li><li><input type="checkbox"/> Overseeing major capital expenditures, acquisitions and divestitures</li><li><input type="checkbox"/> Monitoring and overseeing progress against goals and targets for addressing climate-related issues</li><li><input type="checkbox"/> Other, please specify</li></ul>	<p>Please explain</p> <p>Text field (maximum 2,400 characters)</p> <p>何らかの内容をお書きください。記入によって開示スコアが付きます。</p>

C1.1に「いいえ」と回答

C1.1c

なぜ御社では気候関連事項に対して取締役会レベルでの監督を行わないのですか？これについて将来変更の予定はありますか？

主な理由	2年以内に取り締役会レベルの監督を導入するか	説明してください
Primary reason Text field (maximum 1,000 characters)	Board level oversight of climate-related issues will be introduced in the next two years. Select from: <input checked="" type="radio"/> Yes, we plan to do so within the next two years. 認識スコア1 <input type="radio"/> No, we do not currently plan to do so. 認識スコア0	Please explain Text field (maximum 2,400 characters)

➡ 全欄(「説明してください」も)記入してください。開示スコアにつながります。(1X3)

## C1.1 気候関連について取締役会での監督について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C1.1	どの選択肢でも	1	1	Yes- 1 No- 0	1	1	-	0	0	-	0	0
C1.1a	-最初の列のみスコアリング対象 -各列記入ごとに-1X2	2	2	-最初の列のみスコアリング対象 -全列記入-1	1	1	-最初の列のみスコアリング対象 -認識が満点であること -“please explain”の内容が“position of individuals”の選択内容と矛盾していないこと-2	2	2	-最初の列のみスコアリング対象 -管理が満点であること i) 以下の選択肢を選んだ場合-1 p - “Other, please specify”以外 ii) なぜその役職または個人が選択されたかについて明確な理由が書かれている -2p	3	3
C1.1b	-最初の列のみスコアリング対象 -各列記入ごとに-1X3	3	3	-最初の列のみスコアリング対象 -開示が満点であること -「気候関連事項が議題となっている頻度」が「全会議で予定」→2p,「いくつかの会議で予定」→1p,「それ以外」→0p	2	2	-	0	0	-	0	0
C1.1c ※ない理由	-各列記入事に-1X3	3	3	- 「主な理由」「説明してください」が記入されている必要 - 「今後2年以内の予定」について、「はい・・・」が選択→1、「いいえ・・・」が選択→0	1	1		0	1		0	4



気候関連事項について、取締役レベル以下において最も責任のある管理上の役職(複数可)または委員会(複数可)を教えてください。

役職や委員会の名称

責任

取締役会への気候関連課題の報告頻度

Name of the position(s) and/or committee(s)	Responsibility	Frequency of reporting to the board on climate-related issues
<ul style="list-style-type: none"> <li>Chief Executive Officer (CEO)</li> <li>Chief Financial Officer (CFO)</li> <li>Chief Operating Officer (COO)</li> <li>Chief Procurement Officer (CPO)</li> <li>Chief Risk Officer (CRO)</li> <li>Chief Sustainability Officer (CSO)</li> <li>Other C-Suite Officer, please specify</li> <li>President</li> <li>Risk committee</li> <li>Sustainability committee</li> <li>Safety, Health, Environment and Quality committee</li> <li>Corporate responsibility committee</li> <li>Other committees, please specify</li> <li>Business unit manager</li> <li>Energy manager</li> <li>Environmental, Health, and Safety manager</li> <li>Environment/Sustainability manager</li> <li>Facility manager</li> <li>Process operation manager</li> <li>Procurement manager</li> <li>Public affairs manager</li> <li>Risk manager</li> <li>Other, please specify</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Assessing climate-related risks and opportunities</li> <li>Maximizing climate-related risks and opportunities</li> <li>Both assessing and managing climate-related risks and opportunities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>More frequently than quarterly</li> <li>Quarterly</li> <li>Half yearly</li> <li>Annually</li> <li>Less frequently than annually</li> <li>As important matters arise</li> <li>Not reported to the board</li> </ul>

○管理スコア(1)

○管理スコア(1)

○リーダーシップスコア(1)

×認識スコア(-1)

×管理スコア(-1)

**全欄記入**してください。開示スコアにつながります。(1X3)

文章を記述 ※がんばって書いて下さい！

“企業固有の説明”であり、以下を含むこと

- i) 組織構造のどこに、その役職/委員会が位置しているか
- ii) なぜ、その役職/委員会にその責任があるかについての理由の説明
- iii) 各役職/委員会の気候関連課題の評価や管理についてのそれぞれ企業独自の責任

※C1.2で選んだ役職、または委員会についてお書きください。

## C1.2 気候関連について取締役会以下で最も高いレベルでの扱いをしている役職・委員会について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C1.2	- 各列記入 →1x3 または -「役職または委員会の名称」の欄にて、「管理レベルの気候関連事項での責任はない」が選択→3	3	3	- 1列目:「管理レベルの気候関連事項での責任はない」以外が選択→1 - 2列目:いずれかが選択されている→1 - 「取締役会への報告の頻度」について「取締役会への報告はしていない」以外が選択→1	3	3	-認識が満点であること -1列目:「管理レベルの気候関連事項での責任はない」以外が選択→1 -2列目:「責任」について、「評価と管理の両方・・・」が選択→1 -3列目:「報告の頻度」について、「4半期ごとよりも頻繁」「四半期ごと」のいずれかが選択→1	3	3	以下のすべてを満たす場合→1 -1列目:責任のある役職が、Cのつくofficer、またはPresident - 2列目:「評価と管理の両方・・・」 - 3列目:「4半期ごとよりも頻繁」「四半期ごと」のいずれか	1	1
C1.2a ※自由記述	文章が記入→1	1	1	- C1.2にて「管理レベルでの・・・責任はない」を選択→0 - 組織構造どこにその/それらの役職/委員会が位置しているかが記載→1 - なぜ、その役職/委員会に責任があるかについての明確な説明→1	2	2	-C1.2にて「管理レベルでの・・・責任はない」を選択→0 -C1.2にて「リスク委員会」「持続可能性/SHEQ委員会」「企業責任委員会」が選択の場合、委員会メンバーの役割の説明が必要 - 責任について、企業固有の説明→1 - 役職/委員会固有の気候関連事項のモニタリング・プロセスの説明→1	2	2	-	0	0

C1.3 気候関連事項について、目標達成に対するものを含めて、管理部門に対して何等かのインセンティブを付与していますか？

はい ↓

いいえ ※もちろん、Yesのほうがいいですが、Noの場合でも必ず回答してください。開示ポイントにつながります。

C1.3a 気候関連事項の管理に対して付与しているインセンティブの詳細を記述ください。

インセンティブの利益を得る人	種類	対象の活動	コメント
<p>Who is entitled to benefit from these incentives?</p> <p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Board Class</li> <li>Board/Executive board</li> <li>Director on board</li> <li>Corporate executive team</li> <li>Chief Executive Officer (CEO)</li> <li>Chief Financial Officer (CFO)</li> <li>Chief Operating Officer (COO)</li> <li>Chief Procurement Officer (CPO)</li> <li>Chief Risk Officer (CRO)</li> <li>Chief Sustainability Officer (CSO)</li> <li>Other C-Suite Officer</li> <li>Executive officer</li> <li>Management group</li> <li>Business unit manager</li> <li>Energy manager</li> <li>Environmental, health, and safety manager</li> <li>Environment/Sustainability manager</li> <li>Facilities manager</li> <li>Process operation manager</li> <li>Procurement manager</li> <li>Public affairs manager</li> <li>Risk manager</li> <li>Buyers/purchasers</li> <li>All employees</li> <li>There are no incentives provided for the management of climate-related issues.</li> </ul>	<p>Types of incentives</p> <p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Monetary reward</li> <li>Recognition (non-monetary)</li> <li>Other non-monetary reward</li> </ul>	<p>Activity incentivized</p> <p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Emissions reduction project</li> <li>Emissions reduction target</li> <li>Energy reduction project</li> <li>Energy reduction target</li> <li>Efficiency project</li> <li>Efficiency target</li> <li>Climate change related indicator</li> <li>Other, please specify</li> <li>Supply chain engagement</li> <li>Other, please specify</li> </ul>	<p>Comment</p> <p>Text field (maximum 2,400 characters)</p>

○管理スコア(1)

×管理スコア(-1)

○リーダーシップスコア(1)

×開示スコア(-3)

×認識スコア(-1)

×管理スコア(-1)

## C1.3 気候関連事項の管理に対するインセンティブ付与について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C1.3	どの選択肢でも	1	1	- Yes→1	1	1	- Yes→1	1	1	-	0	0
C1.3a	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「だれがインセンティブを受けますか」に対して「管理に対するインセンティブはありません」を選択→0</li> <li>- それ以外について、コメント以外の3つの欄を回答 1X3→3</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>- C1.3にてNo→0</li> <li>- 1列目:「インセンティブはありません」以外→1</li> <li>- 2列目:いずれの回答でも→1</li> <li>- 3列目:いずれの回答でも→1</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 認識ポイント満点</li> <li>- C1.3にてNo→0</li> <li>- 1列目:「インセンティブはありません」以外→1</li> <li>- 2列目:「金銭的」→1</li> <li>- 3列目:「行動変容関連指標」「その他」以外を選択→1</li> </ul>	3	3	- 管理ポイント満点、加えて1列目に、選択肢の上からPresidentまでの選択肢を選択、加えて2列目に「金銭的」を選択	1	1

# C1 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C1.1	1	1	1	1	0	0	0	0
C1.1a	2	2	1	1	2	2	3	3
C1.1b	3	3	2	2	0	0	0	0
C1.1c	3	3	1	1	0	1	0	4
C1.2	3	3	3	3	3	3	1	1
C1.2a	1	1	2	2	2	2	0	0
C1.3	1	1	1	1	1	1	0	0
C1.3a	4	4	4	4	3	3	1	1

# C2 リスクと機会/Risks and opportunities

C2.1 御社にとっての短期、中期、長期の期間を教えてください。

C2.2 御社の気候関連課題の特定、評価、管理の工程が全体のリスク管理にどのように統合されているかについて最もあてはまるものを回答ください

“複数の分野にまたがる企業全体でのリスクの特定、評価、管理プロセスに統合”または“気候変動リスクに特化した特定化、評価、管理プロセス”

気候関連課題を特定、評価、管理する  
文書化された工程はありません。

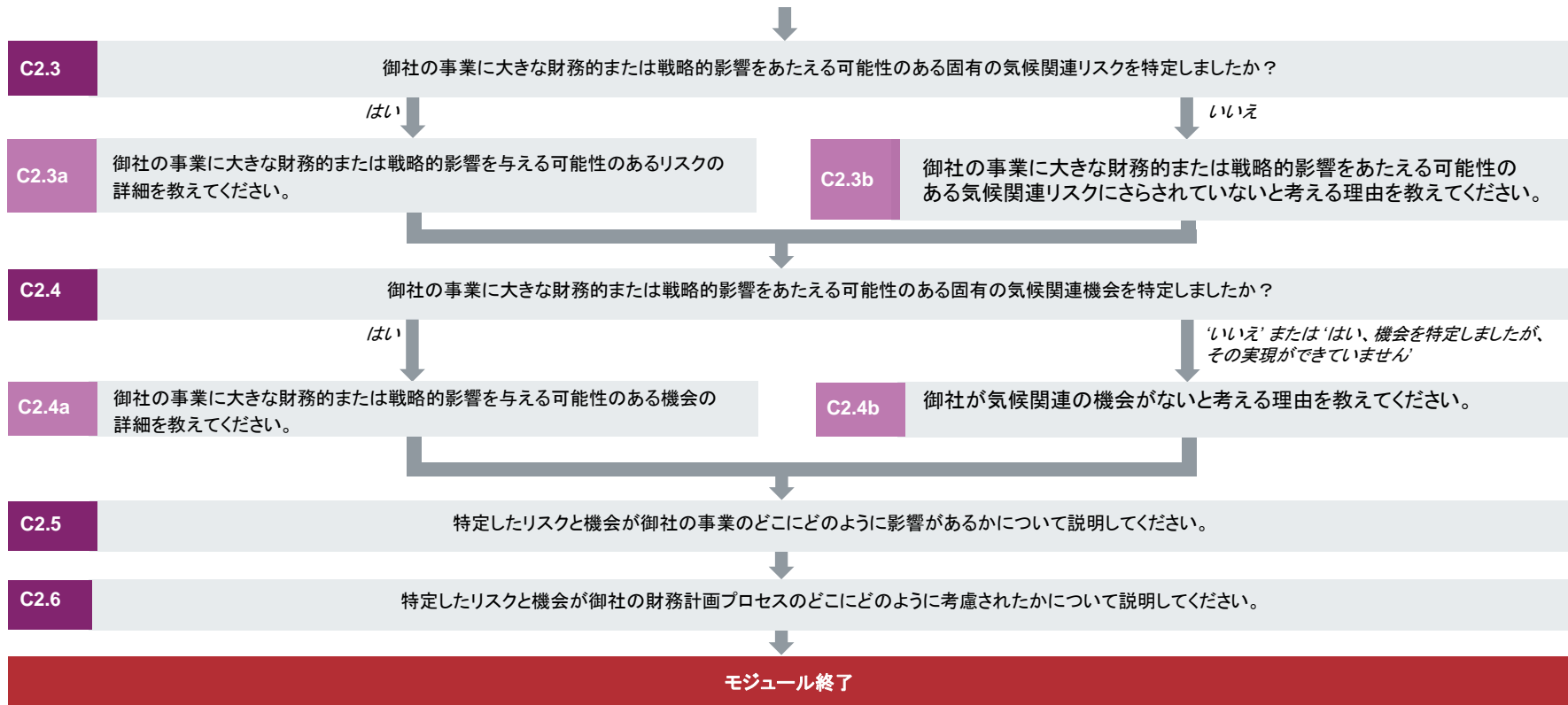
C2.2a 気候関連リスクの特定、評価において、御社が実施する頻度や対象期間について最もあてはまるものを回答ください。

C2.2b 御社が気候関連リスクを特定する際のより詳細を教えてください

C2.2c 以下のうちどのようなタイプのリスクが御社の気候関連リスク評価に考慮されていますか。

C2.2d 御社の気候関連リスクと機会の管理の工程について説明してください。

C2.2e どうして御社は気候関連リスク・機会を特定、評価、管理するプロセスを実施していないのでしょうか。なお、今後そのような工程を導入する計画はありますか。



※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。



Time horizon	From (years)	To (years)	Comment
Short-term	Numerical field [enter a number from 0-100 using no decimals or commas]	Numerical field [enter a number from 0-100 using no decimals or commas]	Text field [maximum 2,400 characters]
Medium-term			
Long-term			

fromとToに何年、という数値を記入

※必ず埋めること

例) 短期: from 0 to 3

中期: from 3 to 10

長期: from 10 to 30

このように連続的にすることで、認識ポイント(3)

## C2.1 短期・中期・長期について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.1	「何年から」「何年」の列に、数値を記入 - 行ごとに1X3	3	3	短期・中期・長期が連続的である場合(例えば、短期が <sup>0</sup> -3, 中期が <sup>3</sup> -10、長期が <sup>10</sup> -30)→3	3	3	-	0	0	-	0	0

※いずれか当てはまるものを選んでください。

選択肢

- 「企業全体のリスク特定・評価・管理プロセスに統合」
- 「気候変動に特化したリスク特定化、評価、管理プロセス」
- 「記載されたプロセスはない」

○リーダーシップスコア(1)

○認識スコア(1)

○管理スコア(1)

C2.2a

気候関連リスクの特定、評価において、御社が実施する頻度や対象期間について最もあてはまるものを回答ください。

モニタリングの頻度	どのくらい先までのリスクを考慮？	コメント
<p>Frequency of monitoring</p> <p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Six-monthly or more frequently</li><li>• Annually</li><li>• Every two years</li><li>• Not defined</li><li>• Never</li></ul>	<p>How far into the future are risks considered?</p> <p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Up to 1 year</li><li>• 1 to 3 years</li><li>• 3 to 6 years</li><li>• &gt; 6 years</li><li>• Unknown</li></ul>	<p>Comment</p> <p>Text field [maximum 1,000 characters]</p> <p>※コメント記載不要</p>

C2.2b

御社が気候関連リスクを特定する際のより詳細を教えてください

文章を記述 ※がんばって書いて下さい！

「気候変動リスクを特定・評価するプロセス」が書いてあること(認識)  
その際の、「重大な財務影響」とは何かについて定義が書いてある。(管理)  
※C2.2, C2.1aと矛盾しない内容を書いてください。(管理)

---

## C2.2b

---

本設問は、気候関連リスクを特定のプロセスについて聞いているものであり、リスク自体について聞いているものではありません。リスク自体については、C2.3にて聞いています。なお、プロセスの説明については、事例を用いて説明してください。

## C2.2 気候関連事項を全体的リスク管理に統合するプロセスについて(1/3)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.2 ※選択肢1 か所(3択)	回答あり→1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「企業全体のリスク特定・評価・管理プロセスに統合」→1</li> <li>- 「気候変動に特化したリスク特定化、評価、管理プロセス」→1</li> <li>- 「記載されたプロセスはない」→0</li> </ul>	1	1	同左	1	1	- 「企業全体のリスク特定・評価・管理プロセスに統合」→1 - 上記以外→0	1	1
C2.2a ※選択肢2 か所、コメント1か所	-選択肢2か所に回答あり→1X2 - 1列目「一度もない」→2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1列目:「定義していない」「一度もない」以外を選択→1</li> <li>- 2列目:「わからない」以外を選択→1</li> </ul>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 1列目:「半年に1回より多い」「年に1回」→1</li> <li>- 2列目:「わからない」以外を選択→1</li> </ul>	2	2	以下の両方を満たす→1 - 1列目:「半年に1回より多い」 - 2列目:「>6年」を選択	1	1
C2.2b ※自由記述	文章の記述あり→1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 気候関連リスクを特定・評価するプロセスを記述している→1</li> </ul>	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 気候関連リスクを特定・評価する際に、「重大な財務影響」の定義を記述→1</li> <li>- C2.2とC2.2aと整合的な気候関連リスクの特定・評価プロセスについての記述→1</li> </ul>	2	2	-	0	0

C2.2c

以下のうちどのようなタイプのリスクが御社の気候関連リスク評価に考慮されていますか。

↓少なくとも1つは「該当常に考慮」「該当時に考慮」選択の必要(認識スコアの条件)

Risk type	リスクタイプ	Relevance & inclusion 該当・考慮	Please explain 説明してください
Current regulation	現在の規制	Select from: ● Relevant, always included 該当。常に考慮。 ● Relevant, sometimes included 該当。時に考慮。 ● Relevant, not included 該当。考慮していない。 ● Not relevant, included 該当しない。考慮。 ● Not relevant, explanation provided 該当しない。説明をする。 ● Not evaluated 評価していない。	それぞれのリスクタイプに応じて、以下のことを「 <b>企業固有</b> 」となるように書いてください。 <b>「考慮しているリスク」</b> について： -C2.2bにて説明したリスク特定・評価プロセスの中で、本リスクタイプをリスク評価に含めると決めた経緯。 <b>「該当している」</b> リスクについて： - 御社の評価に含めた特定のリスクの <b>事例</b> <b>「該当しない、説明をする」</b> としたリスクについて： - なぜ本リスクタイプが該当しないかの理由 ※上流・下流リスクについては、他のリスクタイプのいずれでもあり得ます。例えば、今後の規制、技術、法律、市場、評判といったものです。
Emerging regulation	今後の規制	× 認識スコア(-1)	
Technology	技術		
Legal	法律		
Market	市場		
Reputation	評判		
Acute physical	物理的(急性)		
Chronic physical	物理的(慢性)		
Upstream	上流		
Downstream	下流		



10のリスクタイプについて、まずは該当・考慮の選択肢を選んでください。(必須)  
説明も必ず書いてください。

## “規制(Regulation)リスク”と“法律(Legal)リスク”の違い

▼現在と今後の規制: 気候変動に対して逆の効果を持つ行動に制約を与えようとするような政策の進展、または気候変動への適用を促進させるような政策の発展

例) カリフォルニアで実際にあったように、公益事業委員会が電力消費について、デマンドレスポンスによって究極的にエネルギー消費を減らすための時間帯別料金を義務化することを提案する、といったもの。

▼法律リスク: 気候関連の訴訟の請求すべて

例) 国の政府によって、事業に影響があるような法律が設定されるような場合です。

例えば、中国における大気汚染保護法、といったものです。



# 他の設問のリスクについての選択肢を見てみよう！

## C2.3a

規制  
リスク

### <移行リスク>

- 政策や法律: GHG排出価格(炭素税・排出量キャップ)の上昇
- 政策や法律: 排出量報告義務の強化
- 政策や法律: 既存の製品・サービスに対する義務・規制
- 政策や法律: 訴訟の可能性
- 政策や法律: その他
- **技術**: 既存の製品・サービスが低排出のものによって代替される
- 技術: 新技術への投資の失敗
- 技術: 低排出技術への移行のためのコスト
- 技術: その他
- **市場**: 消費者行動の変化
- 市場: 市場シグナルの不確実性
- 市場: 原材料のコスト上昇
- 市場: その他
- **評判**: 消費者選好の変化
- 評判: セクターへの非難
- 評判: 関係者の憂慮やマイナスの反応の増加

### <物理リスク>

- **急性**: サイクロンや洪水といった異常気象の激甚化
- 急性: その他
- **慢性**: 降雨パターンの変化、気候パターンの変動増加
- 慢性: 平均気温上昇
- 慢性: 海面上昇
- 慢性: その他

Transition risks	Physical risks
<ul style="list-style-type: none"><li>• Policy and legal: Increased pricing of GHG emissions</li><li>• Policy and legal: Enhanced emissions reporting obligations</li><li>• Policy and legal: Mandates on and regulation of existing products and services</li><li>• Policy and legal: Exposure to litigation</li><li>• Policy and legal: Other</li><li>• Technology: Substitution of existing products and services with lower emissions options</li><li>• Technology: Unsuccessful investment in new technologies</li><li>• Technology: Costs to transition to lower emissions technology</li><li>• Technology: Other</li><li>• Market: Changing customer behavior</li><li>• Market: Uncertainty in market signals</li><li>• Market: Increased cost of raw materials</li><li>• Market: Other</li><li>• Reputation: Shifts in consumer preferences</li><li>• Reputation: Stigmatization of sector</li><li>• Reputation: Increased stakeholder concern or negative stakeholder feedback</li><li>• Reputation: Other</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Acute: Increased severity of extreme weather events such as cyclones and floods</li><li>• Acute: Other</li><li>• Chronic: Changes in precipitation patterns and extreme variability in weather patterns</li><li>• Chronic: Rising mean temperatures</li><li>• Chronic: Rising sea levels</li><li>• Chronic: Other</li></ul>



上流・下流のリスクについては、自社操業でないだけで、これらいずれもあり得ます。

## 文章を記述 ※がんばって書いて下さい！

内容:御社の気候関連リスクと機会の管理の方法についての概要と事例  
(後でそれぞれ特定のリスクと機会の独自の管理について聞く質問があるので、ここでは、全体像と2つ程度の事例を書くようにしてください。)

- 御社は気候関連リスクを減らしたり、移転したり、受け入れたり、そして機会を生かすために、どのような管理工程があるか、の概要。
- 気候関連リスク・機会の優先順位を決める工程
- 1つの移行リスク・機会(削減するということによるリスク・機会)、1つの物理的リスク・機会(気候変動の影響によるリスク・機会)について、どのようにそのような管理工程を実施したかについてのケーススタディや事例。
- 移行リスク・物理的リスクのいずれかが該当しないような場合、その旨記載してください。

## C2.2 気候関連事項を全体的リスク管理に統合するプロセスについて(2/3)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.2c ※10のリスクについて、それぞれ、選択肢1か所、自由説明1か所	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 10行それぞれについて、選択肢が選ばれていて、自由記述欄に記述がある→0.5(最大X10)</li> <li>- ないしは、「Relevance &amp; Inclusion」にて、「評価していない」を選択している→0.5(最大X10)</li> </ul>	5	5	認識ポイントの対象となるには、「該当して常に含まれている」または「該当して時々含まれている」が少なくとも1つの行で選択されている必要がある <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「該当しない、説明あり」を選択した場合、「説明してください」の欄に、なぜそのリスクタイプが該当しないかが明瞭に説明されている→0.5</li> <li>- 「該当しているが、含めていない」または「評価していない」を選択→0</li> <li>- 上記以外が選択されていて、「説明してください」に説明が記述→0.5</li> </ul>	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「該当し、常に含まれている」「該当し、時々含まれている」または「該当しないが含まれている」を選択し、説明に企業固有のリスクタイプの事例と、気候関連リスク評価へどのように含まれるかが説明→0.5</li> <li>- 「該当しない、説明を記述」が選択され、なぜそのリスクが企業に該当しないかについて企業固有の説明がある→0.5</li> <li>- 「該当するが、含めていない」または「評価していない」を選択→0</li> </ul>	5	5	管理ポイントが満点の場合	1	1
C2.2d ※自由記述	文章の記述あり→1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 気候関連リスクの管理プロセスについて説明→1</li> <li>- 気候関連機会の管理プロセスについて説明→1</li> </ul>	2	2	認識ポイントが満点 <ul style="list-style-type: none"> <li>i) プロセス適用の方法についてのケーススタディがある 物理的リスク・機会→1, 移行リスク・機会→1</li> <li>ii) 気候関連リスク管理プロセスの説明が、C2.2と2.2aと整合的→1</li> </ul>	3	3	管理ポイントが満点の場合	1	1

## C2 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C2.1	3	3	3	3	0	0	0	0
C2.2	1	1	1	1	1	1	1	1
C2.2a	2	2	2	2	2	2	1	1
C2.2b	1	1	1	1	2	2	0	0
C2.2c	5	5	5	5	5	5	1	1
C2.2d	1	1	2	2	3	3	1	1
C2.2e	2	2	1	1	2	5	0	1
C2.3	1	1	0	0	0	0	0	0
C2.3a	12	12	12	12	15	15	3	3
C2.3b	2	2	1	1	4	4	1	1
C2.4	1	1	0	0	0	0	0	0
C2.4a	12	12	12	12	15	15	1.5	1.5
C2.4b	2	2	1	1	4	4	0.5	0.5
C2.5	5	5	5	5	6	6	1	1
C2.6	7	7	3.5	3.5	3.5	3.5	1	1

どうして御社は気候関連リスク・機会を特定、評価、管理するプロセスを実施していないのでしょうか。なお、今後そのような工程を導入する計画はありますか。

※C2.2にてリスク・機会の特定・評価・管理プロセスがないと回答した場合のみ

両方記入してください(開示1X2=2)

Primary reason 主な理由	Please explain 説明してください
Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>We are planning to introduce a risk identification, assessment, and management process in the next two years</li> <li>Important but not an immediate business priority</li> <li>Judged to be unimportant, explanation provided</li> <li>Lack of internal resources</li> <li>Insufficient data on operations</li> <li>No instruction from management</li> <li>Other, please specify</li> </ul>	Please explain: Why do you not have such a process? Please provide additional explanation, such as, "Company-specific" additional explanation. For example, "We cannot do such a process, or we have checked or implemented it, etc." ("Company-specific" as appropriate). In addition, if you have a plan to implement such a process in the future, please include the timing of implementation in your explanation.

#### 選択肢

2年以内にリスク特定・評価・管理の工程を導入する予定

○認識スコア(1)

- ・重要だが、緊急の事業優先度はない
- ・重要ではないと判断した。詳細は説明。
- ・内部的資源の不足
- ・実施のためのデータが十分ではない
- ・経営からの指示がない。

・その他、内容を説明

○認識スコア(1)

※ただし、説明がある場合。

○管理スコア(2)

## C2.2 気候関連事項を全体的リスク管理に統合するプロセスについて(3/3)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.2e ※なぜないか。主な理由の選択、説明（自由記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 主な理由を記述→1</li> <li>- 説明を記述→1</li> </ul>	2	2	開示ポイントが満点 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 1列目:「今後リスク特定を計画中」→1</li> <li>- 「重要だが、事業優先度が緊急ではない」「重要ではないと判断」「内部資源の欠如」「管理からの指示がない」→0</li> <li>- 「その他、特定してください」にて特定してある→1</li> </ul>	1	1	以下両方を満たしている→2 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 1列目:「今後リスク特定を計画中」</li> <li>- 説明に、今後2年以内にプロセスを導入する計画について、企業固有の説明がある</li> </ul>	2	5	C2.2にて「気候関連事項の特定・評価・管理について記述されたプロセスはない」を選択している場合	0	1

はい



どちらかお答えください。

いいえ

(いずれの場合でも、配点は異なりますが、満点を取ることができます。)

C2.3「はい」

※3つ以上書いてください！（Risk1, Risk2, Risk3）  
コメント以外、全列なんとか埋めてください。

C2.3a

御社の事業に大きな財務的または戦略的影響を与える可能性のあるリスクの詳細を教えてください。

Identifier ①ID番号	②バリューチェーンのどこをカバー？	③リスクタイプ	④主なリスク要因	⑤財務影響要因	⑥企業固有の説明	Time horizon ⑦時間軸
Select from: ● Risk1 - Risk100	Select from: ● Direct operations ● Supply chain ● Customer 御社の操業？ サプライチェーン？ 顧客？	Select from: ● Transition risk ● Physical risk ※移行リスク (排出削減の必要によるもの) 物理リスク(気候変動の影響によるもの)	See drop-down options below →別ページに詳述	See drop-down options below →別ページに詳述	- リスク要因について、より詳細に説明。その特徴、発生場所、関連規制、場所を特定した事例など。 - 企業固有：プログラム、製品、サービスの名称、方法、事業の場所など	Select from: ● Current ● Short-term ● Medium-term ● Long-term ● Unknown
1から順に選んでいってください。					できるだけ、これ以外を選んでください。 × 認識スコア(-4x3)	
⑧発生の尤度(可能性)	⑨影響の度合い	⑩あり得る財務影響	⑪財務影響の説明	⑫管理手法	⑬管理コスト	⑭コメント
Select from: ● Virtually certain ● Very likely ● Likely ● More likely than not ● About as likely as not ● Unlikely ● Very unlikely ● Unknown	Select from: ● High ● Medium-high ● Medium ● Medium-low ● Low ● Unknown	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas] 対策をとる前の財務影響。 C0.4で回答した通貨で記述しない場合はゼロ。 ゼロではない数値が好ましい(認識スコア-4x3)	- ありえる財務影響を説明 - 加えて、⑩の計算式を説明。 →別ページに詳述	- 管理手法について記述 - 必ず、御社固有の、管理のための活動、プロジェクト製品、サービスなどについて具体的に書いてください。 - <b>すでに実施したものがあれば評価高いので、それも書いてください(1)。</b>	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas] 管理のための行動のコストがあれば。 ない場合は0を記入。 貨幣換算で出せない場合、定量的に出せない場合は、「コメント」に記述。	Text field [maximum 1,000 characters]
できるだけ、これ以外を選んでください。 × 認識スコア(-4x3)						

※「財務影響要因」と「あり得る財務影響金額」「財務影響の説明」について、  
お互い矛盾がないことを確認してください。



石油・ガス、電気事業、自動車・部品、農業、石炭資源保有企業についてはガイダンスに、セクターに特化した記述があります。



## ⑥“企業固有の説明”

▼2.3a 御社の事業に重大な財務上または戦略上の影響をもたらす可能性があるとして特定したリスクについて、その詳細を教えてください。→「企業固有の説明(Company specific description)」の欄に、企業“固有の”説明を記入—1ポイント

良くない説明(0ポイント)	平均的な説明(0ポイント)	良い説明(1ポイント)
平均気温の上昇によって、わが社の事業にマイナスの影響があり得る。	平均気温の上昇によって、エアコンや冷蔵に必要なエネルギー消費は増加し、コスト上昇をもたらします。わが社の店舗、オフィス、配送センターでのエネルギー消費の増加というリスクがあります。	わが社の工場の60%は、平均気温上昇が大きいとされている中央アメリカに位置しています。そのような気温上昇によって、エアコンや冷蔵の水準を保つのに必要なエネルギー消費は増加します。それによって、わが社の事業における操業コストは増加すると見込まれます。

## C2.3a ④ 主なリスク要因

※③リスクタイプと整合するようにしてください！

### <移行リスク>

- 政策や法律: GHG排出価格(炭素税・排出量キャップ)の上昇
- 政策や法律: 排出量報告義務の強化
- 政策や法律: 既存の製品・サービスに対する義務・規制
- 政策や法律: 訴訟の可能性
- 政策や法律: その他
- 技術: 既存の製品・サービスが低排出のものによって代替される
- 技術: 新技術への投資の失敗
- 技術: 低排出技術への移行のためのコスト
- 技術: その他
- 市場: 消費者行動の変化
- 市場: 市場シグナルの不確実性
- 市場: 原材料のコスト上昇
- 市場: その他
- 評判: 消費者選好の変化
- 評判: セクターへの非難
- 評判: 関係者の憂慮やマイナスの反応の増加

### <物理リスク>

- 急性: サイクロンや洪水といった異常気象の激甚化
- 急性: その他
- 慢性: 降雨パターンの変化、気候パターンの変動増加
- 慢性: 平均気温上昇
- 慢性: 海面上昇
- 慢性: その他

Transition risks	Physical risks
<ul style="list-style-type: none"><li>• Policy and legal: Increased pricing of GHG emissions</li><li>• Policy and legal: Enhanced emissions reporting obligations</li><li>• Policy and legal: Mandates on and regulation of existing products and services</li><li>• Policy and legal: Exposure to litigation</li><li>• Policy and legal: Other</li><li>• Technology: Substitution of existing products and services with lower emissions options</li><li>• Technology: Unsuccessful investment in new technologies</li><li>• Technology: Costs to transition to lower emissions technology</li><li>• Technology: Other</li><li>• Market: Changing customer behavior</li><li>• Market: Uncertainty in market signals</li><li>• Market: Increased cost of raw materials</li><li>• Market: Other</li><li>• Reputation: Shifts in consumer preferences</li><li>• Reputation: Stigmatization of sector</li><li>• Reputation: Increased stakeholder concern or negative stakeholder feedback</li><li>• Reputation: Other</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Acute: Increased severity of extreme weather events such as cyclones and floods</li><li>• Acute: Other</li><li>• Chronic: Changes in precipitation patterns and extreme variability in weather patterns</li><li>• Chronic: Rising mean temperatures</li><li>• Chronic: Rising sea levels</li><li>• Chronic: Other</li></ul>

## C2.3a ⑤財務的影響要因

### <移行リスク>

- 政策や法律: 操業コストの増加(例:規制遵守コスト、保険料)
- 政策や法律: 政策変化による資産の損害、既存の資産の早期廃棄
- 政策や法律: 罰金や判決に基づく製品・サービスのコスト増・需要減
- 技術: 技術変化による既存の資産の損失と早期廃止
- 技術: 製品・サービスへの需要減少
- 技術: 新しい代替技術への研究開発支出
- 技術: 技術開発のための資本投資
- 技術: 新しい施策やプロセスを適用・導入するためのコスト
- 市場: 消費者選好の変化による製品・サービスへの需要減少
- 市場: 投入コスト増加(エネルギー、水等)や製品への要求(排水対策)による生産コストの増加
- 市場: エネルギーコストの突然の変化
- 市場: 売上源構成の変化による売上減少
- 市場: 資産の価格修正(化石燃料埋蔵量、土地評価、証券評価等)
- 評判: 製品・サービスへの需要減少による売上減少
- 評判: 製造容量の減少による売上減少(計画認定の遅延、サプライチェーンの途絶等)
- 評判: 労働力管理や計画へのマイナス影響による売上減少(就労者への魅力や保持)
- 評判: 資本入手がしにくくなる
- その他、特定してください。

### <物理リスク>

- 生産容量減少による売上減少(輸送困難、サプライチェーン途絶)
- 労働力に対するマイナス影響によってコストが上昇し、収益減少(健康、安全面、欠勤)
- 既存資産の減損や早期廃止(リスクの高い場所における資産への損害)
- 操業コスト上昇(水力・原子力・火力発電所に対する水不足)
- 資本コストの上昇(施設への損害)
- 売上/生産減少による収益減少
- 保険料の増加とリスクの高い場所における資産への保険が難しくなる
- その他、特定してください。

## ⑩あり得る財務影響

- 財務影響がない場合→0
- C0.4で回答した通貨で記述
- 推計値であることが前提です
- (数値が出せない場合、⑪に、可能な場合は“何の〇%”といった概算や、質的な影響について、説明してください。)

## ⑪財務影響の説明

---

- 「⑩あり得る財務影響」について詳細を説明するための自由記述欄です。
- 財務影響についての数値がない場合、“Impact not quantified financially”と書いてください。

## C2.3 事業の財務・戦略に大きな影響がある気候関連リスクについて(1/2)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.3 ※Yes/No	回答あり→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C2.3a ※選択肢8か所、コメント4か所、数値2か所	※3行について評価 - 2列目「バリューチェーンのどこで発生？」に回答 - 完成した行に対して最大4ポイント	12	12	※3行について評価 - 完成していて、「あり得る財務影響」に0より大きい数値を記入、かつ、「時間軸」「Likelihood」「影響の度合い」に「Unkown」以外を選択 →4(X3)	12	12	C2.2, C2.2a, C2.2b&C2.2cの認識ポイントが満点 ※3行について評価 - 「企業固有の説明」欄に企業固有の説明がある→1 - 「財務影響の要因」にて選択したリスク要因が、「あり得る財務影響」の数値「財務影響」の説明と整合的であり、合理的であること→1 - 「財務影響の説明」に、財務影響の計算方法について説明しており、あり得る影響について明瞭に説明している→1 - 管理手法に、すでに導入された行動が記述→1 - 管理手法に、事例やケーススタディがある→1	15	15	※3行について評価 - 管理ポイントが満点の行1(X3)	3	3

御社の事業に大きな財務的または戦略的影響をあたえる可能性のある気候関連リスクにさらされていないと考える理由を教えてください。

管理スコア取得の条件：  
C2.2, C2.2a, C2.2b&C2.2cの認識ポイントが満点

※両方書いてください(開示1x2=2)

Primary reason 主な理由	Please explain 説明してください
<p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Risks exist, but none with potential to have a substantive financial or strategic impact on business</li> <li>• Evaluation in process</li> <li>• Not yet evaluated</li> <li>• Other, please specify</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- なぜ御社が気候関連リスクにさらされていないかについて、明瞭で企業固有の説明がある→管理3</li> <li>- なぜ御社が気候関連リスクにさらされていないかの評価を行った(行っている)プロセスについて説明→管理1</li> </ul>

満点で  
リーダー  
シップ(1)

<選択肢>

・リスクはあるが、財務や戦略上、事業に重大な影響を与えるものではない。

・評価を実施中である。

・評価をしていない。

・その他、詳細を記述。

○認識スコア(1)

## C2.3 事業の財務・戦略に大きな影響がある気候関連リスクについて(2/2)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.3b ※選択肢1 つと、自由 記述1か所	i) 主な理由→1 ii) 説明記述→1	2	2	以下両方を満たす場合 →1 -両欄が完成 - 主な理由について、「リ スクは存在するが、財 務・戦略への大きな影響 はない」または「評価を 実施中」を選択	1	1	C2.2, C2.2a, C2.2b&C2.2cの認識 ポイントが満点 「説明」の欄にて、 - なぜ御社が気候関連リス クにさらされていないかにつ いて、明瞭で企業固有の説明 がある→3 - なぜ御社が気候関連リス クにさらされていないかの評価 を行った(行っている)プロセ スについて説明→1	4	4	管理ポイントが満点	1	1



※必ずいずれか選んでください。(1)

- ・はい。
- ・はい。機会は特定しましたが、その実現ができていません。
- ・いいえ

C2.5にて「はい」と回答

※3つ以上書いてください！(Opt1, Opt2, Opt3)  
コメント以外、全列なんとか埋めてください。

C2.4a

御社の事業に大きな財務的または戦略的影響を与える可能性のある機会の  
詳細を教えてください。

Identifier ①ID番号	②バリューチェーンの どこをカバー？	③機会のタイプ	④主な機会の要因	⑤財務影響要因タイプ	⑥企業固有の説明	⑦時間軸
Select from: ● Opt1 - Opt100	Select from: ● Direct operations ● Supply Chain ● Customer	Select from: ● Resource efficiency ● Energy source ● Products and services ● Markets ● Resilience →別ページに詳述	See drop-down options below →別ページに詳述	See drop-down options below →別ページに詳述	- 機会の要因について、より詳細に説明。その特徴、発生場所、関連規制、場所を特定した事例など。 - 企業固有：プログラム、製品、サービスの名称、方法、事業の場所など	Select from: ● Current ● Short-term ● Medium-term ● Long-term <input type="checkbox"/> unknown
⑧発生の尤度(可能性)	⑨影響の度合い	⑩あり得る財務影響	⑪財務影響の説明	⑫機会実現戦略	⑬機会実現のコスト	⑭コメント
Select from: ● Virtually certain ● Very likely ● Likely ● More likely than not ● About as likely as not ● Unlikely ● Very unlikely ● Exceptionally unlikely <input type="checkbox"/> Unknown	Select from: ● High ● Medium-high ● Medium ● Medium-low ● Low <input type="checkbox"/> Unknown	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]  C0.4で回答した通貨で記述。 ない場合はゼロ。 ゼロではない数値が好ましい(認識スコア-4x3)	- ありえる財務影響を説明 - 加えて、⑩の計算式を説明。 →別ページに詳述	- 機会実現戦略について記述 - 必ず、御社固有の、管理のための活動、プロジェクト製品、サービスなどについて具体的に書いてください。 - すでに実施したものがあれば評価高いので、それも書いてください。	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999,999 using up to 2 decimal places and no commas]  機会実現戦略のための行動のコストがあれば。ない場合は0を記入。 貨幣換算で出せない場合、定量的に出せない場合は、「コメント」に記述。	Text field [maximum 1,000 characters]

できるだけ、これ以外を選んでください。

× 認識スコア(-4x3)

※「財務影響要因」と「あり得る財務影響金額」「財務影響の説明」について、  
お互い矛盾がないことを確認してください。

電気事業、農業セクターの企業については、ガイダンスにセクターに特化した内容について記述があります。

## ③ 機会のタイプ

▼ 資源効率性 (Resource efficiency) : 生産や配送の工程、建物や機械・機器、輸送・移動などの資源効率性を高めることに関する機会。

▼ エネルギー源 (Energy source) : 利用するエネルギーを低排出なものにシフトすることに関する機会。

▼ 製品・サービス (Products and services) : 低排出であったり、気候への適用をするための製品やサービスのイノベーションや開発に関する機会

▼ 市場 (Markets) : 御社が活動を多様化させ、低炭素経済への移行において、よりよい位置につけることを助けるような、新規市場や資産の種類における機会。

▼ 柔軟性 (Resilience) : 気候変動に応じて適応するための開発に関する機会。長期に存在する固定資産や、広域の供給・分配ネットワークを保有する企業に該当するかもしれません。なぜなら、インフラネットワークやバリューチェーンにおける天然資源に大きく依存したり、長期の資金や投資が必要だからです。

## ④ 主な機会の要因

### <資源効率性>

- より効率的な輸送手段の利用
- より効率的な生産・配送プロセスの利用
- リサイクルの活用
- より効率的な建築物への移転
- 水利用・消費の減少
- その他

### <エネルギー源>

- 低排出のエネルギー源の利用
- 政策的支援インセンティブの利用
- 新技術の利用
- 炭素市場への参加
- 分散型エネルギー発電へのシフト
- その他

### <製品・サービス>

- 低排出の製品やサービスの開発や拡大
- 気候への適応対策や、保険などの解決策の開発
- 研究開発やイノベーションを通じた新製品・サービスの開発
- 事業活動を多様化させる能力
- 消費者の選好のシフト
- その他

### <市場>

- 新しい市場へのアクセス
- 公的部門のインセンティブ利用
- 保険をかける新しい資産や場所へのアクセス
- その他

### <レジリエンス>

- 新たな再エネプログラムへの参加や省エネ策の導入
- 資源の代替や多様化
- その他

## ⑤財務影響要因タイプ

### <資源効率性>

- 操業コストの削減(効率化やコスト低下など)
- 生産容量が増え、売上が向上
- 固定資産の価値が上昇(エネルギー効率がよく評価された建築物など)
- 雇用者管理や計画の面での利益
- (健康・安全面の向上、雇用者の満足度が上がりコスト削減につながった、など)
- その他、詳述してください

### <エネルギー源>

- 操業コストの削減(低いコストの対策活用による、など)
- 将来の化石燃料価格上昇からの回避
- GHG排出が下がり将来の炭素価格変化の影響が低下
- 低排出技術への投資からの利益
- 利用できる資本の増加(投資家が低排出製品を好む、など)
- 評判がよくなり、製品・サービスへの需要が増加
- その他、詳述してください

### <製品・サービス>

- 低排出の製品やサービスへの需要拡大による売上増
- 適応の必要性に対する新たな解決策による売上増
- (保険リスク移転の製品・サービスなど)
- 変化した消費者選好によって競争優位が生じ、売上増
- その他、詳述してください

### <市場>

- 新しい発展中の市場へのアクセスによって売上増(政府・開発銀行との協働)
- 金融資産の多様性向上(グリーンボンド、インフラファンドなど)
- その他、詳述してください

### <レジリエンス>

- レジリエンス計画によって市場評価が向上(インフラ、土地、建物など)
- サプライチェーンの信頼性や多様な状況での操業能力の向上
- レジリエンスを保つための新しい製品・サービスによる売上増
- その他、詳述してください

## ⑥“企業固有の説明”

▼2.4a 御社の事業に重大な財務上または戦略上の影響をもたらす可能性があるとして特定した機会について、その詳細を教えてください。→「企業固有の説明(Company specific description)」の欄に、企業“固有の”説明を記入—1ポイント

良くない説明(0ポイント)	平均的な説明(0ポイント)	良い説明(1ポイント)
気候変動による製品・サービスの需要増加によって、わが社の評判は向上する可能性がある。	気候変動によって、評判が上がると見込まれる。わが社は製品の持続可能性へのコミットについて、各種情報提供プログラムに積極的に参加している。	わが社の業績から、気候変動によって評判が向上し、製品・サービスへの需要が高まることが期待できる。わが社のブランドが持続可能であることを保証するための様々な情報プログラムに参加してきた。事例としては、包装に関する直接的キャンペーンや様々な持続可能性プログラムへの連携である。競合他社はこのようなエンゲージメントを実施しておらず、店舗、オンライン両方を通じた販売が、気候変動への認識が消費者の間で高まるにつれ、増加すると予測している。

## C2.4 事業の財務・戦略に大きな影響がある気候関連機会について(1/2)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.4 ※3択	回答あり→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C2.4a ※選択肢8 か所、コメント4か所、 数値2か所	※3行について評価 - 2列目「バリューチェーンのどこで発生？」に回答 - 完成した行に対して最大4ポイント	12	12	※3行について評価 - 完成していて、「あり得る財務影響」に0より大きい数値を記入、かつ、「時間軸」「Likelihood」「影響の度合い」に「Unkown」以外を選択 →4(X3)	12	12	C2.2, C2.2a, C2.2b&C2.2cの認識ポイントが満点 ※3行について評価 - 「企業固有の説明」欄に企業固有の説明がある→1 - 「財務影響の要因」にて選択した機会要因が、「あり得る財務影響」の数値「財務影響」の説明と整合的であり、合理的であること→1 - 「財務影響の説明」に、財務影響の計算方法について説明しており、あり得る影響について明瞭に説明している→1 - 機会の実現戦略に、すでに導入された行動が記述→1 - 機会の実現戦略に、事例やケーススタディがある→1	15	15	※3行について評価 - 管理ポイントが満点の0.5(X3)	1.5	1.5

C2.4「いいえ」 ↓

C2.4b

御社が気候関連の機会がないと考える理由を教えてください。

管理スコア取得の条件：  
C2.2, C2.2a, C2.2b&C2.2cの認識ポイントが満点

※両方書いてください(開示1x2=2)

Primary reason 主な理由	Please explain 説明してください
Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>Opportunities exist, we are unable to realize them</li> <li>Opportunities exist, but none with potential to have a substantive financial or strategic impact on business</li> <li>Evaluation in progress</li> <li>Judged to be unimportant</li> <li>No instruction from management to seek out opportunities</li> <li>Not yet evaluated</li> <li>Other, please specify</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ御社が気候関連の機会がないかについて、明瞭で企業固有の説明がある→管理3</li> <li>なぜ御社が気候関連の機会がないかの評価を行った(行っている)プロセスについて説明→管理1</li> </ul> ※書く内容についてはガイダンスを参照してください！

満点で  
リーダー  
シップ(0.5)

<選択肢>

- ・機会はあるが、実現できていない
- ・機会はあるが、財務や戦略上、事業に重大な影響を与えるものではない。
- ・評価を実施中である。
- ・重要ではないと判断した。
- ・経営から機会を見つけるように指示がない。
- ・評価をしていない。
- ・その他、詳細を記述。

○認識スコア(1)



## C2.4 事業の財務・戦略に大きな影響がある気候関連機会について(2/2)

	開示	分子		認識	分母		管理	分子		リーダー	分母	
		分子	分母		分子	分母		分子	分母			
C2.4b ※選択肢1 つと、自由 記述1か所	i) 主な理由→1 ii) 説明記述→1	2	2	以下両方を満たす場合 →1 -両欄が完成 - 主な理由について、「機 会は存在するが、財務・ 戦略への大きな影響は ない」または「評価を実 施中」を選択	1	1	C2.2, C2.2a, C2.2b&C2.2cの認識 ポイントが満点 「主な理由」に「機会は存在する が、財務・戦略への大きな影響 はない」または「評価実施中」を 選択、 かつ、「説明」の欄にて、 - なぜ御社が気候関連機会が ないかについて、明瞭で企 業固有の説明がある→3 - なぜ御社が気候関連機会に さらされていないかの評価を 行った(行っている)プロセス について説明→1	4	4	管理ポイントが満点→0.5	0.5	0.5

※5つの分野について、選択肢を選び、説明を書いてください。(0.5+0.5)x5=5)

Area	分野	Impact	影響	Description	説明
Products and services	製品・サービス	Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Impacted</li> <li>• Impacted for some suppliers, facilities, or product lines</li> <li>• Not yet impacted</li> <li>• Not impacted</li> <li>• Not evaluated</li> <li>• We have not identified any risks or opportunities</li> </ul>		(A) ①事業のどの分野に影響があるかについての企業固有の説明(→0.5)、 ②その影響の度合いについての説明(→0.5)	
Supply chain and/or value chain	サプライチェーン/バリューチェーン			(B) ①該当事業分野のあり得る/予想される影響についての企業固有の説明(→0.5)、 ②あり得る/予想される影響の時間軸についての説明(→0.5)	
Adaptation and mitigation activities	適応・緩和活動				
Investment in R&D	研究開発投資				
Operations	操業			(B) ①なぜその事業分野への影響はないのか(→1)	
Other, please specify	その他、特定してください				

<選択肢>

- 影響を受けている
- 一部のサプライヤー・設備・生産ラインが影響を受けている
- まだ影響を受けていない
- 評価を実施していない
- リスクや機会があると考えていない

○認識スコア(1x5)

全行満点(1)

## C2.5 特定したリスクと機会が事業のどこにどのような影響を与えるか

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.5 ※5分野について、選択肢1か所、説明1か所(othersも記入可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 5行(other, please specify 以外)それぞれについて、「影響」について選択肢を選んでる→0.5(X5)</li> <li>- 5行(other, please specify 以外)それぞれについて、「説明」に文章が記述→0.5(X5)</li> </ul>	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 各行について、「影響」について、「影響がある」「いくつかのサプライヤー・施設・製品ラインにて影響がある」「まだ影響はない」または「影響はない」が選択され、「説明」に明確な説明が提供→1</li> <li>- 「影響」の欄にて、「リスク・機会を特定していない」を選んだ場合、C2.3bとC2.4bにて認識ポイントが満点の場合のみ→1</li> </ul>	5	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A) 「影響」の列について、「影響がある」「いくつかのサプライヤー・施設・製品ラインにて影響がある」を選んでる場合、「説明」の欄に、①事業のどの分野に影響があるかについての企業固有の説明(→0.5)、②その影響の度合いについての説明(→0.5)</li> <li>(B) 「まだ影響はない」を選んでる場合、「説明」の欄に、①該当事業分野のあり得る/予想される影響についての企業固有の説明(→0.5)、②あり得る/予想される影響の時間軸についての説明(→0.5)</li> <li>(C) 「影響はない」を選択している場合、「説明」の欄に、①なぜその事業分野への影響はないのか(→1)</li> <li>(D) 「評価していない」→0</li> <li>(E) 「リスク・機会を特定していない」を選択している場合、C2.3bとC2.4bにて認識ポイントが満点→1</li> </ul>	5	5	全行について管理ポイントが満点	1	1

※「妥当性」と「説明」両方回答してください。(0.5+0.5)x7=7

Area	分野	Relevance	妥当性	Description	説明
Revenues	収入	Select from:	<ul style="list-style-type: none"> <li>Impacted</li> <li>Impacted for some suppliers, facilities, or product lines</li> <li>Not impacted</li> <li>Not yet impacted</li> <li>Not evaluated</li> <li>We have not identified any risks or opportunities</li> </ul>		<p>(A) ①財務計画のどの分野に影響があるかについての企業固有の説明(→0.25)、 ②その影響の度合いについての説明(→0.25)</p> <p>(B) ①財務計画プロセス分野のあり得る/予想される影響についての企業固有の説明(→0.25)、 ②あり得る/予想される影響の時間軸についての説明(→0.25)</p> <p>(C) ①なぜその財務計画プロセス分野への影響はないのか(→0.5)</p>
Operating costs	操業コスト				
Capital expenditures/capital allocation	資本支出/資本配分				
Acquisitions and divestments	買収や投資撤収				
Access to capital	資本へのアクセス				
Assets	資産				
Liabilities	負債				
Other, please specify	その他、特定ください				

<選択肢>

- 影響を受けている
- 一部のサプライヤー・設備・生産ラインが影響を受けている
- まだ影響を受けていない
- 評価を実施していない
- リスクや機会があると考えていない

○認識スコア(0.5x7)

全行満点(1)

## C2.6 特定したリスクと機会が財務計画プロセスのどこに考慮されているか

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C2.5 ※7分野について、選択肢1か所、説明1か所(othersも記入可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 7行(other, please specify以外)それぞれについて、「妥当性」について選択肢を選んでいる→0.5(X7)</li> <li>- 7行(other, please specify以外)それぞれについて、「説明」に文章が記述→0.5(X7)</li> </ul>	7	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 各行について、「妥当性」について、「影響がある」「いくつかのサプライヤー・施設・製品ラインにて影響がある」「まだ影響はない」または「影響はない」が選択され、「説明」に明確な説明が提供→0.5</li> <li>- 「妥当性」の欄にて、「リスク・機会を特定していない」を選んだ場合、C2.3bとC2.4bにて認識ポイントが満点の場合のみ→0.5</li> <li>- 「妥当性」の欄にて、「評価していない」を選択→0</li> </ul>	3.5	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A) 「妥当性」の列について、「影響がある」「いくつかのサプライヤー・施設・製品ラインにて影響がある」を選んでいる場合、「説明」の欄に、①財務計画のどの分野に影響があるかについての企業固有の説明(→0.25)、②その影響の度合いについての説明(→0.25)</li> <li>(B) 「まだ影響はない」を選んでいる場合、「説明」の欄に、①財務計画プロセス分野のあり得る/予想される影響についての企業固有の説明(→0.25)、②あり得る/予想される影響の時間軸についての説明(→0.25)</li> <li>(C) 「影響はない」を選択している場合、「説明」の欄に、①なぜその財務計画プロセス分野への影響はないのか(→0.5)</li> <li>(D) 「評価していない」→0</li> <li>(E) 「リスク・機会を特定していない」を選択している場合、C2.3bとC2.4bにて認識ポイントが満点→1</li> </ul>	3.5	3.5	全行について管理ポイントが満点	1	1

# C3 事業戦略/Business strategy

C3.1

気候関連事項は御社の事業戦略に統合されていますか？

はい

いいえ

C3.1a

御社は気候関連シナリオ分析を事業戦略の参考にしてますか？

C3.1f

なぜ事業活動や戦略に気候関連事項が統合されていないのでしょうか？

特定セクターのみ: C-AC3.1b/C-CE3.1b/C-CH3.1b/C-CO3.1b/C-EU3.1b/C-FB3.1b/C-MM3.1b/C-OG3.1b/C-PF3.1b/C-ST3.1b/C-TO3.1b/C-TS3.1b.

C3.1c

気候関連事項がどのように事業目的や戦略に統合されているかについて説明してください。

「はい、定性的に」「はい、定量的に」  
「はい、定性的・定量的に」を選択した場合(C3.1a)

「いいえ、しかし2年以内にそうする予定です」  
「いいえ、2年以内にもそうする予定はありません」  
を選択した場合(C3.1a)

C3.1d

御社の気候関連シナリオ分析の利用についての詳細を教えてください。

C3.1g

御社はどのように気候関連シナリオ分析を事業戦略の参考にしないのですか？

特定セクターのみ: C-AC3.1e/C-CH3.1e/C-CH3.1e/C-CO3.1e/C-EU3.1e/C-FB3.1e/C-MM3.1e/C-OG3.1e/C-PF3.1e/C-CH3.1e/C-TO3.1e/C-TS3.1e.

モジュール終了

## C3 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C3.1	1	1	1	1	0	0	0	0
C3.1a	1	1	1	1	0	0	0	0
C- AC/CE/CH/CO/EU/FB/MM/OG/PF /ST/TO/TS3.1b	2	2	0	0	0	0	0	0
C3.1c	1	1	2	2	4	4	1	1
C3.1d	2	2	3	3	3	3	1	1
C- AC/CE/CH/CO/EU/FB/MM/OG/PF /ST/TO/TS3.1e	2	2	0	0	0	0	0	0
C3.1f	1	1	3	3	3	4	0	1
C3.1g	1	1	2	2	2	3	0	1

以下の内容が事業戦略に組み込まれている場合、「はい」を回答ください。

- ・二酸化炭素や他の温室効果ガス排出を減らす必要性。
- ・気候変動課題、パリ協定、それによるエネルギーへの影響に適応する必要性。
- ・気候変動によってもたらされる機会を実現する必要性。
- ・気候変動を事業戦略全体に統合することについて、よりよく知る必要性。



C3.1に「はい」と回答

C3.1a

御社は気候関連シナリオ分析を事業戦略の参考にしていますか？

### <選択肢>

- ・はい、定性的に。
- ・はい、定性的・定量的の両方にて。
- ・いいえ、しかし2年以内にそうする予定です。
- ・いいえ、2年以内にそうする予定もありません。

× 認識スコア(-1)

気候関連事項がどのように事業目的や戦略に統合されているかについて説明してください。

以下の内容を書いてください。すべて書けない場合も、書けるもののみでも書くことで、開示ポイントが付きます。

- i. 事業目的・戦略がどのように気候関連課題によって影響を受けたか ○認識スコア(1)、※企業固有である場合+(1)
- ii. 御社の事業戦略が排出削減目標やエネルギー消費削減目標にリンクしているか ○リンクしている場合:管理スコア(2)
- iii. 報告年において、気候変動がもたらした戦略への影響で、最も重要な事業上の決定についての説明(例えば、投資、立地、調達、事業統合・買収(M&A)、研究開発など)事業上の決定と、それと気候変動との関係について、明確に示す必要があります。報告するような重要な決定がない場合、その旨書いてください。
- iv. 気候変動のどの側面が、戦略に影響したか(例えば、適応の必要性、規制の変化、グリーンビジネスを発展させる機会、など) ○事例があって、気候変動がどのように決定に影響したかの説明がある:管理スコア(2)
- v. 短期戦略がどのように影響を受けたか
- vi. 長期戦略がどのように影響を受けたか
- vii. 競合企業に対して、戦略的優位をどのように得られたか
- viii. パリ協定がどのように御社の事業戦略に影響したか(例えば、各国貢献削減(INDCs)に沿った移行計画のプロセス、など)

できればこの番号「i~viii」を書いて、回答を書いてください。

管理P満点(1)

※事業決定は、報告年の間に有効である必要がありますが、報告年に決定されたものである必要はありません。

石油・ガス、電気事業、自動車・部品、石炭埋蔵量のある企業については、ガイダンスにセクターに特化した内容について記述があります。

## C3.1 気候関連事項が事業戦略に統合されているか

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C3.1 ※yes/no	選択している →1	1	1	Yes→1	1	1	-	0	0	-	0	0
C3.1a※5択	選択している →1	1	1	「いいえ、2年以内に実施する予定もありません」以外→1	1	1	-	0	0	-	0	0
C- AC/CE/CH/CO/EU/FB/MM/ OG/PF/ST/TO/TS3.1b※3択	選択している →2	2	2	-	0	0	-	0	0	-	0	0
C3.1c ※自由記述	文章あり→1	1	1	気候関連事項に事業目的・戦略がどのように影響を受けているかの説明→1 企業固有の説明→1	2	2	認識ポイントが満点 i) 事業戦略が排出削減目標ないしは省エネ目標にリンクしている→2 ii) 気候関連事項を統合したことによる、少なくとも1つの重要な事業決定についての事例(ない場合、その旨記述) (事業決定についてと、気候変動がどのように事業決定に影響したかを明示)→2 ※事業決定は、報告年の間に有効である必要がありますが、報告年に決定されたものである必要はありません。	4	4	管理ポイントが満点	1	1

「はい、定性的に」「はい、定量的に」  
 「はい、定性的・定量的に」を選択  
 した場合(C3.1a)

C3.1d

御社の気候関連シナリオ分析の利用についての詳細を教えてください。

※「気候関連シナリオ」と「詳細」両方回答してください。(1+1)=2

Climate-related scenarios 気候関連シナリオ	Details 詳細
Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>● ZDS</li> <li>● IEA 450</li> <li>● Greenpeace</li> <li>● DDPP</li> <li>● IRENA</li> <li>● RCP 2.6</li> <li>● IEA B2DS</li> <li>● IEA Sustainable development scenario</li> <li>● Nationally determined contributions (NDCs)</li> <li>● Other, please specify</li> </ul>	<p>「企業固有」の書き方(管理ポイントに反映)にしてください。</p> <p>内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 組織のシナリオ分析に利用したバウンダリと時間軸</li> <li>- 方法論の詳細(以下を含んでください)               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 投入データ</li> <li>- 想定</li> <li>- 分析手法</li> <li>- 参照(ベースライン)シナリオからの変化</li> </ul> </li> <li>- シナリオ分析の結果と考察についての概要、御社での活用の方法、どのように報告したか。</li> <li>- 気候変動シナリオ分析によって、御社の戦略やビジネスモデルに変化はありましたか。あった場合、その主な変化について記述してください。</li> <li>- シナリオ分析の結果が御社の事業目的や戦略にどのように直接的に影響したかについてのケーススタディ/事例を記述ください。</li> <li>- 結果として、モニタリングを行うプロセスは実装されましたか？</li> <li>- 御社の中でだれに結果を報告しましたか？結果は公開しましたか？</li> </ul>
<p>○企業固有(1)</p> <p>○説明(1)</p> <p>○ケーススタディ/事例(1)</p>	<p>○考慮した時間軸とそれが御社にとって妥当である理由(1)</p> <p>○シナリオ分析に御社のどの分野が考慮されたかの説明(1)</p> <p>○シナリオをどのように選んだか、投入データ、想定、分析手法との関連で記述(1)</p>

## C3.1 気候関連事項が事業戦略に統合されているか

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C3.1d ※シナリオ分析の詳細	気候関連シナリオに回答がある→1 詳細に文章がある→1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>- シナリオをどのように選択したかについて、投入データ、想定、分析手法との関連で記述→1</li> <li>- 考慮した時間軸とそれが御社にとって妥当である理由→1</li> <li>- シナリオ分析に御社のどの分野が考慮されたかの説明→1</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 実施したシナリオ分析について、企業固有の結果のまとめ→1</li> <li>- シナリオ分析の結果が御社の事業目的や戦略にどのように参考になったかの説明→1</li> <li>- シナリオ分析の結果が御社の事業目的な戦略にどのように直接的に影響したかについてのケーススタディ/事例→1</li> </ul>	3	3	管理ポイントが満点	1	1

C3.1に「いいえ」と回答した場合

C3.1f

なぜ事業活動や戦略に気候関連事項が統合されていないのでしょうか？

## 自由記述

「企業固有」の説明であり、以下を含んでください。

- i. なぜ気候関連課題は御社の事業戦略に統合されていないのか。
- ii. 今後、統合しようとしているか。

回答内容の例：企業として製造・提供している製品・サービスの特性によって、気候変動は事業にあまり影響がない。

管理ポイント：



気候関連事項が事業目的・戦略に影響しなかった事例について、企業固有の記述(1)

※C3.1にて「いいえ」を選んだ場合、C3.1fのリーダーシップスコアは0/1となります。

石油・ガス、電気事業、自動車・部品の企業については、ガイダンスにセクターに特化した内容について記述があります。

「いいえ、しかし2年以内にそうする予定です」  
「いいえ、2年以内にもそうする予定はありません」  
を選択した場合(C3.1a)

C3.1g 御社はどうして気候関連シナリオ分析を事業戦略の参考にしらないのですか？

## 自由記述

「**企業固有**」の説明であり、以下を含んでください。

- i. なぜ気候関連シナリオ分析を御社の事業戦略の参考に利用しないのか。
- ii. 今後、利用しようとしているか。

○認識(2)

○管理(1)

回答内容の例：企業として製造・提供している製品・サービスの特性によって、気候変動は事業にあまり影響がない。

C3.1aにて「いいえ、しかし2年以内にそうする予定です」と回答の場合：  
どのように気候関連分析を実施するかについての説明→管理(1)

C3.1aにて「いいえ、2年以内にそうする予定はありません」と回答の場合：  
2年後より先に計画しているかについての説明→管理(1)

※C3.1aにて「いいえ」を選んだ場合、C3.1gのリーダーシップスコアは0/1となります。

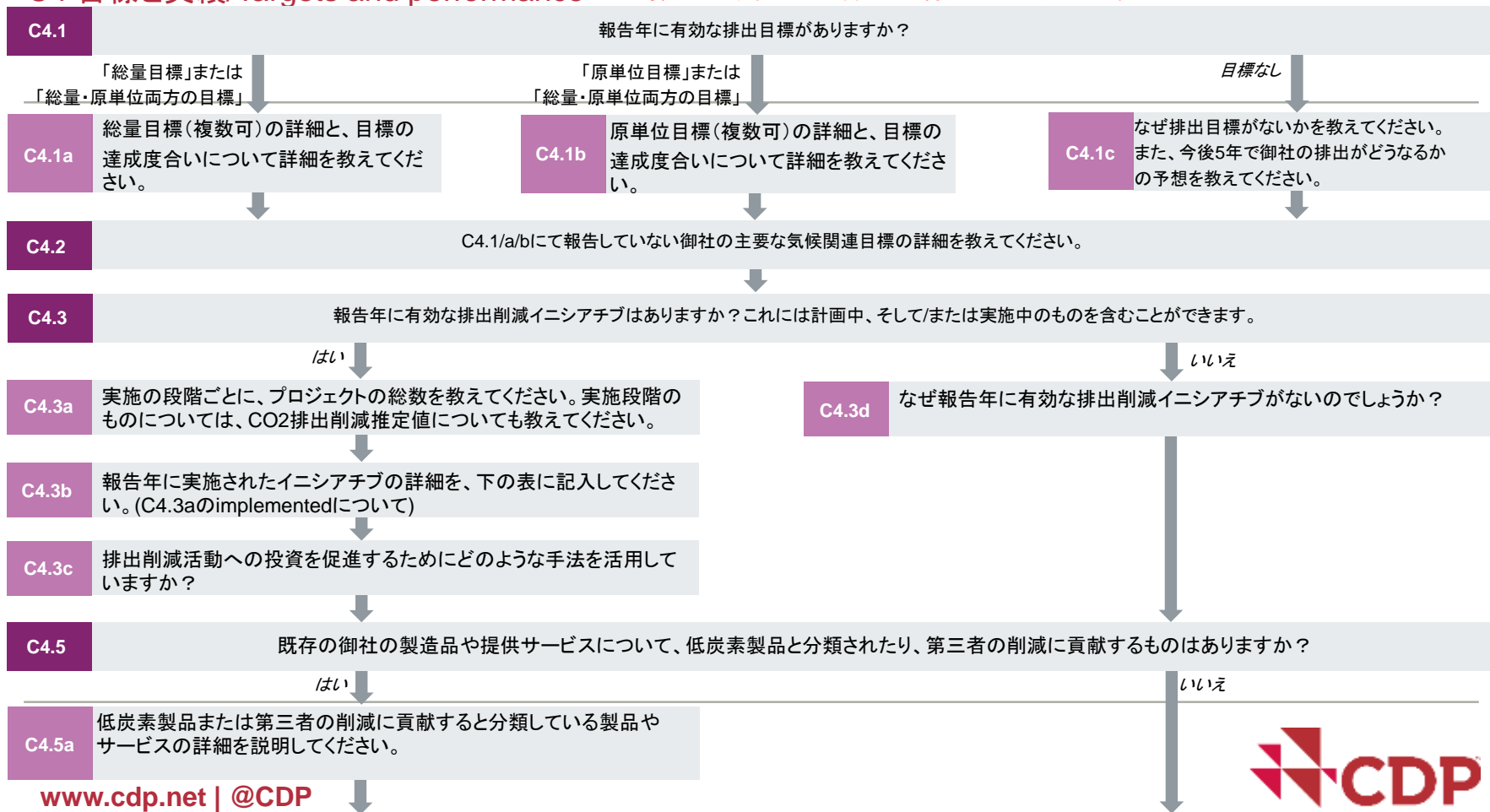
## C3.1 気候関連事項が事業戦略に統合されているか

	開示	分子		認識	分母		管理	分子		リーダー	分母	
		分子	分母		分子	分母		分子	分母			
C3.1f ※ない理由 (自由記述):気候 関連事項の統合	文章を記述→1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>- なぜ気候関連事項が事業目的・戦略に統合されていないかについての説明→1</li> <li>- 企業固有の情報を提供する説明→1</li> <li>- 将来統合するかどうかについて記述→1</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 認識ポイントが満点→1</li> <li>- 気候関連事項が事業目的・戦略に影響しなかった事例について、企業固有の記述→1</li> </ul>	2	4	C3.1にて「No」を選んだ場合→0	0	1
C3.1g ※ない理由 (自由記述):シナ リオ分析の利用	文章を記述→1	1	1	なぜ気候関連シナリオ分析を事業目的・戦略に利用しないかについて、企業固有の説明→2	2	2	認識ポイントが満点 i) なぜ気候関連シナリオ分析を事業戦略の参考にしないかについて、企業固有の説明→1 ii) 以下のいずれか ① C3.1aにて「実施していないが2年以内に実施を検討」を選択している場合、どのように気候関連分析を実施するかについての説明→1、②「いいえ、2年以内の実施も検討していません」を選択した場合、2年後より先に計画しているかについての説明→1	2	3	C3.1aにて「いいえ、2年以内に実施を計画」または「いいえ、2年以内の実施も計画していない」を選択→0	0	1



## C4 目標と実績/Targets and performance

※目標については、総量・原単位すべての目標から、もつとも得点の高い行を採用します。たくさん書いても得点は上がりません。



[www.cdp.net](http://www.cdp.net) | @CDP



# C4のセクター別質問

- ▼C-AC/FB/PF4.4御社が保有する土地において、気候変動緩和/適応の利益のある農林業の管理を実施していますか？
- ▼C-AC/FB/PF4.4a 御社が保有する土地における気候変動緩和/適応の利益のある農林業の管理手法を選び、わかるようなら該当する排出についての数値を教えてください。
- ▼C-CO/EU/OG4.6 御社における石炭採掘/発電/石油ガス生産事業からのメタン排出を削減する努力について説明してください。
- ▼C-CO/OG4.7 御社では、石炭採掘/石油ガス生産事業からのメタン漏洩に対して、漏洩感知・修復(LDAR)や他の手法を実施していますか？
- ▼C-CO/OG4.7a 御社の石炭採掘/石油ガス生産事業からのメタン漏洩の方法についての実施プロトコルを説明してください。これには、検査の頻度、対象資産カバー率、実施手法などを含みます。
- ▼C-CO/OG4.7b なぜ、メタン漏洩検知・修復や他の手法によって御社の石炭採掘/石油ガス生産事業からのメタン漏洩の対応を実施しないのか説明してください。
- ▼C-CO/OG4.8 御社の石炭採掘/石油ガス生産操業においてフレアを実施している場合、フレア減少目標を含む、それを減少しようとする努力について説明してください。
- ▼C-CE/ST4.9 御社の最新技術について、ポルトランドセメントクリンカ生産/合計生産容量に占める割合(%)をお答えください。

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。

## C4 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C4.1	1	1	1	1	1	1	0	0
C4.1a	11	11	5	5	7	7	3	3
C4.1b	11	11	5	5	6	7	3	3
C4.1c	3	3	3	3	3	6	0	3
C4.2	0	0	0	0	0	0	0	0
C-CO/OG4.2a	2	2	0	0	2	2	0	0
C4.3	1	1	1	1	1	1	0	0
C4.3a	2	2	2	2	2	2	1	1
C4.3b	9	9	6	6	1	1	0	0
C4.3c	1	1	1	1	0	0	0	0
C4.3d	1	1	2	2	3	5	0	1
C-AC/FB/PF4.4	1	1	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF4.4	9	9	6	6	0	0	0	0

## C4 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C4.5	1	1	0	0	0	0	0	0
C4.5a	5	5	0	0	0	0	0	0
C-CO/EU/OG4.6	2	2	0	0	2	2	0	0
C-CO/OG4.7	2	2	1	1	1	1	0	0
C-CO/OG4.7a	2	2	0	0	2	2	0	0
C-CO/OG4.7b	2	2	0	0	2	2	0	0
C-CO/OG4.8	2	2	0	0	3	3	0	0
C-CE4.9	4	4	0	0	0	0	0	0
C-ST4.9	2	2	1	1	0	0	0	0

## &lt;選択肢&gt;

- 総量目標
- 原単位目標
- 総量・原単位両方の目標
- 目標はありません

○認識ポイント(1)

○管理ポイント(1)

○開示ポイント(1)

# 排出目標設定についての留意点

- ▼CDPでは、“総”排出量についてのデータをお願いしています。
- ▼“総”排出量とは、**オフセットクレジット、削減貢献量、GHG分離・変換などによる変更を加える前のもの**という意味です。
- ▼オフセットを利用する目標の場合、実際の排出削減(オフセットの購入は含まない)のみの部分をここではご記述ください。
- ▼もし、実際の排出削減によって達成される比率がわからない場合、実施中・計画中の削減イニシアチブに基づいて、推計してください。
- ▼より詳細は、テクニカルノート「[カーボン・ニュートラル](#)」を参照ください。
- ▼製品利用時の排出削減についての目標、サプライチェーンを通じた排出削減については、スコープ3目標に含めてください。
- ▼スコープ3排出のカテゴリについては、[GHGプロトコル企業バリューチェーン算定報告基準](#)のものを利用しています。
- ▼各カテゴリに含まれる排出源やどのように排出を計算すべきかについては、GHGプロトコル企業バリューチェーン算定報告基準を参照ください。
- ▼スコープ3排出について「その他、特定してください」を選んだ場合、上流か下流かについて明確にしてください。

環境省が整備しているグリーンバリューチェーンプラットフォームのサイトには、日本語で、スコープ3算定やカテゴリの詳細についてわかりやすい情報がのっています。  
[www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/index.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/index.html)

## 排出目標の管理ポイント要件 除外がないこと

- ▼C6.4の回答が「No」または、C6.4aの該当列が、以下のいずれか①排出は除外されていない、②その起源の排出はない、③排出に該当しない、④最近事業統合したことから排出が除外
- ※C6.4aにてそれなりの除外がある場合、最大1/3ポイント

C4.1にて「総量目標」または  
「総量・原単位両方の目標」を選択

C4.1a

総量目標(複数可)の詳細と、目標の  
達成度合いについて詳細を教えてください。

## ②～⑧が完成:開示(7)

Target reference number ①ID番号	Scope ②対象スコープ	% emissions in Scope ③スコープ内%	% reduction from base year ④基準年からの削減率(%)	Base year ⑤基準年	Start year ⑥開始(設定)年	⑦目標対象の基準年排出量 (t-CO2)
Select from: Abs1-Abs100 ID番号を選んでください →別ページ参照	Select from drop-down options below	②で指定したスコープの何%を対象としているか(数値、0~100) スコープ1+2の70%以上となる場合:管理A	数値(0~100)を入れてください。基準年から比べて、目標年に何%削減となるかの値です。	1990~2018の間の年号(西暦)の数値を入れてください。削減目標の基準となる年です。注1)	1990~2018の間の年号(西暦)の数値を入れてください。目標を設定した年です。注2)	目標でカバーされている基準年の排出量(t-CO2)を入れてください。
Target year ⑧目標年	⑨SBTですか?	% achieved (emissions)	⑩削減達成率	Target status ⑪目標の状況	Please explain ⑫説明	
毎年の改善目標のような場合、報告年を入れてください。 開始年から5年以上の場合:認識(1) 開始年から5年~15年の間の場合:管理B	Select from drop-down options below →別ページ参照 ⑨開示(1)	Percentage field [enter a percentage from 0-100 using a maximum of 2 decimal places] 0~100の数値を入力 →別ページ参照 ⑩開示(1)	Select from: • Underway • Retired • Expired • New • Replaced ⑪開示(1) →別ページ参照	Text field [maximum 2,400 characters] ⑫開示(1)		

注1)毎年の目標の場合、報告年の前年をお書きください。5年間の目標といった複数年にまたがる目標をお持ちの場合、最後の年を入れ、説明にその旨ご記入ください。将来の年は書くことができない欄です。会計年度の場合は、該当会計年度終了する年を書き、その旨説明にお書きください。

注2)基準年より前、目標年より後の年を入れることはできません。報告年を含む、それより前の年を入れてください。報告年の後は入れないでください。

AB両方満たす場合:管理(3)

石油・ガス、電気事業、自動車・部品の企業については、ガイダンスにセクターに特化した内容について記述があります。



## ② 対象スコープ

### ▼目標が対象としている排出スコープを選択してください

#### <選択肢>

- スコープ1
- スコープ2(ロケーション基準)
- スコープ2(マーケット基準)
- スコープ1+2(ロケーション基準)
- スコープ1+2(マーケット基準)
- スコープ1+2(ロケーション基準)+3(上流)
- スコープ1+2(ロケーション基準)+3(下流)
- スコープ1+2(ロケーション基準)+3(上流と下流)
- スコープ1+2(マーケット基準)+3(上流)
- スコープ1+2(マーケット基準)+3(下流)
- スコープ1+2(マーケット基準)+3(上流と下流)
- スコープ3(上流)
- スコープ3(下流)
- スコープ3(上流と下流)
- スコープ3: 購入した製品・サービス
- スコープ3: 資本財
- スコープ3: 燃料とエネルギーに関連した活動(スコープ1,2に含まれない部分)
- スコープ3: 上流の輸送と配送
- スコープ3: 操業にて発生した廃棄物
- スコープ3: 出張
- スコープ3: 従業員の出勤
- スコープ3: 上流のリース資産
- スコープ3: 投資
- スコープ3: 下流の輸送と配送
- スコープ3: 販売した製品の加工
- スコープ3: 販売した製品の利用
- スコープ3: 販売した製品の処分
- スコープ3: 下流のリース資産
- スコープ3: フランチャイズ
- その他、詳述してください

## ③ スコープ内%

▼目標対象のスコープの基準年の合計排出量のうち、計測された排出の割合をお書きください。目標が複数のスコープを対象とする場合は、全スコープの排出量総量に対するものとしてください。

▼例) 欧州の操業からのスコープ1を減らす目標の場合、それが基準年において企業全体の排出の80%を占める場合、ここには80と書いてください。

▼例) 御社の目標が特定の事業活動(例えば、生産施設、オフィスにおける操業など)についての場合、スコープの下のカテゴリを(スコープ全体ではなく)対象として選んだ場合、「スコープ内%」の値に100を入れると、スコープ3全体の100%を意味することになります。目標が選択したスコープの100%より小さい場合、御社の事業のどの箇所(地理的、事業部門、製品など)に適用されていて、目標には何を含まないのか、について、「説明してください」の欄に書いてください。

## ⑨ 科学と整合した目標設定ですか？(SBT)

▼「はい、SBTイニシアチブから認定を受けました。」

▶ **リーダーシップ(3)** 別の要件でも同じ評価となりえる

▼「はい、これは科学と整合していると考えておりますが、SBTイニシアチブからはSBTとして認定を受けていません。」→「説明してください」の欄に、なぜ科学と整合していると考えるか、について説明してください。なお、SBTiに該当目標を提出して、rejectがあった場合は、この選択肢を選ぶことはできません。Rejectを受けて、修正をしている状況の場合、「いいえ、しかし2年以内に設定することを計画しています。」を選択してください。

▼「いいえ、しかし別の科学と整合した目標を報告しています。」 他の目標(総量または原単位)を、同じ表内、またはC4.2(原単位目標)に開示しています。

▼「いいえ、しかし2年以内に設定することを計画しています。」 必要ではないのですが、SBTiにコミットすることを推奨しています。

▼「いいえ、2年以内の設定も計画していません。」

認識(1)

## ⑩削減達成率

認識ポイント要件:「達成%(排出量)」が>0、または、「達成%(排出量)」が0以上かつ「状況」がCO.2で回答した報告年に「New」→2、または、「状況」がNewであり、かつ、CO.2で回答した報告年と開始年が同一→2

管理ポイント要件:「達成%(排出)」が、達成%(時間)より大きい(→2)

- ▼目標の、基準年に対する報告年における達成パーセンテージ(排出量で)。
- ▼例)御社の目標が、2010年を基準年として、2017年までに10%削減とする場合、そして、報告年の排出量が、基準年比で3%減っていた場合、達成率は $3/10 \times 100 = 30\%$  となります。報告年に目標を達成している場合、100%と書いてください。100%より大きい数値は入力できませんが、目標よりも多く達成(削減)している場合、「説明」の欄にその旨ご記入ください。総量目標で、GHG排出を安定化する、といった目標の場合、目標年に達するまで、毎年0と記入ください。例えば、2008年を基準年として、排出をその水準に2019年まで安定化する、といった目標の場合、報告年2019年より前は“0”を記入し、達成している場合、2019年報告年に100と記入ください。

## ⑪ 目標の状況

---

▼ Retired – 本選択肢は、目標年が先ではあるものの、もうそれを達成しようとはしていない場合に選んでください。また、「説明」の欄に、なぜもう達成しようとはしていないのかについて、説明してください。

▼ Expired – 本選択肢は、報告年の間に有効ではあったが報告年内、または報告年の最後にその期間が終了した場合に選んでください。

## ⑫説明

▼スコープの100%が本目標の対象となっていない場合、事業のどの分野(地理的、事業単位、製品等)を対象としたものか、何が含まれていないのかについて、ご説明ください。2017年のCDP質問書への回答にて、目標を回答していて、その進捗を2018年に報告している場合、この欄にその内容について、概略をご説明ください。2017年の回答でのID番号がある場合、ここにそのID番号をお書きください。また、会計年度や、複数年の平均を目標とするような場合も、その旨ここに記述ください。御社の目標がもともとは別の形式である場合、その元の形式の表現について、ここにお書きいただくとよろしいかもしれません。御社の目標が、炭素排出ニュートラルといったより大きな目標の一部である場合、規制によるものである場合、より長期の目標である場合、ここにその旨記載ください。

## C4.1 報告年に有効な排出目標について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C4.1※4択	選択している→1	1	1	「目標なし」以外選択→1	1	1	「目標なし」以外選択→1	1	1	-	0	0
C4.1a(総量)※ 選択肢3つ、%入力3、数値入力3つ、自由記述1つ	以下すべて記述→7 - 対象スコープ、スコープ内の対象排出量(%、基準年からの削減(%、基準年、開始年(設定年)、目標の対象となっている基準年の排出量(t-CO2e)、目標年 2~8列目について完成している - SBTですか?→1 - 達成している削減→1 - 目標の状況→1 - 説明してください→1	11	11	開示ポイントが7点以上、かつ「基準年」が「開始年(設定年)」より1年以上前 i) 開始年より目標年が5年以上先→2 ii) 「SBTですか?」について、①はい、SBTイニシアチブに認定されています(→1)、②はい、SBTだと認識していますが、SBTiからは認定を受けていません(→1)、③いいえ、しかしこれ以外にSBTを報告しています(→1)、いいえ、しかし2年以内に設定を予定しています(→1)、いいえ、2年以内に設定する予定もありません(→0) iii) 「達成%(排出量)」が>0、または、「達成%(排出量)」が0以上かつ「状況」がCO.2で回答した報告年に「New」→2、または、「状況」がNewであり、かつ、CO.2で回答した報告年と開始年が同一→2	5	5	i) 以下のすべての要件を満たす場合→3 - スコープ1+2排出について、「対象の排出」が70%以上 - 目標年が、開始年より5~15年先の間 - C6.4の回答が「No」または、C6.4aの該当列が、以下のいずれか①排出は除外されていない、②その起源の排出はない、③排出に該当しない、④最近事業統合したことから排出が除外 ※C6.4aにてそれなりの除外がある場合、最大1/3ポイント ii) 「達成%(排出)」が、達成%(時間)より大きい(→2)、または、「状況」が「New」であり、かつ「開始年」が、CO.2にて回答した報告年と同一(→1)	5	5	i) 目標がSBTiのオフィシャル認定を受けている→3 ii) 以下のすべての要件を満たしている→2.5 - スコープの対象が70%以上 - 目標がスコープ1、2を対象 - 中期: 目標年が、開始年を含み、5~15年先 - 長期: 目標年が、開始年を含み、15年以上先(目標は複数必要) - 毎年の削減が2.1%以上、基準年から最終目標年の間 iii) ii)ルートの場合、目標対象の排出が、スコープ1+2の90%以上→0.5	3	3

「原単位目標」または  
「総量・原単位両方の目標」

C4.1b

原単位目標(複数可)の詳細と、目標の達成度合いについて詳細を教えてください。

## ※すべて記入してください。開示(8+3)

Target reference number	Scope ②対象スコープ	③スコープ内%	④基準年からの削減%	Metric ⑤単位	Base year ⑥基準年	Start year ⑦開始(設定)年	
Select from: ID番号を選んでください Int1-Int100	Select from drop-down options below →C4.1a参照	②で指定したスコープの何%を対象としているか(数値、0~100) スコープ1+2の70%以上となる場合:管理A	数値(0~100)を入れてください。原単位が基準年から比べて、目標年に何%削減となるかの値です。	Select from drop-down options below →別ページ参照	1990~2018の間の年号(西暦)の数値を入れてください。削減目標の基準となる年です。注1)	1990~2018の間の年号(西暦)の数値を入れてください。目標を設定した年です。注2)	
⑧目標対象の基準年排出量(基準化)	Target year ⑨目標年	⑩SBTですか?	⑪削減達成率	⑫目標の状況	Please explain ⑬説明	⑭スコープ1+2総量の予想変化率(%)	⑮スコープ3総量の予想変化率(%)
目標でカバーされている基準年の原単位での排出量を入れてください。	毎年の改善目標のような場合、報告年を入れてください。 開始年から5年以上先の場合:認識(2) 開始年から5年~15年の間の場合:管理B	Select from drop-down options below ⑩開示(1)	Percentage field [enter a percentage from 0-100 using a maximum of 2 decimal places]	Select from: • Underway • Retired • Expired • New →C4.1a参照 • Replaced ⑫開示(1)	Text field [maximum 2,400 characters] →C4.1a参照 ⑬開示(1)	②の総量の変化率 対象と違う場合は“0”を記入。	同左

注1)毎年の目標の場合、報告年の前年をお書きください。5年間の目標といった複数年にまたがる目標をお持ちの場合、最後の年を入れ、説明にその旨ご記入ください。将来の年は書くことができない欄です。会計年度の場合は、該当会計年度終了する年を書き、その旨説明にお書きください。

注2)基準年より前、目標年より後の年を入れることはできません。報告年を含む、それより前の年を入れてください。報告年の後は入れないでください。



## ② 対象スコープ ※C4.3aと同じ選択肢です

### ▼目標が対象としている排出スコープを選択してください

#### <選択肢>

- スコープ1
- スコープ2(ロケーション基準)
- スコープ2(マーケット基準)
- スコープ1+2(ロケーション基準)
- スコープ1+2(マーケット基準)
- スコープ1+2(ロケーション基準)+3(上流)
- スコープ1+2(ロケーション基準)+3(下流)
- スコープ1+2(ロケーション基準)+3(上流と下流)
- スコープ1+2(マーケット基準)+3(上流)
- スコープ1+2(マーケット基準)+3(下流)
- スコープ1+2(マーケット基準)+3(上流と下流)
- スコープ3(上流)
- スコープ3(下流)
- スコープ3(上流と下流)
- スコープ3: 購入した製品・サービス
- スコープ3: 資本財
- スコープ3: 燃料とエネルギーに関連した活動(スコープ1,2に含まれない部分)
- スコープ3: 上流の輸送と配送
- スコープ3: 操業にて発生した廃棄物
- スコープ3: 出張
- スコープ3: 従業員の出勤
- スコープ3: 上流のリース資産
- スコープ3: 投資
- スコープ3: 下流の輸送と配送
- スコープ3: 販売した製品の加工
- スコープ3: 販売した製品の利用
- スコープ3: 販売した製品の処分
- スコープ3: 下流のリース資産
- スコープ3: フランチャイズ
- その他、詳述してください

### ③スコープ内%

▼目標対象となっている排出量が、対象スコープ全体の何%を占めるかをお書きください。複数のスコープを対象とする場合、対象としているスコープすべてを分母としてください。

▼例)ヨーロッパでの操業からのスコープ1を減少する目標の場合、それがスコープ1全体の80%となっている場合、ここには80と書いてください。

▼以下、C4.3aの③を参照ください。

## ④基準年からの削減%

▼原単位(正規化後)での目標の削減率を入れてください。

▼例)「フルタイム換算従業員あたりスコープ1排出」について、基準年が9トン/フルタイム換算従業員であり、目標が7トン/フルタイム換算従業員の場合、 $(9-7)/9=0.22$ ですので、%になおして、「22」と入れてください。

## ⑤単位

- ▼CO2g/売上人キロ
- ▼t-CO2/付加価値(USD)
- ▼t-CO2/m<sup>2</sup>
- ▼t-CO2/アルミニウム生産(t)
- ▼t-CO2/鉄鋼生産(t)
- ▼t-CO2/セメント生産(t)
- ▼t-CO2/板紙生産(1)
- ▼CO2g/km
- ▼t-CO2/売上
- ▼t-CO2/フルタイム換算雇用者
- ▼t-CO2/就労時間
- ▼t-CO2/製品(t)
- ▼t-CO2/製品(L)
- ▼t-CO2/生産1単位
- ▼CO2g/サービス提供1単位
- ▼t-CO2/平方foot
- ▼t-CO2/km
- ▼t-CO2/人キロ
- ▼t-CO2/MWh
- ▼t-CO2/石油換算バレル
- ▼t-CO2/生産1台(車)
- ▼CO2g/鉄鉱石処理
- ▼t-CO2/金オンス
- ▼t-CO2/プラチナオンス
- ▼t-CO2/トン(製品集合)
- ▼t-CO2/運用ファンド10億(通貨単位)
- ▼その他、特定してください。→かならず説明を書いてください。

## ⑧ 目標対象の基準年排出量(基準化)

---

▼ここには、対象としている目標の基準年の排出量をお書きください。

▼ここには、原単位での基準年目標をお書きください。排出総量ではありません。

## ⑩ 科学と整合した目標設定ですか？(SBT)

▼「はい、SBTイニシアチブから認定を受けました。」

▶ **リーダーシップ(3)**

原単位の場合は別の要件は適応されません。

▼「はい、これは科学と整合していると考えておりますが、SBTイニシアチブからはSBTとして認定を受けていません。」→「説明してください」の欄に、なぜ科学と整合していると考えるか、について説明してください。なお、SBTiに該当目標を提出して、rejectがあった場合は、この選択肢を選ぶことはできません。Rejectを受けて、修正をしている状況の場合、「いいえ、しかし2年以内に設定することを計画しています。」を選択してください。

▼「いいえ、しかし別の科学と整合した目標を報告しています。」 他の目標(総量または原単位)を、同じ表内、またはC4.2(原単位目標)に開示しています。

▼「いいえ、しかし2年以内に設定することを計画しています。」 必要ではないのですが、SBTiにコミットすることを推奨しています。

▼「いいえ、2年以内の設定も計画していません。」

認識(1)

## ⑪削減達成率

認識ポイント要件:「達成%(排出量)」が>0、または、「達成%(排出量)」が0以上かつ「状況」がCO.2で回答した報告年に「New」→2、または、「状況」がNewであり、かつ、CO.2で回答した報告年と開始年が同一→2

管理ポイント要件:「達成%(排出)」が、達成%(時間)より大きい(→2)

- ▼目標の、基準年に対する報告年における達成パーセンテージ(排出量で)。
- ▼例)御社の目標が、2010年を基準年として、2017年までに10%削減とする場合、そして、報告年の排出量が、基準年比で3%減っていた場合、達成率は $3/10 \times 100 = 30\%$  となります。報告年に目標を達成している場合、100%と書いてください。100%より大きい数値は入力できませんが、目標よりも多く達成(削減)している場合、「説明」の欄にその旨ご記入ください。総量目標で、GHG排出を安定化する、といった目標の場合、目標年に達するまで、毎年0と記入ください。例えば、2008年を基準年として、排出をその水準に2019年まで安定化する、といった目標の場合、報告年2019年より前は“0”を記入し、達成している場合、2019年報告年に100と記入ください。

## ⑭ スコープ1+2総量の予想変化率(%)

---

▼本欄については、目標がスコープ1 and/or 2排出にかかわるものである場合のものですが、そうではない場合には“0”を入れてください。

▼総排出量の変化予想について、伺うものです。

▼999までの数値を入れてください。

▼計測する全排出の変化率についてお示しください。

---



## ⑮ スコープ3総量の予想変化率(%)

▼本欄については、目標がスコープ1 and/or 2排出にかかわるものである場合のものですが、そうではない場合には“0”を入れてください。

▼総排出量の変化予想について、伺うものです。

▼999までの数値を入れてください。

▼計測する全排出の変化率についてお示しください。

## C4.1 報告年に有効な排出目標について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C4.1b(原単位) ※選択肢4つ、% 入力4、数値入力4 つ、自由記述1つ	<p>以下すべて記述→8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- スcope、スcope内の対象排出量(%)、基準年からの削減(%)、基準年、開始年(設定年)、目標の対象となっている基準年の排出量(t-CO2e)、目標年、達成%(排出量)、目標の対象となっている排出量の正規化されたベースライン排出量、総量変化予想(%)*選択したスcopeについて</li> <li>2~8列目について完成している</li> <li>- SBTですか?→1</li> <li>- 目標の状況→1</li> <li>- 説明してください→1</li> </ul>	11	11	<p>開示ポイントが8点以上、かつ「基準年」が「開始年(設定年)」より1年以上前</p> <p>i) 開始年より目標年が5年以上先→2</p> <p>ii) 「SBTですか?」について、①はい、SBTイニシアチブに認定されています(→1)、②はい、SBTだと認識していますが、SBTiからは認定を受けていません(→1)、③いいえ、しかしこれ以外にSBTを報告しています(→1)、いいえ、しかし2年以内に設定を予定しています(→1)、いいえ、2年以内に設定する予定もありません(→0)</p> <p>iii) 「達成%(排出量)」が&gt;0、または、「達成%(排出量)」が0以上かつ「状況」がCO.2で回答した報告年に「New」→2</p>	5	5	<p>i) 以下のすべての要件を満たす場合→3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- スcope1+2排出について、「対象の排出」が70%以上</li> <li>- 目標年が、開始年より5~15年先の間</li> <li>- C6.4の回答が「No」または、C6.4aの該当列が、以下のいずれか①排出は除外されていない、②その起源の排出はない、③排出に該当しない、④最近事業統合したことから排出が除外 ※C6.4aにてそれなりの除外がある場合、最大1/3ポイント</li> </ul> <p>ii) 「達成%(排出)」が、達成%(時間)より大きい(→2)、または、「状況」が「New」であり、かつ「開始年」が、CO.2にて回答した報告年と同一(→1)</p>	4	5	<p>i) 目標がSBTiのオフィシャル認定を受けている→3</p>	3	3

C4.1にて「目標なし」を選んだ場合

C4.1にて目標がないを選んだ場合、  
管理ポイントは最大3/6、  
リーダーシップは最大0/3

C4.1c

なぜ排出目標がないかを教えてください。  
また、今後5年で御社の排出がどうなるかの予想を教えてください。

※「説明」も含めてすべて記入してください。開示(3)

Primary reason 主な理由	Five-year forecast 5年後の排出予測	Please explain 説明
Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>We are planning to introduce a target in the next two years</li> <li>Important but not an immediate business priority</li> <li>Judged to be unimportant, explanation provided</li> <li>Lack of internal resources</li> <li>Insufficient data on operations</li> <li>No instruction from management</li> <li>Other, please specify</li> </ul>	御社の排出量が今後5年でどうなるかについての定量的な予測がされている →管理(1) または、定性的な予測がされている →管理(0.5)	目標がないのかについての説明がある→管理(2)

<選択肢>

- 今後2年以内に目標を導入する計画がある。
- 重要だが緊急の事業課題ではない。
- 重要ではないと判断した。説明を記述する。
- 内部資源の不足。
- 経営からの指示がない。
- その他、説明する。

→かつ「説明してください」に、  
目標設定の期日と計画が記述→認識(3)

→かつ「説明してください」に文章での説明が記載されていて、  
「ここから5年の予測」に文章での説明が記載されている→認識(2)

## C4.1 報告年に有効な排出目標について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C4.1c ※目標がない理由、今後の排出予想	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「主な理由」にて選択肢を選んでいる→1</li> <li>- 「ここから5年の予測」に記述→1</li> <li>- 「説明してください」に記述→1</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「主な理由」にて、「今後2年以内に目標を設定する計画である」を選択し、かつ「説明してください」に、目標設定の期日と計画が記述→3</li> <li>- 「主な理由」に上記以外が選択されていて、「説明してください」に文章での説明が記載されていて、「ここから5年の予測」に文章での説明が記載されている→2</li> </ul>	3	3	文章に以下をカバー i) なぜ目標がないのかについての説明がある→2 ii) 御社の排出量が今後5年でどうなるかについての定量的な予測がされている(→1)、または、定性的な予測がされている(→0.5) ※最大取得ポイント3/6	3	6	-C4.1にて「目標がない」が選択されている→0	0	3

C4.1/a/b)にて報告していない御社の主要な気候関連目標の詳細を教えてください。

Target ①目標の種類	KPI – Metric numerator ②KPI(評価指標)の分子	KPI – Metric denominator (Intensity targets) ③KPI(評価指標)の分母	Base year ④基準年	Start year ⑤開始年(設定年)	Target year ⑥目標年	
Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>Energy productivity</li> <li>Renewable energy consumption</li> <li>Renewable energy production</li> <li>Renewable fuel</li> <li>Waste</li> <li>Zero/low-carbon vehicle</li> <li>Energy usage</li> <li>Land use</li> <li>Methane reduction target</li> <li>Engagement with suppliers</li> <li>R&amp;D investments</li> <li>Other, please specify</li> </ul>	Text field [maximum 200 characters]	Text field [maximum 200 characters]	Numerical field [enter a number between 1900- 2018]	Numerical field [enter a number between 1900- 2018]	Numerical field [enter a whole number between 2000- 2100]	
KPI in baseline year ⑦ベースライン年のKPI値	KPI in target year ⑧目標年のKPI値	% achieved in reporting year ⑨報告年の達成%	Target Status ⑩状況	Please explain ⑪説明	Part of emissions target ⑫	⑬他のイニチアチブの一環 ですか？
Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999.999 using up to 5 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999.999 using up to 5 decimal places and no commas]	Percentage field [enter a percentage from 0-100 using a maximum of 2 decimal places]	Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>Underway</li> <li>Retired</li> <li>Expired</li> <li>New</li> <li>Replaced</li> </ul>	Text field [maximum 2,400 characters]	<p>他の目標の一部である場合、その目標IDをこちらに記載ください。</p>	Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>RE100</li> <li>EP100</li> <li>EV100</li> <li>Below50 – sustainable fuels</li> <li>Science-based targets initiative</li> <li>Reduce short-lived climate pollutants</li> <li>Remove deforestation</li> <li>Low-Carbon Technology Partnerships initiative</li> <li>No, it's not part of an overarching initiative</li> <li>Other, please specify</li> </ul>

➡ スコアリング対象ではありません。

## C4.2 C4.1a/b以外の主要な気候関連目標

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C4.2※選択肢3つ、%入力1、数値入力5つ、自由記述4つ	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0
C-CO/OG4.2a ※自由記述	-文章が記載→2	2	2	-	0	0	-なぜ目標がないかについて、 企業固有の説明→2	2	2	-	0	0

※C-CO/OG4.2aは、対象セクター企業が、C4.2にてメタン削減目標を報告していない場合に出現します。

### <選択肢>

<input checked="" type="checkbox"/> はい
<input type="checkbox"/> いいえ

○認識ポイント(1)

○管理ポイント(1)

○開示ポイント(1)

C4.3に「はい」と回答

※報告年における変化を聞いています。

報告年に実施を開始(implementation commenced)、

報告年に実施を完全開始(implemented)という意味です。

C4.3a

実施の段階ごとに、プロジェクトの総数を教えてください。実施段階のものについては、CO2排出削減推定値についても教えてください。

※ない場合は"0"とご記入ください。

※推計値で大丈夫です。

Stage of development ①段階	Number of projects ②プロジェクト数	③合計の年間CO2削減量(t-CO2)*のついた行のみ
Under investigation 調査中	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999.999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999.999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]
To be implemented* 実施予定		
Implementation commenced* 実施開始		
Implemented* 実施		
Not to be implemented 実施予定なし		

全て数値を入力→開示(1)

実施予定、実施開始、実施中について数値を入力→開示(1)

"0"以外の値が1つ以上記入→認識(2)※プロジェクト数は全行記入

両欄0以外→管理(1)

両欄0以外→管理(2)

プロジェクト数が1以上、年間削減量が0より大きく、かつC7.9aにてリーダーシップポイントが1以上→1



# ①段階

▼調査中under investigation: 排出削減をもたらすと思われるプロジェクトの提案であり、評価されている最中であり、報告年においてまだ企業内で認定を受けていないもの。

▼実施予定to be implemented: 企業の中で認定を受けた排出削減プロジェクトであるが、報告年においてまだ開始されていないもの。

▼実施開始implementation commenced: 報告年内に開始したが、報告年内に排出削減を実現できていないもの。

▼実施中implemented: 報告年内にCO2削減が始まったプロジェクト。例えば、完全に操業を開始し、CO2削減が始まったもの。

▼実施しないと決定not to be implemented: 排出削減の可能性のあるプロジェクト案であり、評価を実施したが、報告年内に実施しないことを決定したもの。

報告年に実施されたイニシアチブの詳細を、下の表に記入してください。(C4.3aのimplementedの内容)

記入をはじめたら、すべてのセルを埋めてください。

※記入した行に9点を配分、完成した行にその行あたり点数をかけ合わせて開示ポイントを算出。開示(9)

Activity type ①活動タイプ (大分類)	Description of activity ②活動の説明	Estimated annual CO <sub>2</sub> e savings (metric tons CO <sub>2</sub> e) ③年間CO <sub>2</sub> 削減推計値(t-CO <sub>2</sub> )	Scope ④対象スコープ	Voluntary/ Mandatory ⑤自主的/ 規制による
Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>Energy efficiency: Building fabric</li> <li>Energy efficiency: Building services</li> <li>Energy efficiency: Processes</li> <li>Fugitive emissions reductions</li> <li>Low-carbon energy purchase</li> <li>Low-carbon energy installation</li> <li>Process emissions reductions</li> <li>Other, please specify</li> </ul>	①の大分類の下に細かい種類の選択肢がありませんので、そちらからお選びください。	該当イニシアチブによる年間削減量の推計値を数値で記入してください。年々削減が発生するような場合ではない場合、平均値を記入してください。 “0”より大きい値→認識(A) この列の合計が、C4.3aの「実施中」の±5%以内の違い(3)	Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>Scope 1</li> <li>Scope 2 (location-based)</li> <li>Scope 2 (market-based)</li> <li>Scope 3</li> </ul> ※スコープ3を選んだ場合、コメント欄にカテゴリをご記入ください。	Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>Voluntary</li> <li>Mandatory</li> </ul>

→ スコープ1,2のそれぞれについてイニシアチブがある:管理(1)

⑥年間金銭的節約額(C0.4にて指定した通貨単位)	⑦必要投資額(C0.4にて指定した通貨単位)	⑧投資回収年数	⑨予想継続年数	⑩コメント
C0.4にて指定した通貨で、数値(コマは入れないでください)で、操業が軌道にのった際の年間金銭的節約額をお書きください。年々削減が発生するのではない場合は、平均値を記入してください。 “0”より大きい値→認識(B)	耐用年数内に必要な投資額を、C0.4にて指定した通貨でお書きください。 “0”より大きい値→認識(C)	Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1 year</li> <li>1-3 years</li> <li>4-10 years</li> <li>11-15 years</li> <li>16-20 years</li> <li>21-25 years</li> <li>&gt;25 years</li> </ul>	Select from: <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1 year</li> <li>1-2 years</li> <li>3-5 years</li> <li>6-10 years</li> <li>11-15 years</li> <li>16-20 years</li> <li>21-30 years</li> <li>&gt;30 years</li> <li>Ongoing</li> </ul>	Text field (maximum 1,500 characters)

→(A)(B)(C)を満たした列について最大4

投資回収年数= 投資額/年間金銭的節約額

www.cdp.net | @CDP

Page 106

※C4.3aのimplementedの内容をお書きください。③の合計とC4.3aのimplementedの値の一致で認識ポイントが付きます。

## 4.3b 全般

---

- ▼排出削減イニシアチブの情報提供です。
- ▼全活動を書く必要はなく、プログラムレベルで結構です。
- ▼イニシアチブが多数ある企業については、排出削減に大きな貢献をする可能性のあるイニシアチブを選択して記入してください。
- ▼維持管理の活動は、排出削減に有効ではありますが、通常のメンテナンスに加えて、追加的投資を伴うもの、または記載したプログラムの一環であるものを記載してください。
- ▼通常のメンテナンスや必要な設備更新の一環である場合、追加的コストや追加的節約額を記載ください。
- ▼イニシアチブは、C4.1a、C4.1b、C4.2にて報告した目標と関連していなくても結構です。
- ▼なお、すべての排出削減が大きなコスト支出を伴うものではございません。資源の効率的利用については、追加的コストは無視できるほど小さいにもかかわらず、金銭的節約額は大きなものとなる可能性があります。このような場合もぜひ、表にご記入ください。「必要投資額」にその無視できるほどのコスト増額を記入いただき、そして「投資回収年数」に「1年より短い」を選ぶなどして、ご記入ください。

# ①活動タイプ

広くとった“タイプ”についてです。より詳細には、「活動の説明」欄で選択肢をお選びください。

- ▼エネルギー効率化(建築材): -建築の外郭構造、外壁。例えば、断熱、維持管理プログラム等
- ▼エネルギー効率化(建築内サービス): 例えば、建築物の運用管理、HVAC、照明、モーターやドライブ、電熱併給(コージェネ)等
- ▼エネルギー効率化(プロセス): 例えば、熱回収、冷凍、プロセス最適化、燃料転換、圧搾空気、熱電併給、排熱処理、水処理、機器入替等
- ▼漏洩による排出の削減: 農業におけるメタン回収、農業におけるN2O削減、埋め立て地におけるメタン回収、石油/天然ガスにおけるメタン回収/排出防止、冷媒漏洩削減、等
- ▼低炭素エネルギー購入: バイオマス、燃料電池、地熱、水力、太陽、太陽熱温水、バイオガス等。低炭素エネルギー購入が排出削減活動の一端である場合、C6.2, C6.3, C7.5, C8.2fにおいても、関連情報を報告いただき、グリーン電力勘定において有効な事例についてお読みください。
- ▼低炭素エネルギー設置: クリーンエネルギーを発生させる設備を自社の敷地や、他の敷地に、御社の顧客のために設置するものも含まれます。
- ▼プロセスにおける排出削減: 製造プロセスからの排出削減。例えば、新しい設備、操業方法の改善、プロセスにおける素材選択、等。プロセスからの排出とは、セメント製造時の焼成段階におけるCO2、石油化学プロセスでの接触分解におけるCO2、アルミ溶錬工程におけるPFC排出といった、物理的・化学的プロセスからの排出を指します。
- ▼その他、特定してください: これを選んだ場合、活動タイプのラベルに相当する内容を記述してください。

## ②活動の説明

<p>Energy efficiency:Building fabric</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Insulation</li><li>● Maintenance program</li><li>● Other, please specify</li></ul> <p>Energy efficiency:Building services</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Building controls</li><li>● HVAC</li><li>● Lighting</li><li>● Motors and drives</li><li>● Combined heat and power</li><li>● Other, please specify</li></ul> <p>Energy efficiency:Processes</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Heat recovery</li><li>● Cooling technology</li><li>● Refrigeration</li><li>● Process optimization</li><li>● Fuel switch</li><li>● Compressed air</li><li>● Combined heat and power</li><li>● Waste water treatment</li><li>● Water reuse</li><li>● Reuse of steam</li><li>● Machine replacement</li><li>● Other, please specify</li></ul> <p>Fugitive emissions reductions</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Agriculture methane capture</li><li>● Agriculture N2O reductions</li><li>● Landfill methane capture</li><li>● Oil/natural gas methane leak capture/prevention</li><li>● Refrigerant leakage reduction</li><li>● Other, please specify</li></ul>	<p><b>エネルギー効率化(建築材)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・断熱</li><li>・維持管理プログラム</li><li>・その他、特定してください</li></ul> <p><b>エネルギー効率化(建築内サービス)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・建築物の運用管理</li><li>・HVAC</li><li>・照明</li><li>・モーターやドライブ</li><li>・電熱併給(コージェネ)</li><li>・その他、特定してください</li></ul> <p><b>エネルギー効率化(プロセス)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・熱回収</li><li>・冷凍</li><li>・プロセス最適化</li><li>・燃料転換</li><li>・圧搾空気</li><li>・熱電併給</li><li>・排熱処理</li><li>・水処理</li><li>・機器入替等</li><li>・その他、特定してください</li></ul> <p><b>漏洩による排出の削減</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・農業におけるメタン回収</li><li>・農業におけるN2O削減</li><li>・埋め立て地におけるメタン回収</li><li>・石油/天然ガスにおけるメタン回収/排出防止</li><li>・冷媒漏洩削減</li><li>・その他、特定してください</li></ul>	<p>Low-carbon energy purchase</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Biomass</li><li>● Biogas</li><li>● Fuel Cells</li><li>● Geothermal</li><li>● Hydro</li><li>● Solar Hot Water</li><li>● Solar PV</li><li>● Solar CPV</li><li>● Natural Gas</li><li>● Nuclear</li><li>● Carbon Capture &amp; Storage</li><li>● Other, please specify</li></ul> <p>Low-carbon energy installation</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Biomass</li><li>● Biogas</li><li>● Fuel Cells</li><li>● Geothermal</li><li>● Hydro</li><li>● Solar Hot Water</li><li>● Solar PV</li><li>● Solar CPV</li><li>● Natural Gas</li><li>● Carbon Capture &amp; Storage</li><li>● Other, please specify</li></ul> <p>Process emissions reductions</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● New equipment</li><li>● Changes in operations</li><li>● Process materials selection</li><li>● Process water</li><li>● Other, please specify</li></ul>	<p><b>低炭素エネルギー購入</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・バイオマス</li><li>・バイオガス</li><li>・燃料電池</li><li>・地熱</li><li>・水力</li><li>・太陽熱温水</li><li>・太陽光発電</li><li>・太陽熱発電</li><li>・原子力</li><li>・炭素回収貯蔵</li><li>・その他、特定してください</li></ul> <p><b>低炭素エネルギー設置</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・バイオマス</li><li>・バイオガス</li><li>・燃料電池</li><li>・地熱</li><li>・水力</li><li>・太陽熱温水</li><li>・太陽光発電</li><li>・太陽熱発電</li><li>・原子力</li><li>・炭素回収貯蔵</li></ul> <p><b>プロセスにおける排出削減</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新規設備</li><li>・作業方法の変更</li><li>・プロセスにおける素材選択</li><li>・水処理</li><li>・その他、特定してください</li></ul>
--	---	---	--

## ⑧ 投資回収年数

---

▼炭素削減投資によって、キャッシュフローでの節約が発生する年数のことです。これによって、データ利用者は、プロジェクトのIRR (内部収益率)を計算することができます。

▼各活動タイプに複数の削減活動がある場合、中位値 (medium)をお答えください。

## C4.3 報告年に有効な排出削減イニシアチブ※計画、実施フェーズを含む

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C4.3※yes/no	選択肢を回答→1	1	1	Yes→1	1	1	Yes→1	1	1	-	0	0
C4.3a※ステージごと4段階と、実施予定なしの合計5行	以下に記入あり - 「プロジェクトの数」→1 - *のついた行について、「合計推計年間CO2削減量,t-CO2e)」が記入→1	2	2	以下の両方を満たす→2 - 「プロジェクトの数」の列をすべて記入 - *のついた行について、「合計推計年間CO2削減量,t-CO2e)」が、少なくとも1つ以上は0以外の数値が記載	2	2	認識ポイントが満点 - 「実施開始」フェーズについて、「プロジェクトの数」と「合計推計年間CO2削減量」に0以外の数値を記載→1 - または、「実施中」フェーズについて、「プロジェクトの数」と「合計推計年間CO2削減量」に0以外の数値を記載→2	2	2	管理ポイントが2点以上 「実施中」フェーズについて、「プロジェクトの数」が1以上であり、「削減推計量」が0より大きく、かつC7.9aにてリーダーシップポイントが1以上→1	1	1
C4.3b※詳細の表	※記入した行に応じて採点。	9	9	開示ポイントが6以上 - 4ポイントについては、完成した行で、かつ「推計CO2削減量」に0より大きい値が記入してある場合、完成した行に応じて最大4ポイントを付与 - 加えて、「年間CO2削減量」の合計がC4.3aのすでに実施されたプロジェクトによる「年間CO2削減量」の±5%以内の違いであること→3	7	7	認識ポイントが満点 - スcope1, 2のそれぞれについて、排出削減イニシアチブが報告されている→1	1	1	-	0	0

排出削減活動への投資を促進するためにどのような手法を活用していますか？

**Method**

Select from:

- Compliance with regulatory requirements/standards
- Dedicated budget for energy efficiency
- Dedicated budget for low-carbon product R&D
- Dedicated budget for other emissions reduction activities
- Employee engagement
- Financial optimization calculations
- Internal price on carbon
- Internal incentives/recognition programs
- Internal finance mechanisms
- Lower return on investment (ROI) specification
- Marginal abatement cost curve
- Partnering with governments on technology development
- Other

**Comment**

Text field (maximum 2,400 characters)



いずれかの選択肢を選択している場合、**開示(1/1)**、**認識(1/1)**



# 手法についての選択肢

---

- ▼規制による要請や基準の順守
- ▼エネルギー効率化に特化した予算を設定
- ▼低炭素製品の研究開発に特化した予算を設定
- ▼他の排出削減活動に特化した予算を設定
- ▼従業員のエンゲージメント(協働)
- ▼財務的最適化の計算を実施
- ▼内部的カーボンプライス
- ▼内部でのインセンティブ付与/表彰プログラム
- ▼内部的な財務的支援の枠組み
- ▼ROI(投資収益率)を低く設定
- ▼限界削減コストカーブの活用
- ▼政府と技術開発についてのパートナーシップ
- ▼その他

なぜ報告年に有効な排出削減イニシアチブがないのでしょうか？

<書く内容>

開示(1/1)

開示(1/1)

なぜ、報告年に有効な排出削減イニシアチブがないのかについて、**企業固有**の説明を書いてください。また、将来実施する予定があるかどうかについても書いてください。

将来について、排出削減イニシアチブを実施したいと考えている場合、実施を始める時期についての予想をお書きください。

まだ、(有効な削減イニシアチブが)見つけられていないことで報告年に有効な削減イニシアチブがない場合、可能性のあるイニシアチブを見つけるプロセスについて記述いただき、調査を実施したが見つけられなかった事業分野について、特価した事例と、どうして可能性を検討したイニシアチブが実現しなかったかについての理由をお書きください。

※何らかの説明を記述→開示(1/1)

- i) 将来排出削減イニシアチブの計画があるかどうかを記載し、実施のスケジュール(タイムライン)が記載→1
- ii) 「計画がない」場合、その理由。計画がある場合、「計画がある」場合、いつ削減イニシアチブを実施するかの計画の予想→1
- iii) 前年の排出削減がなぜ実現したかについての説明→1  
管理ポイントは最大で3/5

## C4.3 報告年に有効な排出削減イニシアチブ※計画、実施フェーズを含む

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C4.3c※削減活動の投資を促す方法	-「方法」についていずれか選択→1	1	1	-「方法」についていずれか選択→1	1	1		0	0		0	0
C4.3d※C4.3にてイニシアチブがない理由(自由記述)	- 文章を記載→1	1	1	- なぜ、報告年に有効な排出削減イニシアチブがないかについての説明→1 - 企業固有の説明→1	2	2	i) 将来排出削減イニシアチブの計画があるかどうかを記載し、実施のスケジュール(タイムライン)が記載→1 ii) 「計画がない」場合、その理由。計画がある場合、「計画がある」場合、いつ削減イニシアチブを実施するかの計画の予想→1 iii) 前の年の排出削減がなぜ実現したかについての説明→1	3	5	C4.3にてNoを選択→1	0	1

## C-AC/FB/PF4.4 保有する土地について気候変動緩和/適応の利益のある農業・林業管理施策を実施しているか？

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-AC/FB/PF4.4 ※3択	-いずれか選択→1	1	1	Yes→1 No→0 Don't know→0	1	1		0	0		0	0
C-AC/FB/PF4.4a	※完成した行の数に応じて、最大9ポイント付与	9	9	開示ポイントが満点 「CO2削減量」が0より大きい値であり、「主な気候変動関連利益」について、「other, please specify」以外を選択している完成している行の数に応じて、最大6ポイント付与	6	6		0	0		0	0

「はい」

「いいえ」



いずれかを選択→開示(1/1)

# 事例

---

- ▼製品やサービスの利用が、排出削減をもたらすと考える場合が多々あるでしょう。
- ▼例えば、断熱の企業は、他の組織でその企業の断熱を導入することで、建物を温めるためのガスの消費が減り、温室効果ガス排出が減ると考えます。
- ▼同様に、エネルギー効率化、排出削減の助言を行うコンサルティング会社、同機能の市場に出回る製品に比べてエネルギー利用が少なくて済む製品を製造する企業なども、他者のGHG排出を削減していると考えられます。
- ▼再生可能エネルギーを発電し、第三者に販売している企業についても、このような仲間と考えられます。この場合、その第三者は彼らのスコープ2のマーケット基準排出について、ゼロ排出係数を利用します。系統平均の係数がゼロでないことを考慮すると、この場合も第三者の排出を回避していることになります。

C4.5a

低炭素製品または第三者の削減に貢献すると分類している製品やサービスの詳細を説明してください。

Level of aggregation ①集約レベル	②製品/製品グループの説明	③低炭素製品ですか、削減貢献ですか？	④製品を低炭素と分類したり、削減貢献量計算の分類方法、プロジェクト、方法論など	⑤報告年の低炭素製品からの収入の比率(%)	Comment
Select from: ● Product ● Group of products ● Company-wide	本行で開示するものについて説明してください。	Select from: ● Low-carbon product ● Avoided emissions ● Low-carbon product and avoided emissions	Select from: ● Low-Carbon Investment (LCI) Registry Taxonomy ● Climate Bonds Taxonomy ● Addressing the Avoided Emissions Challenge- Chemicals sector ● Evaluating the carbon reducing impacts of ICT ● Other, please specify	Numerical field [enter a number from 0-100 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]

### <選択肢>

- ・製品
- ・製品グループ
- ・企業全体

※全列完成した行について、最大5/5の開示ポイントが付きます。

## ①集約レベル

---

- ▼どのレベルの集約度で報告したいかについて、行ごとに選択してください。
- ▼例えば、「低炭素」と分類される製品を1種類しか製造していない場合、「製品レベル」での集約度で報告することを希望するでしょう。
- ▼また、低炭素製品が数百種類ある場合、企業全体のレベルで報告したいでしょう。
- ▼行の追加が可能ですので、異なる種類の集約レベルのものを報告することも可能です。
- ▼各行について、適した集約レベルを選んでください。



## C4.5 現存する製品・サービスのうち低炭素製品であったり、第三者のGHG排出削減に貢献しているものについて(削減貢献量)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C4.5※yes/no	-いずれか選択→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C4.5a	完成した(部分的に完成した)行の数に応じてポイント付与。部分的完成の場合、満点とはならない。最大5ポイント	5	5		0	0		0	0		0	0

## C-CO/EU/OG/4.6 メタン排出の削減努力について

## C-CO/OG4.7 メタン漏洩検知・修復(LDAR)や他の方法での実施について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-CO/EU/OG4.6 ※自由記述	- 文章を記述→1	2	2		0	0	i) 御社のメタン排出削減努力について、 企業固有の説明→1 ii) メタン排出削減努力についての事例/ ケーススタディを記述→1	2	2		0	0
C-CO/OG4.7 ※3択	回答あり→2	2	2	「いいえ、実施している プログラムはありません」以外を選択 →1	1	1	「yes」を選択	1	1		0	0
C-CO/OG4.7a	- 文章を記述→2	2	2		0	0	i) 御社でのLDARプロトコルについて、 企業固有の説明がある→1 ii) 御社でのLDARプロトコルについて、 事例/ケーススタディがある→1	2	2		0	0
C-CO/OG4.7b	- 文章を記述→2	2	2		0	0	- 「実施しているプログラムはない」を選 択している場合、なぜLDARを実施して いないかについての説明がある→1 - 「わが社の操業には当てはまらない」を 選択した場合、なぜLDARが該当しない かについての企業交友の説明がある (→1)、将来LDARを導入する計画があ る場合はその時間軸とともに計画を説 明(→1)	2	2		0	0

## C-CO/OG4.8 フレアリングの削減努力について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-CO/OG4.8	- 文章を記述→1	2	2		0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>- フレアリングを実施しているかについて→1</li> <li>- 実施している場合、①企業のフレアリング削減の努力についての明確な説明(→1)、②企業のフレアリング削減の目標について、目標年とそのパフォーマンスについて(→2)※目標がない場合、ポイントはなし</li> <li>- 実施していない場合、なぜかについて説明→1</li> </ul>	3	3		0	0

## C-CE/ST4.9 セメント/鉄鋼生産における最新技術の導入について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-CE4.9	それぞれのセルに記入→2	2	2		0	0		0			0	0
C-ST4.9	1行が完成→2	2	2	表が完成→1	1	1		0	0		0	0

# C5 排出量計算方法/Emissions Methodology

C5.1

基準年の年次と、基準年の排出量(スコープ1,2)を記述してください。



C5.2

活動データの収集やスコープ1, 2の排出量の算定に利用した、基準(standard)、プロトコル、手法(Methodology)を選んでください。

「その他、詳述ください」

基準、プロトコル、手法が選択されている場合



C5.2a

活動データの収集やスコープ1, 2の排出量の算定に利用した基準、プロトコル、方法の詳細を教えてください。



モジュール終了

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。

基準年の年次と、基準年の排出量(スコープ1,2)を記述してください。

Scope	Base year start	Base year end	Base year emissions (metric tons CO <sub>2</sub> e)	Comment
Scope 1 スコープ1	Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY	Use the calendar button or enter dates manually in the format DD/MM/YYYY	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 2 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]
スコープ2(ロケーション基準)				
スコープ1(マーケット基準)				



かならずすべて選んでください。

---

## C5.2 にて温対法を選んだ場合の「除外(C6.4a)」等についての考え方

---

▼温対法を選んだ場合は、温対法での閾値によって除外しているものを「除外」とする必要はありません。

## C5 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C5.1	2	2	0	0	0	0	0	0
C5.2	1	1	0	0	0	0	0	0
C5.2a	0	0	0	0	0	0	0	0



## C5.1 基準年の排出量(スコープ1,2)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C5.1 ※スコープ1、スコープ2(ロケーション)、スコープ2(マーケット)の3行	<ul style="list-style-type: none"> <li>- スコープ1については、「基準年の開始年月日」「基準年の終了年月日」「基準年排出量(t-CO2)が完成→1</li> <li>- スコープ2については、2行目または3行目について、「基準年の開始年月日」「基準年の終了年月日」「基準年排出量(t-CO2)が完成→1</li> </ul>	2	2		0			0	0		0	0
C5.2 ※方法論を選択	選択している→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C5.2a ※C5.2でother選択時のみ		0	0		0	0		0	0		0	0

# C6 排出量データ/Emissions Data

C6.1 御社のグローバルな総量でのスコープ1の排出量は、CO2換算で何トンでしたか？

C6.2 スコープ2排出算定における御社のとった方法を教えてください。

C6.3 御社のグローバルな総量でのスコープ2の排出量は、CO2換算で何トンでしたか？

C6.4 スコープ1, 2排出のうち、選択した報告範囲において、本回答において含んでいない排出源(例えば、設備、特定の温室効果ガス種、活動、地理的地点、等)はありますか？

Yes

C6.4a 御社が選択した範囲(バウンダリ)には含まれていても、回答に含まれていないスコープ1, 2排出源についての詳細を教えてください。

No

C6.5 御社のスコープ3排出、開示、除外についての説明をしてください。

↓  
特定セクターへの設問: C-AC6.6/C-FB6.6/C-PF6.6.

C6.7

御社では、生物学的に隔離された炭素からの二酸化炭素排出はありますか？

Yes ↓

No ↓

C6.7a

御社における生物学的に隔離された炭素からの二酸化炭素排出の詳細を、CO2トンで回答ください。

↓  
特定セクターへの設問: C-AC6.8/C-FB6.8/C-PF6.8.

↓  
特定セクターへの設問: C-AC6.9/C-FB6.9/C-PF6.9.

C6.10

御社の報告年における、グローバルでの総量のスコープ1, 2排出量を、総売上額あたりのCO2トンで回答してください。  
加えて、御社の操業について、何らかの適当な原単位があれば、教えてください。

↓  
モジュール終了

# C6のセクター別設問

- ▼C-AC/FB/PF6.6 御社のスコープ3排出について、該当する事業活動ごとに分割することはできますか？
- ▼C-AC/FB/PF6.6a 該当する事業活動ごとにスコープ3排出を分割したものを教えてください。
- ▼C-AC/FB/PF6.6b 事業活動ごとのスコープ3排出を報告できない理由を教えてください。
- ▼C-AC/FB/PF6.8 御社の直接操業からの生物起源の炭素排出について、このCDP気候変動開示の対象となっていますか？
- ▼C-AC/FB/PF6.8a 御社の直接操業による生物起源の炭素排出のデータを提供してください。除外がある場合は記述してください。
- ▼C-AC/FB/PF6.9 C-AC/FB/PF0.7において、大きな割合を占めるとした製品についての温室効果ガス排出量のデータを収集または計算していますか？
- ▼C-AC/FB/PF6.9a 開示する製品について、温室効果ガス排出の数値、計算方法、除外について説明してください。
- ▼C-CE6.11 御社のスコープ1, 2排出原単位について、セメント生産活動あたりのものをお答えください。
- ▼C-OG6.12 炭化水素あたりのスコープ1排出について、原単位をお答えください。
- ▼C-OG6.13 御社のメタン排出について、天然ガス・炭化水素生産や投入あたりの割合(%)にてお答えください。
- ▼C-ST6.14 御社の排出とエネルギー集約度について、鉄鋼生産プロセスの流れに沿ってお答えください。
- ▼C-TS6.15 御社に最も適した輸送活動からの排出を表す主要な活動単位あたりのスコープ1, 2, 3原単位は何ですか？

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。

## C6.4a 除外について

▼C5.2で選んだ算定手法によって閾値があるようなものについては、算定に含まれていなくても、除外として報告する必要はありません。

▼C6.4aの趣旨は、データ入手が難しい、または信頼性に欠ける国や小さな施設について特定することです。合併、事業取得、ダイベストメントによる組織の構成の変化についても、排出量データに排出が含まれない主な理由となり得ます。それ以外のよくある除外の理由は、妥当・妥当しないに関わらず、以下のようなものを含みます。

- 報告期間における情報の不完全性
- 組織の構造変化(合併、事業取得、ダイベストメント等)
- 事業のアウトソーシングそして/またはインソーシング
- データの信頼性に欠ける

## C6 の配点

\*C5の排出算定方法において、開示ポイントが満点でないと、本設問についての配点はゼロ、分母が8になってしまう。(開示ポイントのみ)

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C6.1*	1 or 0	1 or 8	0	0	0	0	0	0
C6.2	2	2	1	1	0	0	0	0
C6.3	0,1 or 2	1, 2 or 8	0	0, 2 or 4	0	0	0	0
C6.4	1	1	0	0	0	0	0	0
C6.4a	1	1	1	1	1	1	0	0
C6.5	15	15	7.5	7.5	0	0	1	1
C-AC/FB/PF6.6	1.5	1.5	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF6.6a	6	6	4	4	0	0	0	0
C-AC/FB/PF6.6b	3	3	1	1	0	0	0	0
C6.7	1	1	0	0	0	0	0	0
C6.7a	1	1	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF6.8	1.5	1.5	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF6.8a	9	9	6	6	0	0	0	0
C-AC/FB/PF6.9	3	3	2	2	0	0	0	0
C-AC/FB/PF6.9a	7.5	7.5	5	5	0	0	0	0

## C6 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C6.10	7	7	2	2	1	1	0	0
C-CE6.11	8	8	1	1	0	0	0	0
C-OG6.12	8	8	1	1	0	0	0	0
C-OG6.13	6	6	1	1	0	0	0	0
C-ST6.14	6	6	1	1	0	0	0	0
C-TS6.15	14	14	1	1	0	0	0	0

## C6.1～6.3 基準年の排出量(スコープ1,2)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C6.1 ※スコープ1排出量	C5にて開示スコアが満点 - 数値を回答 1/1 - それ以外 0/8	1 or 0	1 or 8		0			0	0		0	0
C6.2 ※スコープ2の方法	- ロケーション基準の列にて選択肢を選択→1 - マーケット基準の列にて選択肢を選択→1	2	2	マーケット基準の列にて、「電力供給事業者別または残渣ミックスの排出原単位を入手できる市場で操業しているが、マーケット基準排出量は報告できない」以外を選択→1	1	1		0	0		0	0
C6.3 ※スコープ2排出量	C5にて開示スコアが満点 - 数値が回答されていない→0/8 - ロケーション基準の値のみ回答→1/1 - マーケット基準の値のみ回答→1/8 - 両方回答→2/2	0,1 or 2	1,2 or 8	i) C6.2の「スコープ2マーケット基準」の列にて、「スコープ2マーケット基準の値を報告している」を選択しているが、本設問のマーケット基準の列にて値を報告していない→0/2。それ以外の場合は→0/0 ii) C6.2の「スコープ2ロケーション基準」の列にて、「スコープ2ロケーション基準の値を報告している」を選択しているが、本設問のロケーション基準の列にて値を報告していない→0/2。それ以外の場合は0/0 ※ロケーション基準、マーケット基準両方が選択されていて、両方の値が記載されていない場合、→0/4	0	0,2 or 4		0	0		0	0



## C6.4 スコープ1・2の排出源の除外について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C6.4※yes/no	いずれかの選択肢を回答→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C6.4 ※除外の詳細	-「Source」に記入、かつ「Relevance...」が完成、かつ「なぜ除外されているか」が完成→1	1	1	「スコープ1排出の妥当性」の欄について、「排出はあるが計算していない」「排出はあり計算しているが、開示していない」「排出の評価を行っていない」以外を選択→1	1	1	「除外の理由の説明」が「Relevance」についてのすべての欄の回答と整合している	1	1		0	0

①スコープ3排出源	②評価の状況	③排出量(t-CO2)	④排出量計算手法	⑤サプライヤーや他のパートナーから得られたデータによって計算した割合(%)	⑥説明
Purchased goods and services 購入した財・サービス	Select from 注1) <ul style="list-style-type: none"> <li>Relevant, calculated (1) (0.5)</li> <li>Relevant, not yet calculated (1)</li> <li>Not relevant, calculated (1)</li> <li>Not relevant, explanation provided (1)</li> <li>Not evaluated (0.5)</li> </ul>	<p>「該当する、計算済み」「該当しない、計算済み」を選んだ場合、記入が必須です。</p>	<p>必須ではありません。</p>	<p>「該当しません。説明を記述」を②で選んだ場合、必須です。</p>	
Capital goods 資本財					
Fuel and energy-related activities (not included in Scope 1 or 2)					
Upstream transportation and distribution					
Waste generated in operations					
Business travel					
Employee commuting					
Upstream leased assets					
Downstream transportation and distribution					
Processing of sold products					
Use of sold products					
End of life treatment of sold products					
Downstream leased assets					
Franchises					
Investments					
Other (upstream)					
Other (downstream)					

※各行ごと開示ポイント(1)15  
カテゴリー1~15

その他

## ② 評価の状況

- ▼「該当する。計算済み。」: 御社としての排出があり、一部でも該当カテゴリからの排出を計算している場合。
- ▼「該当する。まだ計算していない。」: 該当カテゴリからの排出あることを認識しているが、排出量を計算していない場合。
- ▼「該当しない。計算済み。」: 御社にとってスコープ3の意味では重要ではないが、排出量を計算している場合。
- ▼「該当しない。説明を記述。」: 御社のスコープ3排出源について、調査をしており、このカテゴリが該当しないことを確認した場合。
- ▼「評価していない。」: このカテゴリについて調査をしておらず、御社の事業のスコープ3排出として該当するかどうかについて定かではない場合。

### ③ 計算方法

---

▼「該当する、計算済み」「該当しないが、計算済み」を選択した場合に記入。

▼排出量を計算するのに利用したデータのタイプや出典について、短く説明し(例えば、活動量データ、排出原単位、GWPの値など)、利用した算定方法、想定、配分手法について、短く説明をお願いします。

## C6.5 スコープ3排出量データ

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C6.5 ※15カテゴリと任意の2カテゴリ	「other(upstream/downstream)」以外の行について採点(X15) A) ①「評価の状況」が「妥当、計算済み」であり、かつ「CO2トン」「排出量計算方法」にデータが記入、②「妥当ではないが、計算済み」であり、かつ「CO2トン」「排出量計算方法」にデータが記入、③「妥当ではない、説明を記載」かつ、「説明」が記載→1 以下すべてを満たす場合 B) ①「妥当、計算していない」(B1)または「評価していない」(B2)→0.5 C) それ以外→0	15	15	15行について評価 開示レベルで(A)の評価→0.5 開示レベルで(B1)「妥当だがまだ計算していない」→0.25 開示レベルで(B2)「評価していない」または(C)→0	7.5	7.5		0	0	全ての行が(A)タイプ→1	1	1

## C-AC/FB/PF6.6 該当する事業活動分野別のスコープ3排出

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-AC/FB/PF6.6 ※3択	回答あり→1.5	1.5	1.5	-yes→1 -部分的に→1 -no→0	1	1		0	0		0	0
C-AC/FB/PF6.6a ※C-AC/B/PF0.6の回答に基づき行を構築	完成した行に応じてポイント付与 最大6ポイント	6	6	「排出量」に0以外の値を記入し、かつ「説明してください」にスコープ3排出計算の方法を説明している完成した行の数に応じてポイント付与 最大4ポイント	4	4		0	0		0	0
C-AC/FB/PF6.6b ※報告できない理由	-「主な理由」を回答→1.5 -「説明してください」を回答→1.5	3	3	開示ポイント満点 「主な理由」の選択 - 「分析中」→1 - 「2年以内に実施」→1 - 「重要ではないと判断」→0 - 「事業優先度が高くない」→0 - 「操業についてのデータが十分ではない」→0 - 「内部資源の不足」→0 - 「経営からの指示がない」→0 - 「その他、説明してください」を選択し、説明を提供→1	1	1		0	0		0	0

## C6.7 生物的に隔離された炭素からの二酸化炭素排出について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C6.7 ※yes/no	回答あり→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C6.7a ※数値	ゼロ以外の数値→1	1	1	ゼロ以外の数値→1	1	1		0	0		0	0

## C-AC/FB/PF6.8 生物起源炭素データ(農業クラスター)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-AC/FB/PF6.8 ※yes/no/don't know	回答あり→1.5	1.5	1.5	Yes→1 No→1 Don't know→0	1	1		0	0		0	0
C-AC/FB/PF6.8 a ※6つの排出源について、 数値・方法論・説明	完成した列の各欄 →0.5×18	9	9	開示ポイント満点 以下の両方を満たす各行 - 「排出量」の列に0より大きい数値が記入→1 - 「方法論」の列に「それ以外、特定してください」以外を選択→1	6	6		0	0		0	0



## C-AC/FB/PF6.9 C-AC/FB/PF0.7にて重大とした製品についてGHG排出データを収集または計算していますか？

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-AC/FB/PF6.9 ※C0.7の回答に応じた項目(行)	完成した行数に応じて配点 最大3ポイント	3	3	完成していて、かつ、「本製品についてGHG排出データを収集または計算していますか」の列に対して、「はい」または「いいえ、しかし今後実施の予定」を回答している行数に応じて、配点最大2ポイント	2	2		0	0		0	0
C-AC/FB/PF6.9a ※製品ごとに開示	完成した行数に応じて配点 最大7.5ポイント	7.5	7.5	完成していて、かつ、「排出量」の列にゼロ以外の値を記入、かつ「報告年の前年からの変化」の列に「高い」「大変高い」以外を選択している行数に応じて、配点最大5ポイント	5	5		0	0		0	0

## C6.10 売上あたりスコープ1+2排出原単位、くわえて、これ以外の原単位(あれば)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C6.10	完成した列に応じて、配点 - 原単位の数値→1 - 分子(グローバルでの総スコープ1,2排出量)→1 - 分母の種類→1 - 分母の値→1 - スコープ2の種類→1 - 前年からの変化(%)→1 - 変化の方向→1 - 変化の理由→1	7	7	「原単位の数値」と「利用したスコープ2の種類」を記入すること i) 全列記入→1、「前年からの変化%」と「前年からの変化の方向性」のみ記入→0.5 ii) 「変化の方向性」で「減少」を選択肢、かつ「前年からの変化%」の欄に0以上の数値を記載→1	2	2	認識ポイントが満点 - 「変化の理由」に排出削減活動が説明されている→1	1	1		0	0

## C-CE6.11 セメント生産活動にかかわるスコープ1, 2原単位

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-CE6.11 ※ク リンカ、セメン ト換算、セメン ト製品、低 CO2素材の4 行	各行完成→2(X4)	8	8	表が完成→1	1	1		0	0		0	0

## C-OG6.12 炭化水素種別のスコープ1原単位

## C-OG6.13 天然ガスと炭化水素の生産・処理に占めるメタン排出の%

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-OG6.12	各行完成→2(X4)	8	8	開示ポイントが満点かつ、「変化の方向性」が「減少」→1	1	1		0	0		0	0
C-OG6.13	各欄完成→2	6	6	全列完成→1	1	1						

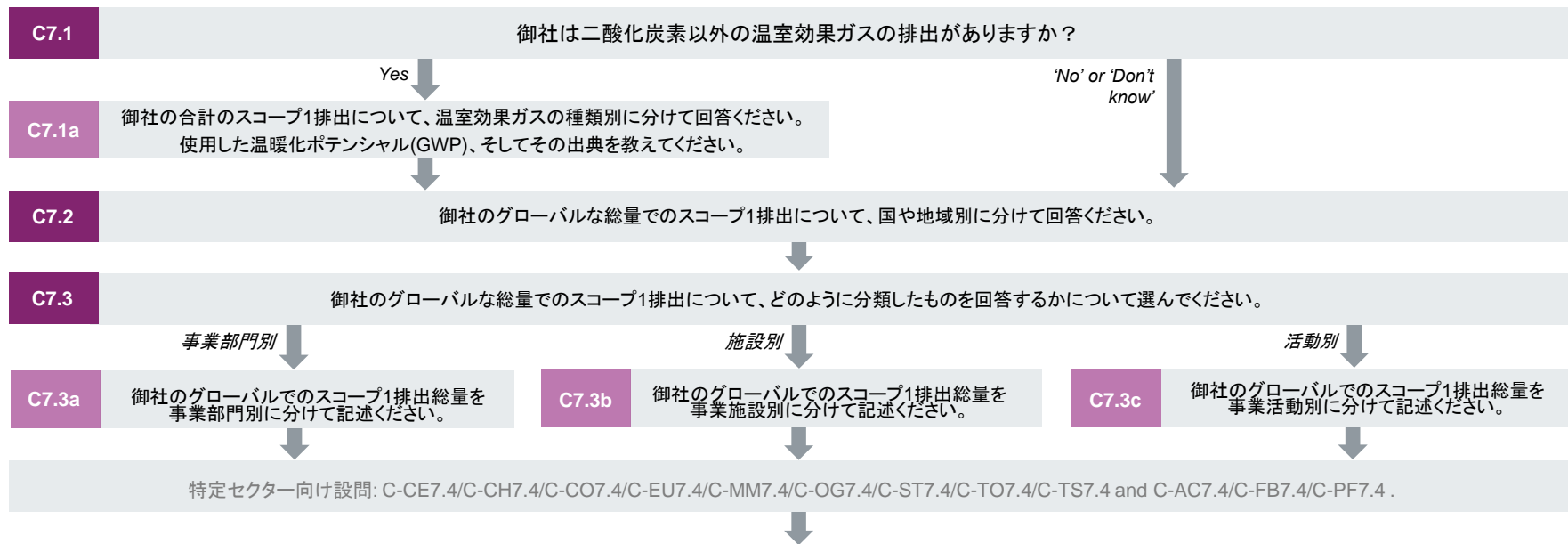
## C-ST6.14 鉄鋼生産ルートごとの排出と原単位

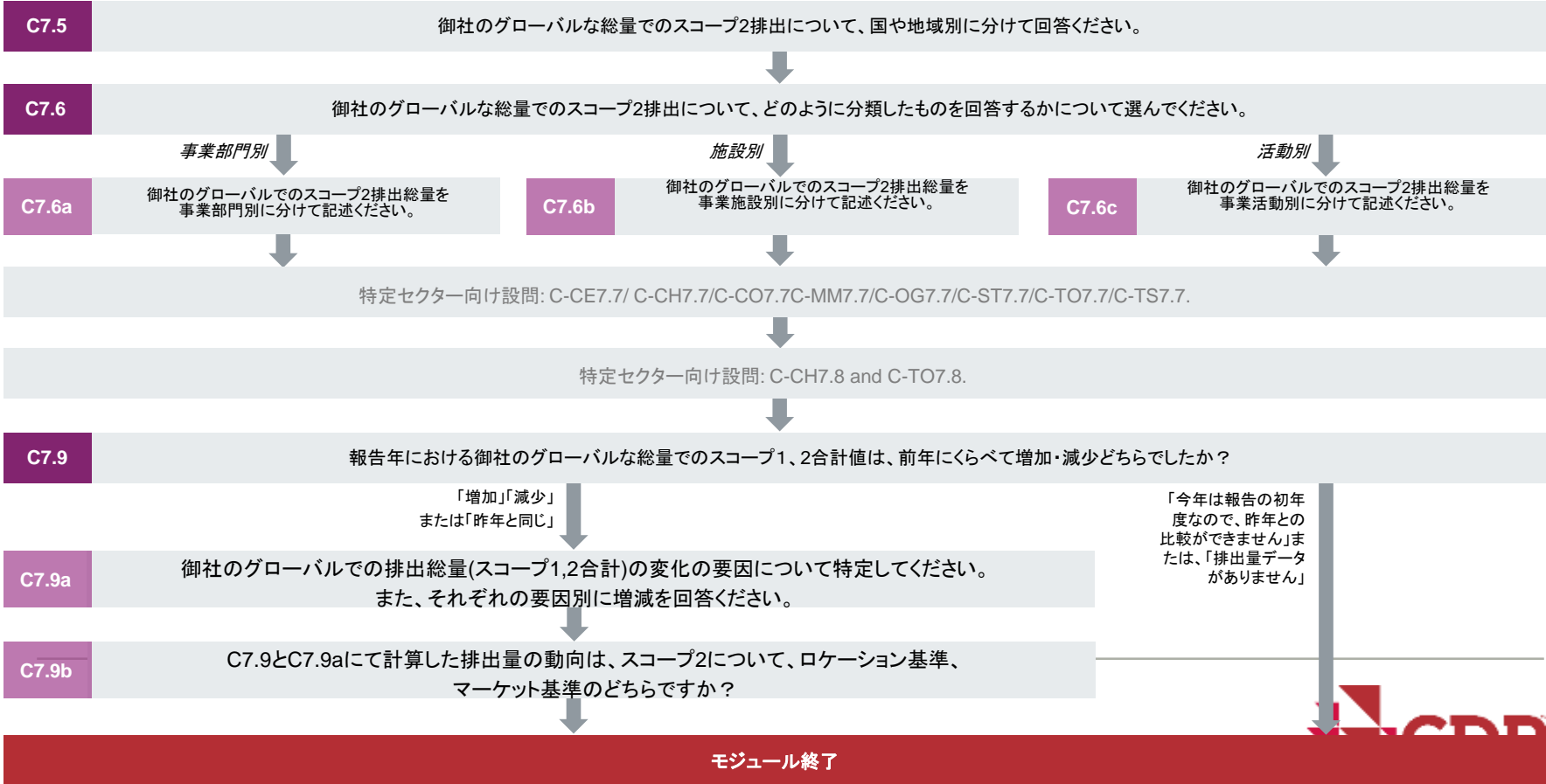
### C-TS6.15 スコープ1,2,3についての主要な活動あたり原単位(輸送活動に適したもの)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-ST6.14	各欄完成→2(X3)	6	6	列完成→1	1	1		0	0		0	0
C-TS6.15	各欄完成→2(X7)	14	14	1行完成→1	1	1		0	0		0	0

# C7 排出の詳細

## Emissions breakdown





# C7のセクター別設問

- ▼C-CO/EU/OG7.1b 報告年における御社のグローバルでの石炭採掘事業/電力供給/石油ガス製造バリューチェーンからのスコープ1排出総量について、温室効果ガス種別に分割してお答えください。
- ▼C-AC/FB/PF7.4 御社の直接操業における事業活動にかかわる排出について、スコープ1の数値に含めていますか？
- ▼C-AC/FB/PF7.4a 御社の農林業からの排出報告について、以下からお選びください。
- ▼C-AC/FB/PF7.4b 御社の事業活動からのスコープ1排出について、除外がある場合はその説明も含めてお答えください。該当する場合は、農林業からの排出について、GHG排出区分に基づいて分けて報告ください。
- ▼C-AC/FB/PF7.4c なぜ御社の直接操業からの排出について、御社のスコープ1排出として計上しないのですか？将来の予定も含めてお書きください。
- ▼C-CE/CH/CO/EU/MM/OG/ST/TO/TS7.4 御社のグローバルでのスコープ1排出総量について、生産活動別に分けてお答えください。
- ▼C-CE/CH/CO/EU/MM/OG/ST/TO/TS7.7 御社のグローバルでのスコープ2排出総量について、生産活動別に分けてお答えください。
- ▼C-CH7.8 御社のスコープ3カテゴリ1の排出について、御社が購入した化学原料に占める割合(%)をお答えください。
- ▼C-CH7.8a 温室効果ガスである製品の販売についてお答えください。
- ▼C-TO7.8 御社のスコープ3カテゴリ11(販売した製品の利用)について、最も適した原単位を教えてください。

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。



## C7 の配点(1/2)

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C7.1	1	1	1	1	0	0	0	0
C7.1a	4	4	1 or 0	1 or 3	0	0	0	0
C-CO/EU7.1b	8	8	2	2	0	0	0	0
C-OG7.1b	16	16	2	2	0	0	0	0
C7.2	4	4	0 or 2	2 or 4	0	0	0	0
C7.3	1	1	0	0	0	0	0	0
C7.3a	4	4	1 or 3	1 or 3	0	0	0	0
C7.3b	4	4	1 or 0	1 or 0	0	0	0	0
C7.3c	4	4	3	3	0	0	0	0
C-AC/FB/PF7.4	1.5	1.5	1	1	0	0	0	0
C-AC7.4a/C-FB7.4a/C-PF7.4a	1.5	1.5	0	0	0	0	0	0
C-AC7.4b/C-FB7.4b/C-PF7.4b	4.5	4.5	3	3	0	0	0	0
C-AC7.4c/C-FB7.4c/C-PF7.4c	3	3	1	1	0	0	0	0

## C7 の配点(2/2)

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C-CE/CH/CO/EU/MM/OG/ST/TO/TS7.4	4	4	0	0	0	0	0	0
C7.5	4	4	5 or 7	5 or 7	0	0	0	0
C7.6	1	1	0	0	0	0	0	0
C7.6a/C7.6b/7.6c	4	4	1 or 0	1 or 3	0	0	0	0
C-CE7.7/C-CH7.7/C-CO7.7/C-MM7.7/C-OG7.7/C-ST7.7/C-TO7.7/C-TS7.7	4	4	0(OG,1)	0(OG,1)	0	0	0	0
C-CH7.8	2	2	0	0	0	0	0	0
C-CH7.8a	14	14	1	1	0	0	0	0
C-TO7.8	15	15	2	2	0	0	0	0
C7.9	1	1	1	1	0	0	0	0
C7.9a	4	4	3	3	5	5	2	2
C7.9b	1	1	1	1	0	0	0	0

## C7.1 CO2以外の排出

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C7.1※3択	回答あり→1	1	1	yes→1, no→1, don't know→0	1	1		0	0		0	0
C7.1a※ガス別スコープ1詳細	完成した行(other, please specify以外)について、①「スコープ1排出」にゼロより大きい数値を入力し、かつ②「GWP参照文献」に「その他、特定してください」以外を選択の場合、4点まで付与	4	4	「スコープ1排出」の列の合計が、C6.1のスコープ1排出の値と一致した場合→1、それ以外は0/3 ※本設問は1/1または0/3	1 or 0	1 or 3		0	0		0	0
C-CO/EU7.1b ※特定事業からのスコープ1排出をカテゴリ別に)	8行あり、1行完成ごと→1(x8)	8	8	- 「スコープ1CO2排出総量」と「スコープ1メタン総量」の列が完成→1 - 「合計スコープ1」の列が完成→1 ※「燃焼(その他)」「未分類の排出」については評価に考慮していない。	2	2		0	0		0	0
C-OG7.1b※同上	16行あり、1行完成ごと→1(x12)	16	16	同上	2	2						

## C7.2 スコープ1排出の国別詳細

## C7.3 スコープ1排出の事業別詳細

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C7.2※国選択の列、排出量の列	スコープ1排出の値が>0の完成した列の数に応じて、最大4ポイント付与	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>- C0.3と一致する国/地域が選択されている→1</li> <li>- 「スコープ1排出量」の列が全行完成→1</li> <li>- スコープ1排出量の合計値が、C6.1のスコープ1排出量合計値と一致→1(または0/4)</li> </ul>	0 or 2	2 or 4		0	0		0	0
C7.3※三択(何別に提供可能か)	いずれか選択→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C7.3a ※事業分野の列、排出量の列	スコープ1排出の値が>0の完成した列の数に応じて、最大4ポイント付与	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>- スコープ1排出量の合計値が、C6.1のスコープ1排出量合計値と一致→1(または0/3)</li> </ul>	1 or 0	1 or 3		0	0		0	0
C7.3b ※事業施設別の列、排出量の列、緯度の列、経度の列	スコープ1排出の値が>0の完成した列の数に応じて、最大4ポイント付与	4	4	スコープ1排出量の合計値が、C6.1のスコープ1排出量合計値と一致→3	3	3						

## C-AC/FB/PF7.4 グローバルスコープ1に直接操業にかかわる排出を含めているか？ \*

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-AC/FB/PF7.4 1) ※3択	回答あり→1.5	1.5	1.5	yes→1, partially→1, no→0	1	1		0	0		0	0
C-AC/FB/PF7.4a ※2択	回答あり→1.5	1.5	1.5		0	0		0	0		0	0
C-AC/FB/PF7.4b ※C0.6の回答に応じて活動が提示	完成した行の数に応じて、最大4.5ポイント	4.5	4.5	- 完成していて、かつ「排出量」が0より大きい数値であり、「方法論」にて「その他、詳細記述」以外を選択している行の数に応じて、最大で3ポイント	3	3		0	0		0	0
C-AC/FB/PF7.4c ※なぜ含まないか	「主な理由」に回答→1.5 「説明してください」に回答→1.5	3	3	開示ポイント満点 -「主な理由」の選択:「分析を実施中」(→1)、「2年以内に含める予定」(→1)、「重要ではないと判断」(→0)、「緊急の重要課題ではない」(→0)、「経営からの指示がない」(→0)、「内部資源の不足」(→0)、「その他、詳述」を選択肢、詳細が書かれている(→1)	1	1						

1)C0.6の「農林業」「プロセス/製造」&or「配送」列に「自社保有の土地のみ」「直接操業のみ」「自社保有の土地に加えてバリューチェーンの各所にて」「直接操業に加えてバリューチェーンの各所にて」を回答した場合のみ出現

## C-CE/CH/CO/EU/MM/OG/ST/TO7.4 スコープ1を生産活動別に分割

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-CE/CH/CO/EU/MM/OG/ST/TO7.4 ※対象部門別に活動が提示、Grossとnet、コメント欄あり	各列が完成→2(x2)	4	4		0	0		0	0		0	0

1)CO.6の「農林業」「プロセス/製造」&or「配送」列に「自社保有の土地のみ」「直接操業のみ」「自社保有の土地に加えてバリューチェーンの各所にて」「直接操業に加えてバリューチェーンの各所にて」を回答した場合のみ出現

## C7.5 スコープ2を国/地域別に

## C7.6 スコープ2を事業部門/施設/事業活動別に

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C7.5 ※地域選択、ロケーション基準の値、マーケット基準の値、購入&消費の二次エネ、購入&消費の低炭素二次エネ	「スコープ2ロケーション基準」の列、または「スコープ2マーケット基準」の列に値が入っていて、完成している列の数に応じて、最大4ポイント	4	4	以下の両方を満たす→2 (それ以外は→0/6) i) C0.3と一致する国/地域が選択されている ii) 「スコープ2ロケーション基準排出量」の列が、C6.3の企業全体の合計値と一致  上記を満たした上で、 iii) 「購入し消費したエネルギー・熱・蒸気・冷熱 (MWh)」が、C8.2aの第5列の2～5行の合計値と一致→1 iv) 「マーケット基準に考慮した、購入し消費した低炭素エネルギー・熱・蒸気・冷熱(MWh)」の欄が、C8.2aの第3列の2～5行の合計値と一致→1	4	4 or 6		0	0		0	0
C7.6 ※三択(何別に提供可能か)	いずれか選択→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C7.6a ※事業分野の列、ロケーション基準の列、マーケット基準の列	「スコープ2ロケーション基準」の列、または「スコープ2マーケット基準」の列に値が入っていて、完成している列の数に応じて、最大4ポイント付与	4	4	- ロケーション基準スコープ2排出量の合計値が、C6.3のロケーション基準スコープ2排出量合計値と一致、またはマーケット基準について同上→1 (または0/3)	1 or 0	1 or 3		0	0		0	0
C7.6b ※施設の列、ロケーション基準の列、マーケット基準の列	同上	4	4	同上	1 or 0	1 or 3						
C7.6c ※活動の列、ロケーション基準の列、マーケット基準の列	同上	4	4	同上	1 or 0	1 or 3						

# C-CE/CH/CO/MM/OG/ST/TO/TS7.7 スコープ2の生産活動別 C-CH/TS7.8 化学原料購入によるスコープ3カテゴリ1の割合

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
CCE/CH/CO/MM/OG/ST/TO/TS7.7 ※生産活動、ロケーション基準排出量、マーケット基準排出量、コメント	各セル完成→2(x2)	4	4		0	0		0	0		0	0
C-CH7.8※購入原料選択、それぞれがスコープ3カテゴリ1排出に占める割合	各セル完成→2	2	2		0	0		0	0		0	0
C-CH7.8a※GHGである製品の販売について(7ガス)	各セル完成→2(x7)	1 4	1 4	「販売量(トン)」が完成→1	1	1		0	0		0	0
C-TO7.8 ※スコープ3カテゴリ1の排出に適した原単位の開示	各セル完成→1.5(x10)	1 5	1 5	1行完成→1 表が完成→1	2	2						



C7.9にて「増加」「減少」  
または「昨年と同じ」

## ※該当理由による変化がない場合は空欄にしてください！

C7.9a

御社のグローバルでの排出総量(スコープ1,2合計)の変化の要因について特定してください。  
また、それぞれの要因別に増減を回答ください。

Reason	①理由	②排出の変化(t-CO2)	③変化の方向	④排出変化率(%)	⑤計算について説明ください
Change in renewable energy consumption	再エネ消費の変化	※1列以上、0より大きい値→認識(1)	Select from: ● Increased 増加 ● Decreased 減少 ● No change 変化なし	※1列以上、0より大きい値→認識(1)	総合的な説明が記述  「④排出変化率(%)」の欄に記入した数値の計算につかっ値を報告。その他、排出変化について必要な説明があれば。
Other emissions reduction activities	他の排出削減活動	いずれかの行の値が0より大きい	増加でないこと(要件)	いずれかの行の値が0より大きい 管理ポイント満点→1 この列の合計が>2.1→0.5 同上>4.0→1	
Divestment	ダイベストメント(投資引き上げ)				
Acquisitions	買収				
Mergers	合併				
Change in output	生産の変化				
Change in methodology	方法の変化				
Change in boundary	バウンダリの変化				
Physical operations status change	物理的操業状況の変化				
Unidentified	特定できない部分				
Other	その他				

必ず1行は完成してください。→開示(4)

unidentified, other 以外の行のが1列は完成している場合→認識(1)

“Last year X tCO2e were reduced by a change on our renewable energy consumption/ emissions reduction activities, and our total S1 and S2 emissions in the previous year was Y tCO2e, therefore we arrived at Z% through  $(X/ Y) * 100 = Z\%$ ”

# 全体

---

- ▼御社のグローバルでの排出総量の変化要因について、カテゴリに分けてください。
- ▼スコープ1+2排出全体の変化に影響した各種要因(増加要因、減少要因両方)に分けることをお願いしています。
- ▼あてはまるそれぞれの要因に分解して、それぞれの行でその内容を説明、変化率をお書きください。
- ▼スコープ1,2の排出総量に変化がないとしても、排出削減活動による削減について明記してください。
- ▼あまりあり得ないことではありますが、全カテゴリにおける変化が全くないような場合、「その他」の行の文章を書く欄に「変化なし」と書き、2列目の「排出量の変化率」に0を記入してください。
- ▼排出削減活動については、エネルギー消費の減少、排出の少ないプロセスや機器など、さまざまな原因で起こり得ます。
- ▼御社の排出量が、複数の排出削減活動によって削減された場合、それらをまとめて報告してください。

# ① 理由(1/2)

あてはまらない行については、空白のままとしてください。

▼**再エネ消費の変化**: 排出削減活動のうち、再エネ消費についてのものについて。報告年に増加した分(C6.3にて報告したマーケット基準スコープ2の値に考慮したもの)をお書きください。低炭素エネ購入の削減活動としての計上方法は、C4.3bのガイダンス資料の事例4を参照ください。算定方法をロケーション基準からマーケット基準に変えたことによる削減は、ここではなく、「算定方法の変化」の行にお書きください。オフセットクレジット、製品サービス利用による削減貢献量、GHG分離・転換などをあてはめる前の総量でお書きください。

▼**その他排出削減活動**: 再エネ消費の変化に報告した再エネ利用以外の、積極的な排出削減イニシアチブ・活動による排出削減。

▼**ダイベストメント(投資引き上げ)**: 事業の売却による排出量変化

▼**買収**: 他社や部門・施設の購入による排出量変化

▼**統合**: 企業の統合による排出量変化

## ① 理由(2/2)

- ▼ **生産量の変化**: 事業の生産の変化(増減両方)による排出量変化。
- ▼ **算定方法の変化**: インベントリ計算方法の修正による変化です。たとえば、利用する排出原単位の種類の変更や、従うプロトコルの変更など。低炭素エネルギーに関するスコープ2算定基準の変更などはここに分類。
- ▼ **バウンダリの変化**: インベントリ計算のバウンダリの変更による排出量変化。例)財務支配力から経営支配力への変更など。昨年考慮していなかった施設をインベントリに加えた場合もここに分離されます。
- ▼ **操業条件の変化**: 気候変化によって企業の操業に大きな影響があったが、これまでの選択肢にあてはまらない場合。例)降水量の増加による水力発電の増加
- ▼ **分類不能**: 排出量の変化について、説明できない場合、こちらをお選びください。
- ▼ **その他**: 別の理由がある場合、こちらの行に記入ください。ここを選んだ場合、「説明してください」の列に詳細を説明してください。

## ②排出の変化(t-CO<sub>2</sub>)

---

- ▼1列目の理由(要因)による排出の変化について、スコープ1+2合算で、%にて記入。
- ▼%は記入しなくて結構です。

該当要因による排出変化量

---

報告年の前年の排出量

## C7.9 報告年スコープ1+2排出の前年との比較

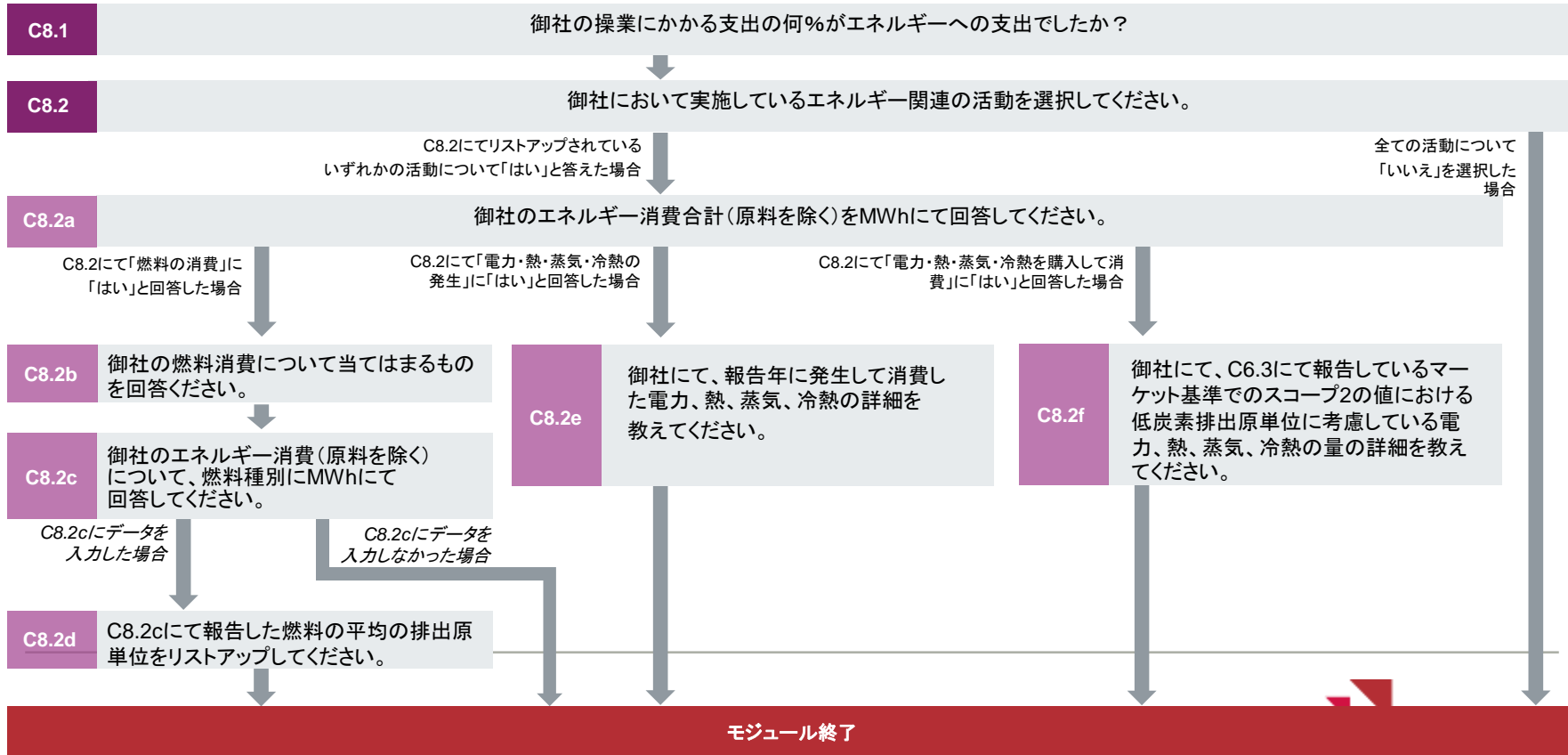
	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C7.9※増減などを 選択	回答あり→1	1	1	「排出量データがありません」以外を 選択→1	1	1		0	0		0	0
C7.9a※増減の理 由、9要因 +unidentified+oth er	少なくとも1行に ついて、4項目入 力→4	4	4	A) 「変化の方向」の列にて「増加」 または「減少」が選択されてい て、かつ、①「排出変化率(%)」 が>0→1、②「排出量の変化(t- CO2)」が>0→1、Unidentified、 other以外の列が少なくとも1列 完成→1 B) C7.9にて「変化なし」を選択し、 かつ、全列の「変化の方向」が 「変化なし」となっている→3 ※排出(%)の欄に記入がない、また は0であり、かつ、「unidentified」の 行のみが完成している場合、0/3ポ イント。	3	3	認識レベルが満点 「再エネ消費の変化」「その他の排出削減 活動」の行について、「変化の方向性」が 「増加」ではないこと  「その他排出削減活動」の行、そして/ま たは「再エネ消費の変化」の行が、以下を 満たす場合→5 - 「排出の変化」が>0、かつ - 「排出の値(%)」が>0、かつ - 「変化の方向」が「減少」、かつ - 「排出の値(%)」の計算に使った式が、 「排出の変化」と整合的であり、かつ 7.9aのガイダンスと整合的であり、か つ「計算を説明してください」に記述さ れている 注1)	5	5	管理ポイントが満点 「その他排出削減活 動」そして/または 「再エネ消費の増 加」について、 i) 管理ポイント が満点→1 ii) 排出削減(% の列の合計 が、 >2.1%→0.5、 または >4%→1	2	2
C7.9b ※スコープ2 の基準	回答あり→1	1	1	Don't know 以外→1	1	1		0	0		0	0

注1) 各行に記述した値は、報告年の前年の合計のスコープ1、2排出と比べて、報告年はどうであったかの評価である必要があります。

数年間の削減の平均といったものについては、評価につながりません。また、CDPの再エネ動定のガイダンスをご一読ください。カーボン・オフセットによる排出削減については、C7.9aではポイント対象となりません。

# C8 エネルギー/Energy

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。



御社にて、C6.3にて報告しているマーケット基準でのスコープ2の値における低炭素排出原単位に考慮している電力、熱、蒸気、冷熱の量の詳細を教えてください。

③低炭素電力・熱・蒸気・冷熱の消費量(MWh) ④排出原単位(トンCO2/MWh)

Basis for applying a low-carbon emission factor ①低炭素排出原単位適用の基準	Low-carbon technology type ②低炭素技術の種類	MWh consumed associated with low-carbon electricity, heat, steam or cooling	Emission factor (in units of metric tons CO2e per MWh)	Comment
Select from: 「なし」と回答(4) <ul style="list-style-type: none"> <li>● No purchases or generation of low-carbon electricity, heat, steam or cooling accounted with a low-carbon emission factor</li> <li>● Off-grid energy consumption from an on-site installation or through a direct line to an off-site generator owned by another company</li> <li>● Direct procurement contract with a grid-connected generator or Power Purchase Agreement (PPA), supported by energy attribute certificates</li> <li>● Direct procurement contract with a grid-connected generator or Power Purchase Agreement (PPA), where electricity attribute certificates do not exist or are not required for a usage claim</li> <li>● Contract with suppliers or utilities, supported by energy attribute certificates</li> <li>● Contract with suppliers or utilities, with a supplier-specific emission rate, not backed by electricity attribute certificates</li> <li>● Energy attribute certificates, Guarantees of Origin</li> <li>● Energy attribute certificates, Renewable Energy Certificates (RECs)</li> <li>● Energy attribute certificates, I-RECs</li> <li>● Other, please specify</li> </ul>	Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> <li>● Solar PV</li> <li>● Concentrated solar power (CSP)</li> <li>● Wind</li> <li>● Hydropower</li> <li>● Nuclear</li> <li>● Biomass (including biogas)</li> <li>● Tidal</li> <li>● Other low-carbon technology, please specify</li> </ul>	Numerical field [enter a number from 0 to 999,999,999.999 using up to 2 decimal places and no commas]	Numerical field [enter a number from 0-99,999 using up to 6 decimal places and no commas]	Text field [maximum 2,400 characters]

「あり」の場合、各列について回答(1×4列)



# ①低炭素排出原単位適用の基準

- ▼低炭素排出原単位の低炭素電力、熱、蒸気、冷熱は購入していません。
- ▼敷地内に設置した発電設備、敷地外であっても自営線につながっている他社保有の発電設備について、系統につながっていないエネルギー消費
- ▼系統につながっている発電設備との直接購入契約またはPPAであり、エネルギー属性証書によって裏打ちされているもの
- ▼系統に接続している発電設備からの直接契約またはPPAであるが、電力属性証書がない、または消費の主張に必要な状況である
- ▼サプライヤーや電力会社との契約であり、エネルギー属性証書によって裏打ちされている。
- ▼サプライヤーや電力会社との契約であり、事業者別排出係数があるが、エネルギー属性証書によって裏打ちされていない。
- ▼エネルギー属性証書、発電源証明(GO)
- ▼エネルギー属性証書、再エネ証書(RECs)
- ▼エネルギー属性証書、I-RECs
- ▼その他、詳述してください

## ①低炭素排出原単位適用の基準

	日本での購入手段
低炭素排出原単位の低炭素電力、熱、蒸気、冷熱は購入していません。	
敷地内に設置した発電設備、敷地外であっても自営線でつながっている他社保有の発電設備について、系統につながっていないエネルギー消費	屋根に設置した太陽光等
系統につながっている発電設備との直接購入契約またはPPAであり、エネルギー属性証書によって裏打ちされているもの	日本ではあまりない
系統に接続している発電設備からの直接契約またはPPAであるが、電力属性証書がない、または消費の主張に必要な状況である	日本ではあまりない
サプライヤーや電力会社との契約であり、エネルギー属性証書によって裏打ちされている。	FIT電力に非化石価値証書を買戻した場合
サプライヤーや電力会社との契約であり、事業者別排出係数があるが、エネルギー属性証書によって裏打ちされていない。	アクアプレミアム
エネルギー属性証書、発電源証明(GO)	
エネルギー属性証書、再エネ証書(RECs)	
エネルギー属性証書、I-RECs	
その他、詳述してください	グリーン電力証書、J-クレジット(再エネ)、FIT電力以外に非化石価値証書を付けたもの

## C8 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C8.1	1	1	0	0	0	0	0	0
C8.2	6	6	0	0	0	0	0	0
C8.2a	6	6	3	3	0	0	2	2
C-CE8.2	8	8	1	1	0	0	0	0
C-CH/MM/ST8.2a	14	14	1	1	0	0	0	0
C-MM8.2a	1	1	1	1	1	1	0	0
C8.2b	4	4	0	0	0	0	0	0
C8.2c	8	8	1	1	1	1	0	0
C-CE8.2	10	10	1	1	0	0	0	0
C8.2d	4	4	1	1	0	0	0	0
C8.2e	1	1	1	1	0	0	0	0
C-CE/CH8.2e	4	4	1	1	0	0	0	0
C-EU8.2e	12	12	2	2	0	0	0	0
C-MM/ST8.2e	8	8	1	1	0	0	0	0

## C8 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C8.2f	4	4	0 or 2	2,3 or 4	1	1	0	0
C-TS8.2h	4	4	1	1	0	0	0	0
C-CH8.3	12	12	1	1	0	0	0	0
C-CH8.3a	10	10	1	1	0	0	0	0
C-ST8.3	7	7	1	1	0	0	0	0
C-EU8.4	2	2	0	0	0	0	0	0
C-EU8.4a	11	11	1	1	0	0	0	0
C-TO/TS8.4	14	14	1	1	0	0	0	0

# C8.1 操業にかかる支出の何%がエネルギーに対するものであったか？

## C8.2 エネルギー関連活動、消費量

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C8.1※%を選択	回答あり→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C8.2※6種のエネルギー関連活動の行に対し、yes/no	各列について選択→1(x6)	6	6		0	0		0	0		0	0
C8.2a ※原料以外のエネ消費、再エネ、非再エネ、合計。6つのエネ関連活動と合計	完成した(または未完成でも)行の数に応じて配点。最大6ポイント	6	6	完成した行の数に応じて配点、最大3ポイント	3	3	認識ポイントが満点 - 合計エネルギー消費の10%以上が再エネ→1 - 合計エネルギー消費の25%以上が再エネ→2	2	2	管理ポイントが満点 - 合計エネルギー消費の50%以上が再エネ→1 - 合計エネルギー消費の75%以上が再エネ→1.5 - 合計エネルギー消費の99%以上が再エネ→2	2	2
C-CE8.2a	合計MWhを記入→2(x4)	8	8	表が完成→1	1	1						
C-CH/MM/ST8.2a	合計MWhを記入→2(x7)	14	14	同上	1	1						
C8.2b※燃料消費があてはまる活動	選択肢を選択→1(x4)	4	4		0	0						
C8.2c※燃料種別	記入した欄に応じてポイント付与、最大4ポイント	4	4	完成した行について、 -「自家発電のための燃料消費」「自家消費の熱/蒸気/冷熱/コージェネ等発生のための燃料消費」の合計が、合計MWhと一致→1	1	1	合計MWhが <sup>g</sup> 、C8.2aの値と一致→1 (それ以外の場合、0/3)	1	1			
C-CE8.2c	各セルが完成→2(x5)	10	10	1行が完成	1	1						

## C8.2 エネルギー関連活動、消費量の続き

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C8.2d	各列完成 →1(x4)	4	4	「燃料」「単位」そして「排出原単位の出典」の列が完成→1	1	1		0	0		0	0
C8.2e※電力・熱・蒸気・冷熱の発生と消費の詳細	全列記入した行が1行ある→	1	1	「合計総発電量」「発電量のうち消費した量」「再エネ源による総発電量」「再エネ源による総発電量のうち消費したもの」の列が完成→1	1	1		0	0		0	0
C-CE8.2e ※セメント生産活動に生成し消費した電力・熱・蒸気	各行が完成 →2(x2)	4	4	表が完成→1	1	1		0	0		0	0
C-CH8.2e ※化学生産活動に生成し消費した電力・熱・蒸気・冷熱	各行が完成 →2(x2)	4	4	表が完成→1	1	1		0	0		0	0
C-EU8.2e ※電気事業について、設備容量、発電量、排出源別排出	「その他再エネ」「その他非再エネ」以外の行について、完成した行 →2(x6)	12	12	「その他再エネ」「その他非再エネ」以外の行について、完成した表→2	2	2		0	0		0	0
C-MM/ST8.2e ※金属・鉱業/鉄鋼生産活動での二次エネ生産・消費	各列完成 →2(x4)	8	8	表が完成→1	1	1		0	0		0	0

## C8.2 エネルギー関連活動、消費量の続き

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C8.2f ※C6.3のマーケット基準スコープ2に考慮した低炭素エネ	「再エネの生産・購入なし」→4 「購入あり」であり、コメント以外の各列が完成→1(x4)	4	4	i)「再エネの購入なし」→(0/4) ii)購入ありの選択肢→1 iii)「低炭素電力・熱・蒸気・冷熱の消費量(MWh)」がC7.5で回答した「マーケット基準に適用した低炭素電力・熱・蒸気・冷熱の購入量(MWh)」列とくらべて誤差10%以内→1(それ以外0/3)	0,2	2,3,4	認識レベルが満点「購入している」関連の選択肢を選択しており、電力・熱・蒸気・冷熱の需要の50%以上となっている→1	1	1		0	0
C-TS8.2h	各セル記入→2(x2)	4	4	1行完成→1	1	1		0	0		0	0

## C-CH8.3 原料消費

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-CH8.3 ※原料消費	各セル完成→2(x6)	12	12	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-CH8.3a ※原料別の%	下2行以外の5行について、セル完成→2(x5)	10	10	表が完成→1	1	1		0	0		0	0
C-ST8.3 ※原料消費	各セル完成→1(x7)	7	7	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-EU8.4 ※グローバル送配電の有無(yes/no)	選択している→2	2	2		0	0		0	0		0	0
C-EU8.4a ※送配電の詳細	国→1, 電圧→1, 年間負荷→2, スコープ2排出の基準→1, スコープ2排出→2, 年間エネルギー損失→1, ネットワーク延長→1, 接続の数→1, カバー地域→1	11	11	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-TO/TS8.4 ※適した効率化指標	各セル完成→2(x7)	14	14	1行完成→1	1	1		0	0		0	0



# C9 追加指標/Additional metrics

C9.1

御社の事業に適した気候関連指標についてあれば記載してください。



モジュール終了

※セクター別質問は多数あり。

## C9 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C9.1	0	0	0	0	0	0	0	0
C-OG9.2a	8	8	1	1	0	0	0	0
C-CO9.2a/b	6	6	2	2	0	0	0	0
C-OG9.2b	2	2	1	1	0	0	0	0
C-OG9.2c	6	6	0	0	0	0	0	0
C-OG9.2d	6	6	1	1	0	0	0	0
C-OG9.2e	10	10	1	1	0	0	0	0
C-TO9.3/C-TS9.3	10	10	2	2	0	0	0	0
C-CE9.3a	4	4	1	1	0	0	0	0
C-CH9.3a	6	6	1	1	0	0	0	0
C-CO9.3a	8	8	1	1	0	0	0	0
C-MM9.3a	12	12	1	1	0	0	0	0
C-ST9.3a	6	6	1	1	0	0	0	0
C-OG9.3a	2	2	0	0	0	0	0	0

## C9 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C-CE9.3b	12	12	1	1	0	0	0	0
C-CO9.3b	4	4	1	1	0	0	0	0
C-MM9.3b	12	12	1	1	0	0	0	0
C-ST9.3b	4	4	1	1	0	0	0	0
C-OG9.3b	6	6	0	0	0	0	0	0
C-CE9.3c	14	14	0	0	0	0	0	0
C-OG9.3c	2	2	1	1	0	0	0	0
C-OG9.3d	2	2	1	1	0	0	0	0
C-OG9.3e	4	4	1	1	0	0	0	0
C-CO9.4a	2	2	1	1	0	0	0	0
C-EU9.5a	8	8	0	0	0	0	0	0
C-EU9.5b	10	10	0	0	0	0	0	0
C-CE9.6	8	8	1	1	0	0	0	0
C-CH9.6	8	8	1	1	0	0	0	0

## C9 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C-MM9.6	16	16	1	1	0	0	0	0
C-ST9.6	16	16	1	1	0	0	0	0
C-CO/EU/OG9.6	16	16	1	1	0	0	0	0
C-TO/TS9.6	16	16	1	1	0	0	0	0
C-OG9.7	2	2	0	0	0	0	0	0
C-OG9.8	2	2	0	0	0	0	0	0
C-OG9.8a	4	4	1	1	0	0	0	0
C-OG9.8b	10	10	1	1	0	0	0	0
C-OG9.8c	2	2	0	0	0	0	0	0

## C9.1 その他気候関連指標(あれば) ~9.2d

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C9.1		0	0		0	0		0	0		0	0
C-OG9.2a※C-OG0.7にて上流と回答した企業のみ	各セル→2(x4)	8	8	「year-end net production」列が完成→1	1	1		0	0		0	0
C-CO9.2a※石炭埋蔵量と生産量	“other coal”以外のセル完成→2(x3)	6	6	“other coal”以外の表の完成→2	2	2		0	0		0	0
C-CO9.2b※石炭資源量と生産量	“other coal”以外のセル完成→2(x3)	6	6	“other coal”以外の表の完成→2	2	2		0	0		0	0
C-OG9.2b※埋蔵量報告の方法論	文章が記述→2	2	2	以下のいずれかを満たす→1 - 埋蔵量の報告に用いた要件(listing requirements)や他の手法について記述がある。 - データを提供できない法的な制約について説明がある	1	1		0	0		0	0
C-OG9.2c※子会社等も含む埋蔵量・資源量合計	各セル完成→2(x3)	6	6		0	0		0	0		0	0
C-OG9.2d※種別・2P・3Pの埋蔵量・資源量	-各行完成→2(x3)	6	6	表が完成→1	1	1						

## C9.2d~9.3a その他気候関連指標(セクター別)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-OG9.2e※開発方法別埋蔵量・資源量	各セルの完成→2(x5)	10	10	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-TO/TS9.3※低炭素輸送技術の導入の指標	各セルの完成→2(x5)	10	10	1行完成→1 表完成→1	2	2		0	0		0	0
C-CE9.3a※ホワイト・グレーセメント生産の%	各列完成→2(x2)	4	4	表完成→1 %の合計が100%→1	2	2		0	0		0	0
C-CH9.3a※化学製品詳細について	各セル完成→1(x6)	6	6	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-CO9.3a※グレード別石炭生産量	「生産(%)」列について、「その他」以外の欄が完成→2(x4)	8	8	%の合計が100%→1	1	1		0	0		0	0
C-MM9.3a※鋳業生産活動による製品の詳細	各セル完成→2(x6)	12	12	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-ST9.3a ※プラント種類の鉄鋼関連の消費・生産・容量	-各行完成→2(x3)	6	6	1行完成→1(ただし、「その他」以外の行)	1	1		0	0		0	0
C-OG9.3a ※精製設備の処理能力	数値回答あり→2	2	2		0	0		0	0		0	0

## C9.3 その他気候関連指標(セクター別)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-CE9.3b※炉のタイプ別 クリンカ生産%と容量%	各列完成→2(x6) ※other以外	12	12	表完成→1 「クリンカ生産トンの内訳%」の合計 が100%→1	2	2		0	0		0	0
C-CO9.3b※採掘タイプ別 石炭生産%	「生産%」列について、 セルが完成ごとに →2(x2)	4	4	「生産%」列の合計が100%→1	1	1		0	0		0	0
C-MM9.3b※金属生産関 連活動の詳細	各セル完成→2(x6)	12	12	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-ST9.3b※製品別生 産・容量	各セル完成→2(x2)	4	4	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-OG9.3b※加工された 原料	各セル完成→2(x3)	6	6		0	0		0	0		0	0
C-CE9.3c※製品別生産・ 容量	各行完成→2(x7)	14	14		0	0		0	0		0	0
C-OG9.3c ※精製した製 品と純生産(yes/no)	-選択している→2	2	2	Yes→1 No→0	1	1		0	0		0	0
C-OG9.3d ※製品と純生産	数値回答あり→2	2	2	選択した製品について、「精製した製 品の純生産量」が完成→1	1	1		0	0		0	0

## C9.3～9.5 その他気候関連指標(セクター別)

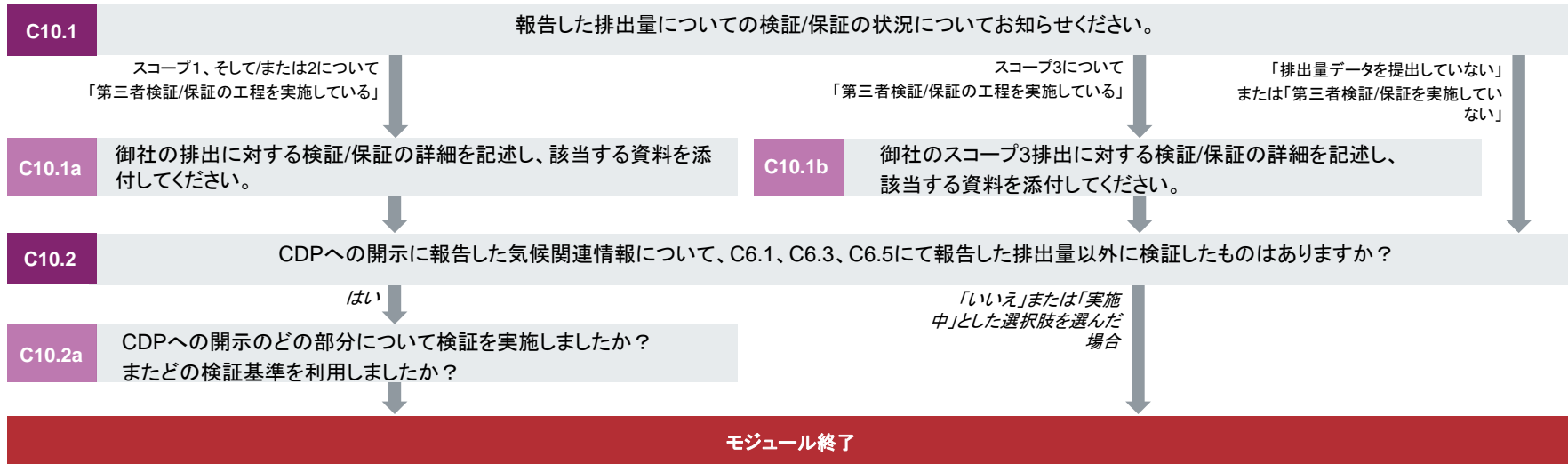
	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-OG9.3e※化学製品生産	各セル完成→2(x2)	4	4	表完成→1	1	1		0	0		0	0
C-CO9.4a※C-CO9.2aで埋蔵量計算に利用した方法	文章回答あり→2	2	2	以下いずれかカバー→1 - どのlisting requirementsや他の方法論を使っているかについて説明 - なぜ法的制約によってデータを提供できないかの説明	1	1		0	0		0	0
C-EU9.5a ※発電の資本支出の計画	「主な電源」列完成→2 「この電源の発電のための資本支出計画」→2 「合計資本支出(発電のための)に占める割合」→2 「年末の資本支出計画」→2	8	8		0	0		0	0		0	0
C-EU9.5b※計画した資本支出の製品・サービス別詳細	「製品・サービス」列完成→2 「製品・サービスの説明」→2 「製品・サービスへの計画資本支出」→2 「製品・サービスへの計画資本支出の全体に占める割合」→2 「年末の資本支出計画」→2	10	10		0	0		0	0		0	0



## C9.6 その他気候関連指標(セクター別、低炭素投資、採算石油価格、CO2分離・転換)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-CE/CH9.6※低炭素投資	各セル完成→1(x8)	8	8	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-MM/ST/CO/EU/OG/TO/TS 9.6※低炭素投資	各セル完成→2(x8)	16	16	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-OG9.7 ※採算がとれる 価格	数値入力→2	2	2		0	0		0	0		0	0
C-OG9.8 ※CO2分離に ついて(yes/no)	選択している→2	2	2		0	0		0	0		0	0
C-OG9.8a ※CO2の転換(in とout)	各セル完成→2(x2)	4	4	「CO2転換量」の列の完 成→1	1	1		0	0		0	0
C-OG9.8b ※CCSの隔離・ 保管量	各セル完成→2(x5)	10	10	1行完成→1	1	1		0	0		0	0
C-OG9.8c ※CO2分離・転 換に関する情報	文章記載→2	2	2		0	0		0	0		0	0

# C10 検証/Verification



※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。

## C10 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C10.1	3	3	3	3	0	0	0	0
C10.1a	12	12	0	0	10	10	2	2
C10.1b	6	6	0	0	5	5	0	0
C10.2	1	1	1	1	0	0	0	0
C10.2a	4	4	4	4	0	0	0	0

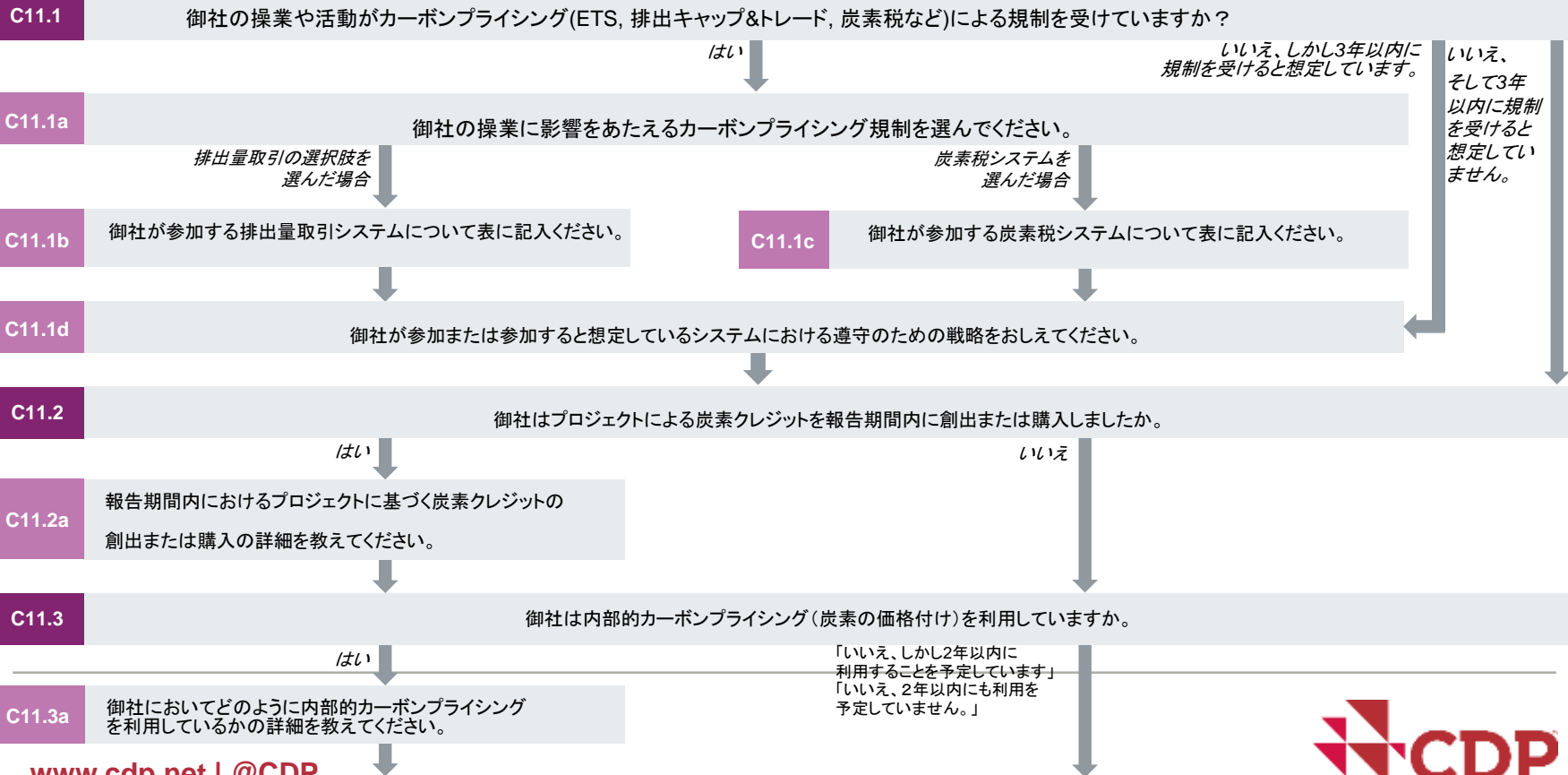
# C10.1

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C10.1 ※スコープ1,2,3の検証の有無	各行について選択あり→1(x3)	3	3	各行について、「第三者検証・保証を取得している」を選択→1(x3)	3	3		0	0		0	0
C10.1a ※スコープ1,2検証の詳細	<p>下記すべての列が完成→3.5(x2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「検証・保証の頻度」</li> <li>- 「本報告年の状況」が「完了」</li> <li>- 「検証・保証の種類」</li> <li>- 「書類添付」</li> </ul> <p>C10.1にて選択したスコープすべてについて、以下が完成することで追加ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「ページ/節への参照」→0.5(x2)</li> <li>- 「該当する基準」→1(x2)</li> <li>- 「報告したスコープ1のうち検証された割合」→1(x2)</li> </ul> <p>「Status」にて、「実施中であるが、本報告年のものについては完了していない」・「初年度である」を選んでいる場合→6(x2)</p> <p>C10.1にて「排出データを提出していない」「第三者検証・保証は実施していない」を選択→0</p>	12	12		0	0	<p>「書類を添付」列に添付した書類に、以下の「検証添付資料要件」を満たす→5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 内容がGHG排出についてと明記</li> <li>ii) 「スコープ」が選択したスコープと一致</li> <li>iii) 報告年と正しく関連している ①頻度が「年」であり、Statusが「実施中であり、前のを添付」で12カ月のものを添付、②頻度が「隔年」であり、statusが「実施中、前のを添付」で2年間のものを添付、③頻度が「3年に1度」であり、statusが「実施中、前のを添付」で3年間のものを添付</li> <li>iv) 検証基準が受け入れているものである</li> <li>v) 検証書類に検証を確認するという意見や結果が書かれている。</li> </ul> <p>「実施中だが、本報告年については完了していない」「初年度である」を選んだスコープ→4(x2)</p> <p>C10.1にて「排出データを提出していない」「第三者検証・保証は実施していない」を選択→0</p>	5	5	<p>各スコープについて、以下の両方の要件を満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各年検証で、検証比率が70%以上→1</li> <li>- 隔年検証で、検証比率が70%以上→0.5</li> <li>- 3年に1度検証で、検証比率が70%以上→0.333</li> </ul> </li> <li>ii) CC6.4が「No」または、CC6.4aの2列目が以下を選択している ①除外なし②本排出源からの除外なし③排出していない④最近の事業統合により除外</li> </ul> <p>「排出データを提出していない」「第三者検証・保証は実施していない」を選択→0</p>	2	2

# C10.1

	開示	分子		認識	分子		管理	分子		リーダー	分子	
		分子	分母		分子	分母		分子	分母		分子	分母
C10.1b ※スコープ3検証の詳細	<p>C10.1にて選択したスコープすべてについて、以下の列が完成すること→3.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「スコープ」</li> <li>- 「検証・保証の頻度」</li> <li>- 「本報告年の状況」が「完了」</li> <li>- 「書類添付」</li> </ul> <p>C10.1にて選択した全スコープについて、以下が完成することで追加ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「ページ/節への参照」→0.5</li> <li>- 「該当する基準」→1</li> </ul>	5	5		0	0	<p>「書類を添付」列に添付した書類に、以下の「検証添付資料要件」を満たす→5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 内容がGHG排出についてと明記</li> <li>ii) 「スコープ」が選択したスコープと一致</li> <li>iii) 報告年と正しく関連している(①頻度が「年」であり、Statusが「実施中」であり、前のものを添付)で12カ月のものを添付、②頻度が「隔年」であり、statusが「実施中、前のものを添付)で2年間のものを添付、③頻度が「3年に1度」であり、statusが「実施中、前のものを添付)で3年間のものを添付</li> <li>iv) 検証基準が受け入れているものである</li> <li>v) 検証書類に検証を確認するという意見や結果が書かれている。</li> </ul> <p>「実施中だが、本報告年については完了していない」「初年度である」を選んだスコープ→4 C10.1にて「排出データを提出していない」「第三者検証・保証は実施していない」を選択→0</p>	5	5		0	0
C10.2 ※他の検証	- 選択肢を選択→1	1	1	「はい」「実施中」、または「いいえ、しかし2年以内の検証を実施予定です」→1	1	1		0	0		0	0
C10.2a ※詳細	- 完成した行の数に応じて配点。最大4ポイント	4	4	- 「検証したデータ」の列について「知らない」以外を選択した完成した行の数に応じて配点。最大4ポイント。	4	4		0	0		0	0

# C11 カーボンプライシング/Carbon pricing



## C11 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C11.1	1	1	0	0	0	0	0	0
C11.1a	1	1	0	0	0	0	0	0
C11.1b	6	6	1	1	0	0	0	0
C11.1c	3	3	1	1	0	0	0	0
C11.1d	1	1	1	1	1	1	0	0
C11.2	1	1	0	0	0	0	0	0
C11.2a	8	8	0	0	1	1	0	0
C11.3	1	1	1	1	1	1	0	0
C11.3a	7	7	1	1	1	1	0	0

## C11.1 カーボンプライシング規制について

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C11.1 ※カーボン プライシング規制 下にあるか？ (yes/no)	選択肢を選択→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C11.1a ※どのよう な規制か	選択肢を選択→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C11.1b ※詳細(ETS の場合)	「スコープ1排出のカバー率」→1 「期間開始日」「期間終了日」→1 「配分された排出枠」→1 「購入した排出枠」→1 「CO2換算の検証された排出量」 →1 「保有関係の詳細」→1	6	6	1行の全列が完成→1	1	1		0	0		0	0
C11.1c ※詳細(税 の場合)	「期間開始日」「期間終了日」→1 「排出のカバー率」→1 「支払った税の総額」→1	3	3	1行の全列が完成→1	1	1		0	0		0	0
C11.1d ※遵守の 戦略	文章記載→1	1	1	C11.1が「はい」の場合： - 参加するシステムでの遵守の戦略が記 述→1 C11.1が「いいえ、しかし2年以内に規制が 導入されると予想しています」の場合： - 参加すると予想しているシステムでの遵 守の戦略、そしていつごろ規制が導入され ると想定しているか記載→1	1	1	C11.1にて「はい」と回答 し、認識ポイント満点の 場合： - 戦略適用の事例を記 載→1 「いいえ、しかし2年以内 に導入を予想」を選択： →1	1	1		0	0



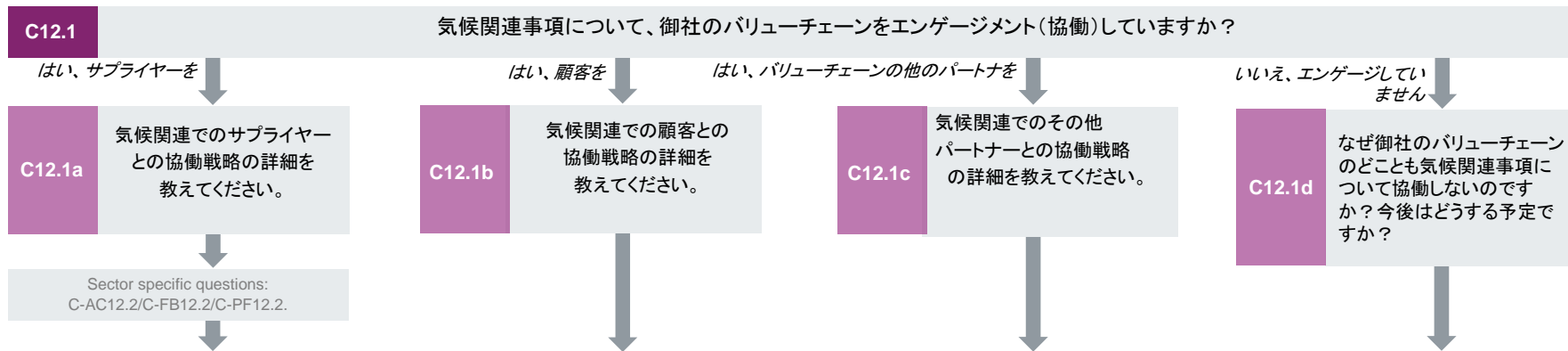
## C11.2 プロジェクトによる炭素クレジットについて

	開示	分子		認識	分子		管理	分子		リー ダー	分子	
		分母	分母		分母	分母		分母	分母			
C11.2 ※プロジェクトによる炭素クレジットの発行・購入の有無 (yes/no)	選択肢を選択→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C11.2a ※詳細	列完成ごとに 「発行or購入」→1 「プロジェクトのタイプ」→1 「プロジェクトの特定」→1 「認証基準」→1 「クレジットの発行数量」→1 「クレジットの発行数量 (リスク補正後)」→1 「償却されたクレジット」→1 「目的」→1	8	8		0	0	CC7.9aと、CC6.1&CC6.3のスコープ1,2排出について、管理ポイントが満点 「目的」が以下の場合 「自主的なオフセット」→1 「遵守」→1	1	1		0	0

## C11.3 内部的カーボンプライシング

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C11.3 ※内部的カーボンプライシング実施の有無	選択肢を選択→1	1	1	「はい」→1 「いいえ、しかし2年以内の実施を予定している」→1 「いいえ、2年以内の実施も予定していない」→0	1	1	「はい」→1 「いいえ、しかし2年以内の実施を予定している」→0 「いいえ、2年以内の実施も予定していない」→0	0	0		0	0
C11.3a ※詳細	列完成ごとに 「内部的カーボンプライシング実施の目的」→1 「GHGスコープ」→1 「適用単位」→1 「使用した価格」→1 「価格の幅」→1 「内部的カーボンプライシングの種類」→1 「影響や意義」→1	7	7	全列が完成していて、かつ、「内部的カーボンプライシングのタイプ」に「オフセット」以外が選択	1	1	「影響や意義」に、企業がどのように内部的カーボンプライスを利用しているかについて、企業固有の説明がある→1	1	1		0	0

# C12 エンゲージメント(協働)/Engagement



**C12.3** 以下のいずれかを通じて、気候関連事項に関する公共政策に直接/間接に影響しえる活動に参加していますか？

政策決定者への  
直接の働きかけ

事業者団体

研究機関を財政的に支援

その他

いいえ

**C12.3a** どのような事項について、直接的に政策決定者に働きかけを行っていますか？

**C12.3b** 御社は、事業者団体の理事会メンバーであったり、メンバー費用以外の支援を行っていますか？

**C12.3d** 資金援助をしている研究機関のリストを公的に開示していますか？

**C12.3e** これ以外に実施しているエンゲージメント活動について詳細を教えてください。

**C12.3c** 気候変動法制についての意見を表明する、それらの事業者団体の詳細を教えてください。

いいえ

はい

**C12.3f** 御社のすべての直接・間接の政策に影響を与える活動が、御社の気候変動戦略と整合的であることを保証するために、どのようなプロセスがあるか教えてください。

**C12.3g** なぜ政策決定者と気候関連事項で協働しないのですか？

**C12.4** 報告年における御社の気候変動や温室効果ガス排出の動向について、CDPへの回答以外に公開(出版)した情報はありますか？ある場合、出版物を添付してください(複数可)。

モジュール終了

## C12 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C12.1	1	1	1	1	1	1	0	0
C12.1a	7	7	2	2	3	3	1	1
C12.1b	6	6	2	2	3	3	1	1
C12.1c	1	1	2	2	1	1	0	0
C12.1d	1	1	1	1	2	2	0	0
C12.2 (一部セクターAC,FB, PFのみ)	1.5	1.5	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF12.2a	7.5	7.5	5	5	0	0	0	0
C-AC/FB/PF12.2b	1.5	1.5	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF12.2c	3	3	1	1	0	0	0	0
C12.3	1	1	1	1	0	0	0	0
C12.3a	4	4	2	2	0	0	0	0
C12.3b	1	1	0	0	0	0	0	0
C12.3c	4	4	2	2	0	0	0	0
C12.3d	1	1	1	1	0	0	0	0

## C12 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C12.3e	1	1	0	0	0	0	0	0
C12.3f	1	1	0	0	1	1	0	0
C12.3g	1	1	2	2	0	0	0	0
C12.4	4	4	0	0	2	2	1	1

いずれか1つ以上と協働: 認識(1)

いずれか2つ以上と協働: 管理(1)

- ・はい。サプライヤーと。
- ・はい。顧客と。
- ・はい。その他のバリューチェーンのパートナーと。
- ・いいえ、協働していません。

開示(1)

C12.1a

気候関連でのサプライヤーとの協働戦略の詳細を教えてください。

※調達総額には、原材料、製品、サービスすべての直接・間接の調達を含みます。

いずれかを選択(B)

①協働のタイプ	②協働の詳細	③サプライヤー数の%	④調達総額に占める% (直接・間接)	⑤C6.5に報告したスコープ3排出に占める割合	⑥協働の範囲についての合理性の説明	⑦協働の影響 (成功のための手法含む)	⑧コメント
Select from: ● Compliance & onboarding ● Information collection (understanding supplier behavior) ● Engagement & incentivization (changing supplier behavior) ● Innovation & collaboration (shared markets) ● Other, please specify	Select all that apply: ● Compliance & onboarding: ● Included climate change in supplier selection / management mechanism ● Code of conduct featuring climate change KPIs ● Climate change is integrated into supplier evaluation processes ● Other, please specify Information collection (understanding supplier behavior) ● Collect climate change and carbon information at least annually from suppliers ● Other, please specify Engagement & incentivization (changing supplier behavior) ● Run an engagement campaign to educate suppliers about climate change ● Climate change performance is featured in supplier awards scheme ● Other financial incentives for suppliers who reduce your operational emissions (Scopes 1 & 2) ● Other financial incentives for suppliers who reduce your	Percentage field [enter a percentage from 0-100 using a maximum of 2 decimal places]	Percentage field [enter a percentage from 0-100 using a maximum of 2 decimal places]	Percentage field [enter a percentage from 0-100 using a maximum of 2 decimal places]	Text field [maximum 2,400 characters]	Text field [maximum 2,400 characters]	Text field [maximum 2,400 characters]

0以外の数値

いずれかに、25%以上の値が記述(A)

明瞭に説明→管理(1)

企業固有の気候変動協働戦略を記述→管理(1)  
成功のための方法について明瞭に説明→管理(1)

完成した1行  
①がその他以外  
④が0以外の数値  
→認識(2)

管理ポイント評価のためには、認識ポイント満点が必須

管理ポイント満点かつ、A,Bを満たす→L(1)

※列完成ごとに関示(1)x7列



# ① 協働のタイプ

▼コンプライアンスと研修: 御社がサプライヤーに特定の気候関連方針に従うことを要請していて、訓練を伴う、伴わないに関わらず、サプライヤー向けにその方針を理解して順守するための研修を実施している場合。方針については、事前の必須条件であっても、研修が完了したのちに達成すべき指標として設定する形でも構いません。特定の気候関連ガイドラインの順守がサプライヤー評価や契約の際に順守すべきものとして含まれる場合、この選択肢を選んでください。

▼情報収集(サプライヤー行動を理解): 御社のサプライヤーのエンゲージメントの目的が、特定のイニシアチブ以外のところで、データを収集することにある場合、こちらの選択肢を選んでください。

▼エンゲージメント(協働)とインセンティブ設定(サプライヤー行動の変化): サプライヤーに対して、気候関連の目標や戦略に合致することに対して、何らかのインセンティブを設定している場合にお選びください。インセンティブは、表彰や優秀社発表のようか形、金銭的なもの、いずれでも結構です。

▼イノベーションと協力(市場を変化): サプライヤーに対して、彼らの製品やサービスの気候変動影響を減らすための新しい方法を開発することを推奨している場合、を選んでください。公式のキャンペーンや、協働の呼びかけ、非公式の協力機会も含まれます。

▼その他、特定してください。

## ②協働の詳細

### コンプライアンスと研修(Compliance & onboarding)

- ▼気候変動をサプライヤー選定の基準や管理の枠組みに組み込む
- ▼気候変動についての評価指標(KPI)を掲げた行動規範
- ▼サプライヤー評価プロセスに気候変動を統合する
- ▼その他、特定してください。

### 情報収集(サプライヤー行動を理解する)

- ▼気候変動や炭素にかかわる情報をサプライヤーから年に1度は収集する
- ▼その他、特定してください。

### 協働(エンゲージメント)とインセンティブ設定(サプライヤー行動を変化させる)

- ▼エンゲージメントキャンペーンを実施し、サプライヤーへの気候変動についての教育を行う
- ▼気候変動パフォーマンスがサプライヤー表彰の枠組みにて取り上げられている
- ▼操業による排出(スコープ1&2)を減らしたサプライヤーへの金銭的インセンティブの提供
- ▼下流の排出(スコープ3)を減らしたサプライヤーへの金銭的インセンティブの提供
- ▼上流の排出(スコープ3)を減らしたサプライヤーへの金銭的インセンティブの提供
- ▼その他、特定してください

### イノベーション&協力(市場を変化させる)

- ▼イノベーションを促進し、製品・サービスの気候影響を軽減するためのキャンペーンを実施する
- ▼その他、特定してください。

### その他

- ▼その他、特定してください。

はい、顧客を

気候関連での顧客との  
協働戦略の詳細を  
教えてください。

C12.1b

Type of engagement ①協働のタイプ	Details of engagement ②協働の詳細	Size of engagement ③協働の規模	% Scope 3 emissions as reported in C6.5 ④C6.5にて報告したスコープ3 の何%か	⑤協働の範囲についての 合理性の説明	⑦協働の影響 (成功のための手法含む)
<p>Select from:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Education/information sharing</li><li>● Collaboration &amp; innovation</li><li>● Other, please specify</li></ul>	<p>Select from:</p> <p><b>Education/ information sharing</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Run an engagement campaign to education customers about your climate change performance and strategy</li><li>● Run an engagement campaign to educate customers about the climate change impacts of (using) your products, goods, and/or services</li><li>● Share information about your products and relevant certification schemes (i.e. Energy STAR)</li></ul> <p><b>Collaboration &amp; Innovation</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● Run a campaign to encourage innovation to reduce climate change impacts</li><li>● Other – please provide information in column 5</li></ul>	<p>Percentage field [enter a percentage from 0-100 using a maximum of 2 decimal places]</p>	<p>Percentage field [enter a percentage from 0-100 using a maximum of 2 decimal places]</p>	<p>Text field [maximum 2,400 characters]</p>	<p>Text field [maximum 2,400 characters]</p>

## C12.1 バリューチェーンにおける協働(エンゲージメント)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C12.1 ※気候関連事項でのバリューチェーンとの協働の有無と対象	選択肢を選択→1	1	1	少なくとも1つのエンゲージメント(協働)タイプを選択→1	1	1	少なくとも2つのエンゲージメント(協働)タイプを選択→1	1	1		0	0
C12.1a ※サプライヤー協働戦略の詳細	列完成ごとに→1(x7) 「協働のタイプ」 「協働の詳細」 「協働サプライヤーの数」 「調達支出金額に占める割合(%)」 「C6.5に報告したスコープ3の何%か」 「協働の範囲について選択の合理性の説明」 「協働の影響、成功の方法も含めて」	7	7	- 全列の完成した1行がある - 「協働のタイプ」について「その他、詳述」以外が選択 - 「調達支出金額に占める割合(%)」または「C6.5に報告したスコープ3の何%か」にゼロ以外の数値が記載→2	2	2	認識レベルが満点 - 「協働の範囲について選択の合理性の説明」にて、明瞭に説明→1 - 「協働の影響、成功の方法も含めて」に、企業固有の気候関連協働戦略を記述→1 - 「協働の影響、成功の方法も含めて」に、成功のための方法について明確に説明→1	3	3	管理ポイントが満点 i) 「調達支出金額に占める割合(%)」または「C6.5に報告したスコープ3の何%か」に、25%より大きい数値が記載 ii) 「協働のタイプ」に以下のいずれかを選択 ①情報収集(サプライヤーの行動を理解)②協働・インセンティブ付与(サプライヤー行動を変化)③イノベーション・協力(市場変化)	1	1
C12.1b ※顧客協働戦略の詳細	列完成ごとに→1(x6) 「協働のタイプ」 「協働の詳細」 「協働の規模」 「C6.5に報告したスコープ3の何%か」 「本顧客グループや協働の範囲について選択の合理性の説明」 「協働の影響、成功の指標も含めて」	6	6	- 全列の完成した1行がある - 「協働のタイプ」について「その他、詳述」以外が選択 - 「協働の規模」または「C6.5に報告したスコープ3の何%か」にゼロ以外の数値が記載→2	2	2	認識レベルが満点 - 「顧客グループや協働の範囲について選択の合理性の説明」にて、明瞭に説明→1 - 「協働の影響、成功の指標も含めて」に、企業固有の気候関連協働戦略を記述→1 - 「協働の影響、成功の指標も含めて」に、成功のための方法について明確に説明→1	3	3	管理ポイントが満点 - 「協働の規模」または「C6.5に報告したスコープ3の何%か」に、25%より大きい数値が記載→1	1	1

## C12.1 バリューチェーンにおける協働(エンゲージメント)

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C12.1c ※その他のパートナーとの協働	文章での説明あり →1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 企業固有の協働の説明→1</li> <li>- 「バリューチェーンの他のパートナー」が誰であるかという明確な説明→1</li> </ul>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>- バリューチェーンの他のパートナーとの協働についてのケーススタディ/事例</li> </ul>	1	1		0	0
C12.1d ※協働しない理由、今後の計画	文章での説明あり →1	1	1	なぜバリューチェーンと協働しないかについての明確で合理的な理由→1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>- バリューチェーンと協働しない企業固有の理由の説明→1</li> <li>- 将来の協働戦略を構築するか計画の有無→1</li> </ul>	2	2		0	0

## C12.2 農業クラスターの農林業管理についてのサプライヤーへの推奨

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-AC/FB/PF12.2※サプライヤーに農業・林業管理について推奨していますか？(yes/no)	選択肢を選んでいる→1.5	1.5	1.5	- Yes→1 - No→0	1	1		0	0		0	0
C-AC/FB/PF12.2a ※内容と御社の役割	「コメント」以外の列が完成している行の数に応じて得点最大7.5ポイント配点	7.5	7.5	「コメント」以外について、完成している行の数に応じて。ただし、「御社の役割」の列で「None」や「その他詳述してください」以外を選び、「気候関連便益」において「その他、詳述してください」を選択している行のみ対象。最大5ポイント配点	5	5		0	0		0	0
C-AC/FB/PF12.2b ※データ収集をしているかどうか(yes/no)	選択肢を選んでいる→1.5	1.5	1.5	- Yes→1 - No→0	1	1		0	0		0	0

## C12.2 農業クラスターの農林業管理についてのサプライヤーへの推奨

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-AC/FB/PF12.2c ※なぜ推奨しないか	「主な理由」選択 →1.5 「説明」記載→1.5	3	3	開示ポイント満点 「主な理由」の選択 - 「内部資源の不足」→0 - 「2年以内に導入を計画」→1 - 「緊急の事業優先度がない」→0 - 「重要ではないと判断」→0 - 「管理からの指示がない」→0 - 「その他、説明してください」、かつ説明がある→1	1	1		0	0		0	0

## C12.3 公共政策へのエンゲージメント

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C12.3 ※どの組織を通じて公共政策にエンゲージしているか	選択肢を選んでい る→1	1	1	- いずれかのエンゲージメントの選 択肢を選んでい る→1 - Noを選んでい る場合→0	1	1		0	0		0	0
C12.3a ※どの課題に ついて	1つのセル完成 →1(x4)	4	4	「エンゲージメントの詳細」が完成→1 「提案された規制 的解決策」が完成 →1	2	2		0	0		0	0
C12.3b ※業界団体の 理事であるか？ (yes/no)	選択肢を選んでい る→1	1	1		0	0		0	0		0	0
12.3c ※詳細	各セル完成→1(x4)	4	4	「業界団体」と「御社の気 候変動に対するポ ジションは業界団 体と整合してい る」について、「整 合している」を選 択 - 「業界団体を説 明」が完成→1 - 「御社は業界団 体の意見に影響 を与えた、または 与えようとしてい ますか」が完成→1	2	2		0	0		0	0



## C12.3 公共政策へのエンゲージメント

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C12.3d ※支援している研究機関リストを公開 (yes/no)	選択肢を選んでいる→1	1	1	選択肢を選んでいる→1	1	1		0	0		0	0
C12.3e ※「その他」協働についての詳細	文章回答→1	1	1		0	0		0	0		0	0
C12.3f ※自社の活動nの政策影響が自社の気候変動戦略と整合していると保証するためのプロセス詳細	文章回答→1	1	1		0	0	実施プロセスがどのように全エンゲージメント活動が整合するように保証しているかについての明瞭な説明がある→1	1	1		0	0
12.3g ※政策決定者へのエンゲージメントをしない理由	文章回答→1	1	1	なぜ気候関連事項に関する政策に影響しえる活動を行わないかの理由について、企業固有の説明がある→2	2	2		0	0		0	0

報告年における御社の気候変動や温室効果ガス排出の動向について、CDPへの回答以外に公開(出版)した情報はありますか？ある場合、出版物を添付してください(複数可)。

## ※4欄入力いただくことで、開示(4/4)

Publication ①出版物	Status ②状況	Attach the document ③資料添付	Content elements ④内容要素
Select from: ※管理ポイントの条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>• In mainstream reports</li> <li>• In mainstream reports in accordance with TCFD recommendations</li> <li>• In mainstream reports, in line with CDSB framework</li> <li>• In mainstream reports, in accordance with TCFD recommendation AND in line with CDSB framework</li> <li>• In other regulatory filings</li> <li>• In voluntary communications</li> <li>• In voluntary sustainability report</li> <li>• No publications with information about our response to climate-related issues and GHG emissions performance</li> <li>• Other, please specify</li> </ul>	Select from: 管理(2/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>• Complete</li> <li>• Underway – previous year attached</li> <li>• Underway – this is our first year</li> </ul> 管理(1/2)	Attach your document here.	Select all that apply: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Governance</li> <li>• Strategy</li> <li>• Risks &amp; Opportunities</li> <li>• Emissions figures</li> <li>• Emission targets</li> <li>• Other metrics</li> <li>• Other, please specify</li> </ul>

管理ポイント満点、かつ3つ以上選択  
→リーダーシップ(1/1)

メインストリームレポートの定義：日本の場合、有報、事業報告、ディスクロージャー誌

# メインストリームレポートとは？

---

▼CDSB Mainstream reports: in line with CDSB, this refers to the annual reporting packages in which organizations are required to deliver their audited financial results under the corporate, compliance or securities laws of the country in which they are incorporated or, if relevant, operate. Mainstream reports are traditionally publicly available. They provide information to existing and prospective investors about the financial position and financial performance of the organisation. The exact provisions under which companies are required to deliver mainstream financial reports differ internationally, but will generally contain financial statements and other financial reporting, including governance statements and management commentary.

---

## C12.4 コミュニケーション

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C12.4 ※CDP回答以外に気候変動対策やGHG排出実績についての情報公開(添付)	<p>完成したセル→1(x4)</p> <p>※「今年は回答初年度」である場合、満点のために添付は必要ない</p>	4	4		0	0	<p>開示ポイント満点</p> <p>「出版物」列に「メインストリームレポート」が選ばれている場合</p> <p>i) 「Status」列が「完了」または「実施中であり、昨年のものを添付」→2</p> <p>ii) 「Status」列が「実施中、今年が初年度」→1</p> <p>iii) それ以外→0</p>	2	2	<p>管理ポイント満点、かつ、「内容の要素」が3つ以上選択→1</p>	1	1

## C13 その他土地利用管理/Other land management

---

▼C-AC/FB/PF13.1:C-AC/FB/PF4.4aにおいて開示した自社の保有する土地における管理手法について、気候変動の緩和/適応以外に影響があるかご存知ですか？

▼C-AC/FB/PF13.1a:その詳細を教えてください。

▼C-AC/FB/PF13.2: C-AC/FB/PF12.2aにおいて記述した、御社のサプライヤーが実施している管理施策について、気候変動の緩和/適応以外に影響のあるものの存在をご存知ですか？

▼C-AC/FB/PF 13.2a: その詳細を教えてください。

---

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。

## C13 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C-AC/FB/PF13.1	1.5	1.5	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF13.1a	7.5	7.5	5	5	0	0	0	0
C-AC/FB/PF13.2	1.5	1.5	1	1	0	0	0	0
C-AC/FB/PF 13.2a	7.5	7.5	5	5	0	0	0	0

## C13 その他土地利用影響

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C-AC/FB/PF13.1 ※C4.4a開示の保有土地への管理対策の気候変動緩和/適応以外の影響の有無(yes/no)	選択肢を選んでい る→1.5	1.5	1.5	Yes→1 No→0	1	1		0	0		0	0
C-AC/FB/PF13.1a ※詳細	完成した行の数に 応じて配点、最大 7.5ポイント	7.5	7.5	以下を選択した完成行の数に応じて 最大5点 - 「全体的影響」が「positive」 - 「全体的影響」が「Negative」「中 立」「混合」であり、「この影響に対 策を実施しましたか」が「yes」	5	5		0	0		0	0
C-AC/FB/PF13.2 ※12.2a回答のサプライ ヤー管理手法は気候 変動緩和/適応以外の 影響の有無(yes/no)	選択肢を選んでい る→1.5	1.5	1.5	Yes→1 No→0	1	1		0	0		0	0
C-AC/FB/PF13.2a ※詳細	完成した行の数に 応じて配点、最大 7.5ポイント	7.5	7.5	以下を選択した完成行の数に応じて 最大5点 - 「全体的影響」が「positive」 - 「全体的影響」が「Negative」「中 立」「混合」であり、「この影響に対 策を実施しましたか」が「yes」	5	5		0	0		0	0

# C14 サインオフ/Signoff

C-FI

この回答欄を通じて、御社の回答として妥当だと思われる追加的内容の記載にご活用ください。本回答欄は必須回答項目ではなく、スコアリングの対象ではありません。



C14.1

御社のCDP気候変動回答に承認を与えた人の詳細を教えてください。



モジュール終了

※日本事務局による仮訳です。本部からの質問書の日本語版が正式な訳となります。

[www.cdp.net](http://www.cdp.net) | @CDP





## C14 の配点

	D得点	D配点	C得点	C配点	B得点	B配点	A得点	A配点
C-14.1	2	2	0	0	2	2	1	1

## C14 サインオフ

	開示	分子	分母	認識	分子	分母	管理	分子	分母	リーダー	分子	分母
C14.1 ※本回答を承認(サインオフ)した人の詳細	各セル完成→1(x2)	2	2		0	0	開示ポイント満点 「該当する役職種」に以下が選択 →2 - 取締役会議長 - 取締役会 - 取締役会のDirector - CEO,CFO,COO,CPO,CRO,CSO, 他Cのつく長 - 代表取締役(President) 上記以外→1	2	2	「該当する役職種」が「役職」の説明と整合すること 役職種が以下であり、「役職」の説明と整合する場合 →1 - 取締役会議長 - 取締役会 - 取締役会のDirector - CEO,CFO,COO - 代表取締役(President)	1	1